臺灣日日新報 夕刊
三月二十八日
夕刊定價一部二錢
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
[illegible] 臺南支局 臺中支局 [illegible] 花蓮港支局 大阪支局 東京支局

前內閣の立案した行政整理は全部中止

廢止決定のものも存續

【東京二十八日發電通】高橋藏相は明年度實行豫算の編成に當り前內閣が苦心慘澹立案せる行政整理案は全部中止することに決定した、之がため一旦廢止に決定したるものにして再び存續することとなつた主なるもの左の如し

一、資源局(內閣)圖書局(文部省)貿易局(商工省)電務局(遞信省)

一、釀造試驗所、茶業試驗所其他 一、各縣學務部等

本島には影響ない

中央政府が十年度實行豫算編成につき遽に前內閣による行政整理案を全部中止するといふ東京電報につき總督府財務局側では次の如く觀てゐる、政府としては昭和六年度中より行政整理を見越して人員の淘汰整理をやつて中には既にガランドの如くなつてゐる所もあるから財政的立場から云ふと大した影響はない。又本府としては七年度に於ては交通局や中央研究所、營林所などの組織變更に有りかなりの行政整理案も出たが結局それは中止となり提出豫算に出てゐなかつたので、こんど行政整理案中止が遂行されても本島としては何等實行豫算の編成に影響を來さない

新規公債のみでも五億圓を突破せん

果して發行の能力あるか疑問

【東京二十八日發電通】[illegible]五ヶ年計畫を[illegible]する政友會內閣は明年度實行豫算編成に於て前內閣の新規要求不承認の方針を一擲して、高橋藏相先づ四千萬圓の新規事業費を計上する事を決定した、而して二億圓の尨大な新規要求を提出した各省側が之をもつて滿足せざるべきは明かで當然猛烈な復活要求となつて現はれるであらう、然るに今日までに發行に決定せるもののみでも公債額は歳入補塡一億二千萬圓、各種事業公債二千七百萬圓、滿洲事件費五千九百萬圓、各特別會計六千七百萬圓、計二億六千七百萬圓あり今後更に追加さるべき失業救濟事業は五千萬圓を下らざるべく、それに交付公債金四、五千萬圓その他を豫想する時は結局新規公債のみでも五億圓を突破し[illegible]六千萬圓、[illegible]を合算する時は果して斯くの如き公債を發行し得るや早くも危惧されてゐる

明年度歳出—實行豫算の大要

十四億五千萬圓

【東京二十七日發電通】二十七日の豫算閣議で決定した明年度歳出實行豫算の大綱は左の通りである

歳出總額十四億九千九百萬圓

內實行豫算十四億五千萬圓

追加豫算四千萬圓

一、實行豫算と施行豫算との關係

明年度施行豫算額十五億七千五百萬圓

前約當然減要求等に依る減少一億九千九百萬圓

當然增に依る增加(滿洲事件費四、五兩月分五千九百餘萬圓を含む)七千六百萬圓

差引明年度實行豫算額十四億五千二百萬圓

一、追加豫算四千萬圓は大抵新規事業費と目すべきもので而も五ケ年計畫に屬するもの六分含まれてゐる

一億以上に達する各省新規要求を削減せるは公債發行難に依る財源枯渇のためで、之に對し猛烈な各省の復活要求あるべく失業救濟其他未定のまま殘されてゐる部分の査定に際し若干分の復活は避けられぬであらう

歳入總額は—

十三億七千五百萬圓

【東京二十七日發電通】實行豫算編成に關する二十六日の大藏省議は金再禁止の影響を考慮し不成立豫算の明年度歳入見積に新規歳入增一千五、六百萬圓、印紙收入增二百萬圓を見込むこととなり其の結果歳入總額は十三億七、八千萬圓となつた內譯左の如し(單位千圓)

經常部	
租稅	七〇〇、〇〇〇
印紙收入	六六、〇〇〇
官業及官有財產收入	四四一、〇〇〇
雜收入	一八、〇〇〇
特別會計繰入	一六、〇〇〇
計	一、二五一、〇〇〇
臨時部	
普通歳入	三八、〇〇〇
公債金	八六、〇〇〇
計	一二四、〇〇〇
合計	一、三七五、〇〇〇

右の內公債金は第六十一議會を通過した滿洲事件費並に不成立豫算に計上せられたる事業公債、千七百萬圓であるが事業公債には歳出の[illegible]を要する[illegible]である[illegible]

而して歳出豫算查定後新規追加豫算を加へ歳入不足分は赤字公債を發行する豫定で實行豫算の大[illegible]として[illegible]編成する外にあるまいと云ふ

調査委員南京著

【南京二十七日發電通】リットン卿以下調査團一行は二十七日午前十時下關着ランチで南京着、國民政府[illegible]

歳入不足は赤字公債で補塡

大藏省豫算省議で

【東京二十八日發電通】明年度實行豫算編成に關する大藏省豫算省議は二十七日午前十一時から大臣官邸に開かれ[illegible]、[illegible]田[illegible]官、[illegible]局長、[illegible]等列席、午後六時半まで通し九時間半に亘つて歳出の查定を行ひ一通りの審議を了した、その結果歳出總額は十四億[illegible]となり[illegible]一億[illegible]萬圓に對し[illegible]

南京關係米人に南京歸來を勸告

【南京二十七日發電通】アメリカ總領事ペック氏は二十七日南京關係アメリカ人に對し南京に歸來の勸告を爲した

閘北の人心餘程安定

【東京二十八日發電通】海軍省著電、二十三日以來閘北方面の支那人の荷物搬出を禁じたる所却つて盜難減少せると見たる支那人は漸く人心安定せるものの如く我軍の管理下にあるを喜び復歸するもの益々增加し巡回治療班の成績揚り四十餘名に達してゐる

小濱內務局長初登廳

新任內務局長小濱淨鑛氏は二十八日午前十時總督府に初登廳をなし局以下全部を會議室に集めて新任の挨拶をなし

大いに協調して事務の能率をあげ臺灣統治のために盡したいと思ふから意見のあるところは遠慮なく開陳して頂きたい

日米戰爭は避けがたい

露紙の所論

【モスクワ二十七日發電通】中央執行委員會機關紙イズヴエスチヤ紙は太平洋の覇權を握らんとする日米兩國間に戰爭の勃發するは不可避の事實であるとして左の如く論じてゐる

今までの所では日米間の論爭は外交上の文書戰に限られ新聞の論調も軍事演習の示威運動を報じてゐるに過ぎないが日米の帝國主義者に武力的衝突の起ることは到底避け難い情勢にある

尚同紙は太平洋を隔てて相對立する兩國の關係がソビエート聯邦に及ぼす影響及び意義に關して何等批評してゐないが、同紙は嘗に日本に對し若し日本がソビエート聯邦に敵意を示すならばそれはアメリカとの戰爭の場合日本を極めて不利な立場に陷らしむることを警告したことがある。露都外交界は日本のアジア大陸侵略政策を阻止するためには米露の共同動作が最も效果的で且つ之が可能性あることを論じてゐる

中瀬知事基隆巡視

中瀬臺北州知事は既報の如く西村警務、富田勸業、那須教育、三上文書各課長を隨へ二十八日午前七時半自動車にて臺北出發基隆市各方面の初巡視をなし夕方歸北した

總督著任の行事打合せ

總督府では二十八日午後一時半から長官室に各部局長、[illegible]

新國家の蔭に活躍した日本女性 (二)

私の復讐よ……彼女は言ふ

本社奉天通信員 小濱生

事變直後洮南の鎮守使、今は大滿洲國[illegible]の張海鵬將軍が俄然、[illegible]の人心に一大ショックを與へて獨立を叫び、忽ち北軍(中村大尉[illegible])を[illegible]した)を[illegible]下に收め[illegible]、[illegible]努ひで、[illegible]將軍[illegible]を以て一氣に黑龍江軍を擊滅し、[illegible]を掌握すべく馬占山に[illegible]迫めた。此の[illegible]北滿の風雲兒を訪ふべく、十月下旬社命を帶びた私は急遽[illegible]蒙古の野に踏み入れて行つた。時は早くも張軍を反擊すべく黑省軍總司令馬占山將軍は部下を嫩江河畔に出動せしめ、[illegible]を挾んで

對陣の

姿勢を執り何時戰火は交へられるやも知れない險惡な形勢に置かれてゐた。然るに我軍に[illegible]された嫩江[illegible]の騎兵第十八旅の[illegible]は張軍の前進した際に集結し、[illegible]の[illegible]を始め、果ては鐵道を破壞し馬賊、糾合して限りない惡虐をほしいままにしつつあるため[illegible]以西北から洮南間に至く危險に晒されて終つた。そんな事を知らない私は、[illegible]で注意を受けたのだがまさか[illegible]へ[illegible]て、更に[illegible]行く所まで行かうと、四洮線の[illegible]車に日本人と云へば私一人といふ淋しい旅を續けて、[illegible]家屯から三つ目の[illegible]まで來ると、[illegible]車は動かない。驛には大勢の支那人が集まつてガヤガヤ騷いで居る。「さては事變を起したな」と思ひながら列車から下りて驛舍の[illegible]へ[illegible]して行つた。十月[illegible]の蒙古の野には、もう木枯らしがサアーと吹いて居る。木も草もスッカリ枯れて、肌に觸れる一陣の風は正に

疼痛を

覺えさせる。私に先づ事件の何よりも[illegible]さの[illegible]に[illegible]てゐると、[illegible]に集つて來る男女の凡ては、[illegible]の恐怖に襲はれてゐるやうだ。「一體どうしたのだ」一人の支那婦人を[illegible]へて聞いて見た。「馬賊が今[illegible]門[illegible]を占領したのです」

と口々に云ふ[illegible]事務室へ這入つて行つた。私は[illegible]詳しい[illegible]子を知らうと事務室へ這入つた。[illegible]七、八人の支那驛員は、血の氣はなく[illegible]めて電話のベルは神經を[illegible]してゐる。[illegible]に伴つて列車の動かなくなつたことも判つた今受話器を耳に當ててゐた一人の驛員が「[illegible]門[illegible]は今占領されて三時間とかからぬ內に此處は[illegible]されるぞ」[illegible]一同[illegible]する樣に云ふや[illegible]いた小さい包を抱へて飛出して終つた。[illegible]はなかつた。その時、ドーン[illegible]と[illegible]それ程に迫つて[illegible]とは思はなかつた。[illegible]が一つ二つ、[illegible]ーンと山砲[illegible]らしい[illegible]が[illegible]て來た。[illegible]ら來た……[illegible]げて了つた。[illegible]も一人殘らず逃げてしまつた。[illegible]い驛の中に取殘された私一人。その私も何時の間にか彼の

拳銃を

握つてプラットへ出てゐた。いつ事務室を出たのか、何うして驛のピストルを握つてゐたのか、選ぶ考へても判らない、恐らく無意識の行動だつたのだらう。プラットに立つた私は、馬賊が眼前に現はれたかの如き恐怖の戰慄に誘はれて不用意にも慌てたが流石に我に返ると、別に眼前に來てゐるわけでもないので、落ち着いた氣持になつた。と再び遠音の[illegible]銃が木の葉を打つ時雨のやうにパラパラと響いてゐたがそれも暫らくで、やむと蒙古の夜は、遠い野末の彼方から底の樣に迫つて來てゐる。そして時と共に寒さを增す夜の木枯らしは、人氣のない驛の窓を無氣味に叩いてゐる。ふと人の氣配に心付いた私は振り返ると怪しい支那人が二人、私の存在を怪しく認めて目打ちをしてゐるではないか。私はギョッとして、拳銃を握して身をひいた。(つゞく)

漢口の空氣も緩和

【東京二十八日發電通】海軍省著電、漢口方面の人心は上海よりの避難民の歸來者と[illegible]に伴ひ[illegible]支那側[illegible]を要求した、尚支那人間に日支經濟關係の[illegible]を希望するもの[illegible]からず一般の空氣は緩和しつつあるものと認む、我二十四驅逐隊は四月一日臨時歸還する

南洋企業の助成金交付

前年より三萬餘圓減

本年度の南洋企業助成金は[illegible]府において詮議中であつたが殖產局長から平塚長官の決裁を得、愈々本年度中に交付すべく指令を發せらるることとなつた、本年度は一般[illegible]減額されて一般企業者に十四萬五千圓、華南銀行に一萬五千圓、計十六萬圓と決定これを前年度の助成金一般企業者十七萬四千百九十五圓、華南銀行二萬一千圓、計十九萬五千百九十五圓に比すれば三萬五千百九十五圓の減少である而して助成金を交付されたものは比律賓、馬來半島、爪哇、ボルネオの諸地に於ける[illegible]、貿易業者等であるがこれにより資金に[illegible]む事業家は[illegible]業の圓滑を期し得ることとなり、南洋企業發展上に資するところ尠少でない

臺灣神社月次祭

二十八日午前八時臺灣神社では月次祭を執行、同四十分終了、[illegible]當日は[illegible]長、[illegible]警察官長、小松軍參謀長、堀田交通局總長、[illegible]田警務局長、沼川遞信部長、[illegible]、小宮元之助の諸氏以下二十人[illegible]奉仕し[illegible]に依り神酒及び[illegible]を受けた

小杉參謀長等一行歸北

[illegible]

人事

▲高原逸人氏(臺南州地方課長)二十八日出府(鐵道ホテル)

▲大內田逸助氏(臺南州稅務課長)二十八日出府(鐵道ホテル)

▲兒玉臺東廳長 二十八日出府(吾妻)

▲吉井濱次氏([illegible]營業課長)二十七日來北(吾妻)

▲羽島總督府[illegible] 二十八日內地へ

▲秋山[illegible] 二十八日內地へ

▲渡邊傳氏(中山太陽堂理事)二十八日內地へ

▲松本[illegible]氏([illegible]) [illegible]來北三十一日內地へ歸る

その日その日

○ またブリ返して日本いぢめが始まるらしい、小國共の若い者の遊びだらうが相變らず認識不足

○ 米國などの態度を見ても、日本を侵入者などとコキ下し何故に日本が起つたかの原因を究めない

○ 結果だけを見て原因に無頓着な者は[illegible]、之では[illegible]もあつたものでなし

○「アジア、[illegible]」[illegible]

日本もコレから益々多事になるまいぞ、國民的一大決心の臍をかためてはならまいぞ

○ 內政上からも朝野一致の行動をとるべきだ、外に向つて協力する場合、內でゴタゴタは何の態だ

○ まづ政黨の自覺が有ゆる政治的陋習の先決問題、餘り懸念にすると國民も默つてはゐまい

○ 殊にヂタバタしてゐる事態、その民衆には氣の毒だが見てゐると小氣味が宜しい

無絃琴

[illegible]攻めと包攻めとに遭つて中南部の[illegible]

火の鳥 (52)

中村星湖作
吉本雅生畫

春遠からず (五)

[illegible]考へてみると、小澤が[illegible]した通り綾子との新らしい關係が、かれを必要以上に長くフランスに滯在させて置く有力な理由の一つになつてゐるらしかつた。それを素直に認めた時、今更に、自分の心の淺ましさに驚かずにゐられなかつた。だが、こちらでは、むしろ、あの女を避けよう避けようとしてゐたに拘らず、偶然の機會が、[illegible]ら(いや、こちらから見ると偶然だが、あの女としては或ひは全く計畫的だつたかも知れぬ)といふのは、高橋の細君などをしよつちう手先につかつた形跡はたしかにあるし、一度はつきりと面會を謝絶してやるとやがてこちらがボルト、ドルレアンに近い郊外に借間してゐるのを突止めて、あの女

て、あの女がかれをフランスに引止めた唯一の有力な理由でなぞあるわけはなかつた。

「つまり、小澤に對しても、從つて、遠く離れてあちらで病んでゐる妻に對しても、おれは云ひ開くことの出來ないやうな理由を一つも持つてはゐないのだ。第二論文の完成といふ事が、自分の學問的の表面の理由でもあり、裏面の理由でもある。それとて理由とするに足らないと云へば、どれだつて理由にはならない。さう云つたからつて、病氣の妻を問題にせずに、自分がただ愚圖ついてゐたと思ふ者はあるまい。あつて非難するなら、自分はそれを甘んじて受けやう」

そんな風に考へて行つて、一旦かれの心は落ち付きかけたが、

もやはり同じ方面に借間などをして、いつも擦せば何時かは飛びこむ小鳥を待つやうにして、こちらの引つかかるのをあの女は網を張つて待つてゐたらしいからである。またもあんな事になつてしまつたかを、かれは取返しのつかないへまに感じたとも、悔いてゐるのではなかつた。つまり、深佐が自分にあるのでない、といふ氣安さがかれの心の底にはあつたのだつた。それ故に、かれはきのふの瞬間、あんなに小澤に責められても、綾子に不實でないわけも言つたし、今、自分で思ひ出してみても、あれがかれをがんじ搦めにいましめてゐるのだとも感じなかつた。むしろ、いつでもそんな物はかなぐり捨てることが出來るといふ氣持だつた。だから、かれの探りがたい意識の外げ、生命の流れの裏では、あの女がどんな原因または結果となつて纏まつてゐようとも、かれはかれだけの自由を保つことが出來ると思つた。すなはち、歸國したい時には、いつでもあの女に拘らず、かれはひとりで歸國することが出來ると思つた。さうして、あの新しい關係が結ばれない以前に[illegible]りに陷れた。

と、綾子がピストルなどをいつも持つてゐることを思ひ出すと、あの女がこの後ただでは自分を歸國させないだらうやうな惡念も起らぬではなかつた。

秋山は、喫煙の行爲がもはや煙ど燃え盡して、その餘燼がわずかに赤り燃つてゐる暗い部屋のなかで、いろいろな場合にかれの頭に印象された綾子の顏のさまざまな表情を思ひ浮かべた。笑つてゐる時の、怒つてゐる時の、或ひは斷案のポイントを片手でそつとかき除けて、あるかなきかに笑つてゐるアンチイブ事件の瞬間、かれではない他の情夫のためにピストルで打たれたその彈丸の痕へ指した時などのさまざまの表情。

その顏の、その眼に淚を浮かべたのを見たのも、かれには珍らしいことではなかつたが、前夜、あの女の氣の弱な言葉が胸に熱いものをかきつけした語をした時の、かの女の淚の顏ほど、かの女の人間らしい[illegible]良さを見せたものはなかつた。と同時に[illegible]、かの女の肌などを思ひ浮かべて、それらの記憶を味はひ返してゐるうちにかれはつひに深い眠りに陷ちた。

主婦之友 四月號 全一冊 定價[illegible]

和服一切の仕立方

ドコの家庭でも[illegible]大人氣。今の內に[illegible]得られない!

明日といはずに直ぐお求めください。安くも二三圓の價値があると大評判!!

婚禮儀式の實演畫報

林長二郎氏と田中絹代孃とが特に本誌のために共演した大寫眞[illegible]で見合の仕方から[illegible]や里歸りまで一切の儀式を[illegible]百組の天然色寫眞[illegible]

六十錢(送料六錢) 東京神田 主婦之友社 (振替東京一八〇)

農安の官兵が匪賊と合流の氣配

邦人婦女子新京に避難

【新京二十七日發聯合】農安來電に依れば城内の官兵二萬五千は匪賊に合流の氣配あり危險極まり無く領事館分館員、婦女子全部は本日午後二時二十分發當地に向け避難した

【新京二十七日發聯合】不安の氣漲る農安には目下領事館分館員の他○○班に附隨した特科隊○○名あり、安否憂慮されてゐる

【新京二十七日發聯合】農安より當地領事館への入電に依れば有力な匪賊澤目の部下三千農安に向け進擊中目下同地を隔たる二十支里の地點迄接近、危險に瀕しつつあり農安城内を閉鎖して防備中である

雙山子方面で匪賊横行

吉林軍討伐に向ふ

【新京二十八日發電通】二十四日來雙山子方面の匪賊が放火掠奪を行ひ西北方面に逃亡したので吉林軍騎兵[illegible]隊は之を追擊中である、又吉林軍第二旅は李海青を頭とし扶餘方面にある匪賊を徹底的に討滅すべく主力を以つて昨日農安方面に出動討伐を開始した

反徒に對し嚴罰方針

【奉天二十七日發電通】黑龍江省内の治安はまだ充分保持せられず各地に兵變相次で起るに鑑み新政權[illegible]馬占山氏は之が討伐に努力し先般[illegible]河において兵變を起したもの三百名中二百名は逮捕し、海林で兵變を起した首魁は銃殺その他もそれぞれ嚴罰した

歸順馬賊は新政府で優遇

【奉天二十七日發電通】滿洲國政府に歸順を申込んだ馬賊は今日までに二、三萬名以上に上るが新政府では之に對し極めて優遇し恩典を施行して歸順せしめ、歸るに家なき者に對しては黑龍江北方の金鑛採掘及び道路修理に當らしめる方針で最近二千餘名を金鑛に送つた

南湖頭一帶不穩

【新京二十七日發電通】南湖頭一帶の匪賊蜂起し天野旅團の出動後同地の人心は非常に動搖して居り敦化守備隊は之等匪賊の徹底的討伐を期してゐる

張海鵬軍匪賊を擊退

【東京二十七日發電通】陸軍省着電、三月二十四日張海鵬軍約四百は[illegible]防安隊と協力し[illegible]城子東方地區にて約三百の匪賊と交戰十時間にして之を擊退した又二十六日正午頃[illegible]家城子附近にて四、五百の匪賊と交戰之を擊退した

内地觀光の兒童を南總督が引見

赴任途上の扶桑丸船上で

安武文教局長も同船

【大阪商船二十七日發本社著電】二十六日神戸を出た扶桑丸は新任の途にある南總督一行を乘せて穩かな航海を續けてゐる、一行は能澤、池田兩秘書官、小川囑託で安武文教局長も同船で赴任の途にある、其他島田殖産局長、荒木[illegible]、松木電力社長、堀東[illegible]部長等が乘つてゐるので船中は賑やかである、此の前太田前總督が同じく此の船で赴任したのも

奇しき 緣であるがそれから恰度一年二ケ月振りである、南總督は黑の背廣を輕快に着込んで時折社交室に姿を現はし諸彼と談笑し又デッキを愉快さうに散歩してゐる、今度は總督の自發的辭退によつて所謂民間代表なるものの出迎のないのも鹽者しくなくてよい、此の新味が南總督によつて加へられたことは何でもないやうであるが新總督の人となりを現はすものである、二十七日朝は總督一行下ノ關へ上陸し春帆樓で鯨の料理に舌皷を打つた、それで船中の食事は缺席したが午後一時から内地觀光から歸る臺北市の小公學校の兒童等百六十餘名をデッキにおて

引見し 安武文教局長は「天皇陛下の命により臺灣へ赴任される南總督である」と總督を紹介して會見を終つたが非常に懷かしい場面であつた、兒童一同も大喜びで引率教員等は内地觀光を一層有意義ならしむるものであると感激してゐた、午後の社交室は能澤、池田兩秘書官の[illegible]で賑やかであつたが池田氏は能澤氏に二日の船暈で[illegible]、總督がオブザーバーとして頑張つてゐるので大いに弱つたが[illegible]は能澤氏に上つたらしい、船に強くない池田君は東京を發つ時から船に醉はぬお灸を据ゑると云ふ騷ぎを演じてゐるのであるから多少の惡コンデーションを見てやらねばなるまい、夜は島田、松木、能澤諸君の間に圍棋[illegible]南總督は夜の海を眺めつつ獨々デッキを散策し、詩作瞑想に

耽つて ゐるものの如く時々日記に何事か記してゐる、玄海の波も大したこともなく門司を離れて以來平穩一同元氣である、食堂は二つに分れ一つは總督一行島田、荒木、松木、堀東の諸氏に、今一つは松島事務長等で[illegible]テーブルを四方山の話に花を咲かせてゐるが總督はとても話が[illegible]で一同に向つて話題を持出して總督を中心に愉快な空氣を作り出してゐる（南陸本社特派員）

中等學校其他の退官者決定

本月中に發令の豫定

全島中等學校の行政整理に關しては二月二十九日文教局に於て打合せがあり、漸く銓衡が行はれたが、自ら行政整理の恩典に浴せんとして選に漏れたものもあり、或は何うにか危ふく助かつた者もあるが大體勤續年限の長い者からといふ方針で左の如く決定、何れも今月中發令の筈（既往の分を除く）

一、中等學校の部

杉方きくえ（臺北一師）竹村[illegible]役（臺北二師）三木英太郎（臺中師）内田孫[illegible]（臺南師）大[illegible]國吉（臺北一中）川村[illegible]吉（臺北二中）赤澤竹治郎（臺北一女）中島[illegible]一（臺北一女）今清水俊平（臺北二女）加村きよえ（臺北三女）久芳とし（臺北三女）内山[illegible]（基隆女）松延梅吉（同）坂元[illegible]吉（臺北工）吳[illegible]朝英（新竹中）栗田[illegible]太郎（新竹女）小[illegible]辰二（臺中一中）米倉保良（同）[illegible]田[illegible]利名（彰化女）原田辰次郎（臺中商）野口小次郎（同）向井朝吉（臺南一中）七野茂（臺南二中）奥村幸福（嘉義中）[illegible]清（同）水島神太郎（同）栗木政治郎（嘉義農林）安田保（同）熊谷貫一郎（高雄中）新村信四郎（同）高橋元作（同）

二、專門學校の部

田中敬吉（高商）渡邊三郎（同上）金森貞吉（臺北帝大附屬農林專）

行政整理によらざる退官者も數名あり此の中校長級は新竹中學校長大木俊九郎、宜蘭農林校長[illegible]川鑑[illegible]の二氏（後任者物色中）で其他は臺南一中、臺南一女、臺北一中各一名であるが本官にあらざる敎諭囑託も數名整理せられる模様で

チヤツプリン新嘉坡に到著

【シンガポール二十七日發電通】日本訪問の途にある喜劇王チャーリー・チャップリン氏は本日當地に到着、ファンの熱狂的歡迎を受けた

與黨の大人連の集ひ

首相夫人が招待

【東京二十八日發本社特電】政友系の奥さん方で作つてゐる清和婦人會の會長首相夫人犬養千代子さんは二十七日午後一時から出陣の祝賀と選擧戰の勞苦に報ゆるため各閣僚夫人、與黨代議士夫人令孃等三百餘名を首相官邸に招待し、邸庭に大神樂、支那手品、百面相の餘興、それに婦人方のお好みになる壽司、おでん、みつ豆、水菓子の模擬店等を設けて盛大な園遊會を催した、家庭から解放された御婦人達は此處彼處の模擬店を漫遊し餘興につりこまれ惱ましさを忘れた笑ひの朗聲等もあつて御主人に負けず我が世の春を謳歌してゐた

新竹の軟式野球爭覇戰

【新竹電話】新竹市内軟式野球聯盟戰決勝は二十七日午前九時から公園グラウンドにて擧行保甲總隊對市役所の試合は先づ市役所[illegible]四對一にて保甲はクロスゲームを演じたが八回目に市役所隊お次いで地方課對稅關は地方課よく當り四點のストレートにて地方課を破つた決勝戰は午後一時半から擧行、保甲隊が優勝した

バザー賣上金中から獻金

フアロス和洋式研究所では北警[illegible]本社講堂でバザーを開いたが、右の賣上げ中より百五十圓を臺灣[illegible]へ、更に五十圓を臺灣より出征して戰死した兵士の遺族へ贈りたいとて二十六日同研究所長[illegible]見まつ子女史は三谷、彼の諸嬢と共に本社を訪問、右金額を提供したので本社では直に憲兵隊を經て寄附の手續をとつた

田每開業

先般後十時から禁止して市内下奎府町にダンスの營業をなしつつあつた徐金氏はホールが規則に適合しないのでその筋から禁止められたので『趣』を代へてぜんざい屋を經營することになり改て鍜成町三の三四野[illegible]事務所側を斷讀中であつたが漸く出來上つたのでその名もコスモスチー・ルーム田每とし二十七日より華々しく開業した、價格も至つて低廉品質本位衛生第一で氣持がよい

外山司令官

管内初巡視に來南

【臺南電話】外山第二守備隊司令官は管内初巡視として二十七日午後二時五十九分着列車で竹田副官と共に來南驛には村上聯隊長以下將校團、今川知事、[illegible]其他市内官民多數在郷軍人會幹部、國防婦人會員等の出迎へあり臺南驛隊では[illegible]中隊の整列[illegible]を行ひ其他の部隊は北門町より[illegible]行前まで整列し司令官を迎ふる[illegible]をとり共に各部隊の閱兵を行ひ[illegible]旅行社に入つた同所において第二聯隊及衛戍病院の主長官以上を引見し旅館東屋に入つた

希望社更生して

興國運動を起す

興國同志會を創立

大正昭和を通じ社會教化を目的として百萬の同志を集め求道に於て最も顯著な校長を顧問とする希望社殿堂として、約二萬の會員を有する希望社は昨秋種々の事情により解消の運びであつたが、此度興國同志會として更生し本月十三日、幹部百名伊勢に參集して創立總會を開催し、貴族院議員關直彥氏が會長に推薦し、前希望社理事長後藤静香氏を主事とし内治教育部、學校教育部、宗教教育部、大衆教育部、科學研究部、藝術研究部、體育衛生部、保險事業部、生活改善部、農村振興部、社會事業部、貿易事業部、[illegible]交通部、[illegible]部、國際親善部を新設し從來同社の經營せる社會事業に數步を進めたる大興國運動を具體化するに決した由

平塚長官夫人歸北

平塚長官夫人は西部觀光旅行中であつたが二十八日午後七時四十八分發北驛着列車で歸北した

榮座の漏電騷ぎ

二十七日午後十時四十分頃榮座の[illegible]舞臺下の電燈ヒューズ故障のため漏電發火し、コードの被覆を二間ほど焼いた、折柄同座では日活[illegible]主催の[illegible]死傷兵慰問の演藝會開催中とて觀客の狼狽甚だしく、非常な騒動であつたが、大事にいたらなかつた、原因について南署[illegible]調べの結果ヒューズは[illegible]となつてゐて、故障の際直ちにヒューズが切れるやうになつてゐるのに、同所ヒューズとしてあるため、漏電したものらしい、電力會社側ではヒューズの容量は會社側でとりつける器具にないと言明してゐるが一方[illegible]側では飽くまで電力の責任であると主張してゐるが目下詳細については南署で取調べ中

獻金

臺北市大正町一丁目一七番地林熊[illegible]氏方竹中[illegible]子、新山ハツエ、小林ミエ子、岡本ヒサ、上川ハナエの五人は兵器獻納獻金のため共同してお茶その他を[illegible]し、繪五十圓を獻げたので二十六日北署に出頭し右金額を提出して獻金手續きを依頼した

春・街で拾つた話（一）

飲みものに春好み

或る喫茶店のランチタイム

臺北のビジネスセンター榮町のN喫茶店の二階は、ちようどランチタイムで二十ばかりの卓子が滿員だつた

銀行員、電力會社員、大學生、[illegible]の官吏、角帽をしめた五分刈の男、髭をひいたえたいのしれぬヴアレンチノ型、新聞記者、T女學院の女學生ETCが眼鏡と、思ひ思ひのテーブルに占據し、チカチカとホークと皿の觸れ合ふ金屬的なミュージック・ジャズ・レコード、銀笛、囁き、さゝやき——の渦が珈琲の黄色つぽい湯氣と、煙草の煙とともに窓から外へ——、春風の街にさそはれるやうに洩れた

私は、パートナーA氏（敢て氏をよぶのは、私たち紳士間の習慣なのである）は、その隣りの、T女學院の女學生の占據するテーブルの隣に待機した

「なにする？」

私が訊れたのである

「春だから——」

A氏はちよつと魅のある微笑をみせていつた

「珈琲はいけない」

「おア紅茶？」

「うん！」

×　×

「春だから——」

といつた、A氏の言葉に、隣の卓子の彼女らの卓子で、朗らかな微笑が爆發した

「春だから——」

と、今度は山猫の襟卷に頬をうづめた彼女がいつた

「紅茶！」

紫のシャポのついたターム色のシャッポをかぶつた、齢の頃の新しい彼女が、乳のふくらみのあるところに兩手をあてて、A氏のプロフィールを睨んだ！

元來A氏は——レデーに對しての禮儀をしらない、不敬な騎士なのである、それが、もう彼女から呼びかけられたのだ！

彼氏が、彼女の投げた『春』に恐縮したことは[illegible]、さうなると、この[illegible]なナイトの友人である僕も亦自然「春」に對し卑怯ではあり得ない

私たちは、いつか複數の彼女と、別々の卓子で親しくなつたのである

×　×

それから凡そどのくらゐの時間が經つたのか、コーヒー十杯くらゐの時間は充分であつたと思ふが、私の卓子には紅茶の茶碗一つが冷たくなつてるばかりで——先刻まであれほど歡團いてゐた會社員、大學生、ヴアレンチノ型、角帽等々——はいつしか卓子から解散して私たちの他（といつても、無論彼女らを含んでゐる）の外、新らしい顏觸れが、[illegible]この三ツ四ツの卓子に[illegible]のやうに[illegible]めいてゐるにすぎないではないか！

「おやッ？」

私は、私たちの「春」が意外に長閑でありすぎたのに、年相應の[illegible]を起してキョロキョロと周圍を見廻した

瞬間！私は、私たちの卓子との對角線に、新らしい一組の女性群を見出した、私は、甚だ紳士的ではないが、A氏のお臀をつついたのである

「何ンだい？」

「あれみ給へ！」

敬遠なA氏の視線は、私の視線にそつて溺れた

「どうしたの？」

と——シャッポの花が顫ち私たちのがんちくのある微笑をとらへて了つたのである

「シャンだわネー」

「……」

「……」

「しつてるの？」

今度は「山猫の襟卷」がさういつた

「うん、[illegible]の女だよ」

「まア女給？」

シャクポの花は意外だとばかり「山猫の襟卷」にささやいた

「でも、素敵シャンだわネ！」

「[illegible]といつても、[illegible]な女だよ」

A氏がさらに言擲した、がこの

「さう——」

返辭は「山猫の襟卷」を、不愉快にさせたやうだつた、彼女は[illegible]ともいはないで、彼女は[illegible]な、その眼にあきらかに蔑悔を示して背を向けて了つたから——

×　×

が、それも、これも「春」の一瞬間の出來事にすぎなかつた

私たち（と複數でよんでも、もはやA氏の所謂マイナスのセックスはゐないのだ）は間もなく、午後の[illegible]がかつた陽光の下に、はげしい十字街の[illegible]を感じながら、[illegible]の路を歩く、私たち自身の影を發見しなければならなかつた

それは何ともいへさみしい影であつた

春・春・春——いつもの街と[illegible]を、ランチタイムの、わづか一時間ばかりのうちにすべて忘れた、二人の男が自分自身の影をみたのである

「影を！」

三勇士の記念碑竣功　向つて左から松下中隊長、東島小隊長、馬田分隊長

商況

二十八日

米況

正米市況（前場）　臺灣籾摺九段籾價

	當限	中限	先限
蓬萊米	八、九〇	八、八三	不申
[illegible]	九三	九〇	
丸糙米	九、五九	九、七八	一〇、〇〇
[illegible]	八〇	七九	

休日明けの二十八日はゼネバの往來[illegible]化上海停戰會議懸念に株式安に期米は期元のシッカリに買漲れ休日前より十一丁上放れ二五

▲前場　大阪期米

[illegible]

▲前場　東京期米

[illegible]

▲前場　神戸期米

[illegible]

天氣概況（廿八日）

本島北部海上から臺灣海峽方面は北東風稍々強く島内は臺東は晴れ恒春は曇り其他の各地は今曉來一帶に雨模様となりました

▲天氣豫報（二十九日）

第一區　北乃至東の風沿海地方は強く曇り

第二區　北乃至東の風沿海地方は強く曇り後晴れ

第三區　臺北地方　東の風曇り

各地氣溫（二十七日）

	最高	最低
恒春	二九・八	一七・六
臺東	二五・四	一五・五
高雄	二七・三	一三・五
臺南	三〇・一	一六・四
澎湖	四〇・九	一六・四
花蓮港	二四・七	一四・七
臺中	二七・二	一三・三
基隆	二三・七	一五・六
那覇	二二・七	一一・六
長崎	一八・八	一〇・六
臺北	二五・一	一三・五

	滿潮（廿九日）		干潮（廿九日）	
	午前	午後	午前	午後
基隆	八・四〇	六・一五	〇・四五	一・五〇
淡水	四・〇〇	三・三〇	〇・一〇	一〇・五五

ラヴヱルカム

▲臺南放送局より波長を變へて下さいませんか（[illegible]生）▲臺北で臺南放送はきかれませんか（田口生）▲一日からの放送開始は臺北で臺南を中繼しますから聽かれます（係）▲青年團の[illegible]の放送は大賛成（陳生）▲臺灣軍樂隊の放送はいつですか（[illegible]生）▲時計お拾ひの方は（南門町一[illegible]）▲内臺融和の一青年に就ず（[illegible]）▲二十六日教育會館前附近で腕時計を拾はれた方は[illegible]御本人の方受付まで（臺北郵便局[illegible]）▲グラフ欲しいの同好者よ研究會を開きませう（市内大正町三ノ十五東方）

謝御見舞

昨二十七日夜開演中場内一部ノ電氣設備ニ故障ヲ生セシタメ混雜ヲ來タシ觀衆始メ市民各位ニ御迷惑ヲ相掛候事誠ニ申譯無之候

尚其節早速御見舞被下候ヘ共混雜ニ取紛レ御尊名御伺ヒ洩レモ有之ヤト存ジ茲ニ紙上ヲ以テ厚ク御禮申上候

昭和七年三月二十八日

臺灣劇場株式會社　榮座

手を以て科學的に諸病を治す

婦人世界や主婦之友に紹介の秘法實地公開

講師　東京指壓療院長　平賀臨先生

指壓療法講演會

三月三十日午後七時より　明石町　日之丸會館にて

講習會　三月三十一日より每日午後二回開始　明石町　日之丸會館（電話一二四八、二三五一番）

[illegible]

主催者　臺北日蓮聖人信者有志

御禮

今回光寺へ奉納したる梵鐘撤曳の砌は有形無形に皆樣より御高助を蒙り老齡の身に取て唯々感激の外無之茲に謹て御禮申上候不肖今回右の點に就ては何分意想外の御人數にて設備も不行屆の點多々有之候處御容赦被下度右御禮旁御挨拶迄

昭和七年三月二十八日

基隆　越智兵五郎

開院

耳鼻咽喉科一般

臺北市大和町（商工銀行隣）

長尾醫院

電話三六八七番

生徒募集　晝間四月一日夜間每月十日開始

活動寫眞應用自動車解説フィルム（全十二卷）

公認　東洋自動車講習所

臺北市建成町三[illegible]番地（電話四〇六九番）

規則書申込次第郵送　所長[illegible]

セルロイド玩具

其他新型輸入品[illegible]本月二十七日より開店[illegible]

臺北市[illegible]

玩具商　猪澤三五郎商店

會葬御禮　小林準一

會葬御禮　早川忍

りん病

世界一療法

酒も自由で[illegible]

[illegible]

輸血

[illegible]

進入學の靴は

大正堂靴鞄店

電話一二四番

『[illegible]がとても可愛で料理の腕前がまたとても優秀な娘さんが在るから貰はんか』と世話好きな[illegible]は親友の花島君に勸めます。
話まとまつて婚禮。この儀式が却々面白い。花婿の友だちは料理番、花嫁の姉さんは割烹着です。理由がある、嫁さんはお臺所が戰場、婿さんは會社が戰場とあつて、各々軍服着用の次第。
ところが婚禮も過ぎ。料理のうまい筈の蝶子夫人の腕へたものが案外評判が良くない。『なこうど』に言つて[illegible]にならない『われえ』なんとやられて、蝶子夫人いつも困りの腕でメソメソとお氣の毒な。
さすが夫の花島君だけは極力蝶女房をかばつた。『泣くな』察するところ君の腕前は優秀だが材料が好くないのだらう。名人は材料を選ぶといふ。材料が好くなければ腕前も光らんのだらう。よし僕が引受けた！」と自慢の顔
果然！形勢一轉、『美味い！とても美味い蝶子さんの腕前は達いぞ』と家内樂つて大喜び、蝶子夫人今度は嬉し涙。
といふのは、花島君が上海に於ける海軍陸戰隊に從軍者と同様蝶子夫人の膳元へお家での必要『キッコーマン醤油』の一樽が貢献したに外ならないといふところ、さてここの味、この信用。
美味て經濟的な　キッコーマン醤油

殘月譜（140）

志乃田廸司作
清水三重三畫

捕りもの（三）

それと見て、三子ケ浦が慌てて
「親分、御免なすつて——」
と立ち去らうとした。
「おつと、待つてくんねえ、大小川があるんだよ」
ずいと出て來たのは、さつき馬道の鑑六から、新公と呼ばれた新蔵だつた。
「おつ、お前さんは——」
「さう、安く口を叩くのは、まだ早いぞ」
と、ぎら〳〵眼を光らせて。
「おい、關取、俺の云ふことにもはつきり答へねえと爲めにならねえぞ」
「と云ふのは何だい」
この野郎と思つて、三子ケ浦も、ぶつきら棒に云つた。
「あつさり聞くが、丸鑑の目明つて奴の名は何と云ふんだい」
「丸鑑だから、鑑ちやんさ、本名は鑑三と云ふんだい」

[redacted]

三子ケ浦、投げつけるやうに云ひ放つた。
「何！鑑三かつ！」
馬道の鑑六が、あまり大聲で云つたので、關取までが吃驚した。
「なア、野郎、親分御存知ですか？」
「うむ、さつきの話でなあ、もしかとは思つてたんだがね」
「そいつは、何處に居た奴で御座います？」
新蔵、馬道の鑑六に今度は訊ね返る。
「もう、用はないんだな」
それと見て、三子ケ浦は早速云つた。
「一寸待つてくれ、まだあるんだ」
と新蔵。
「親分でも、關取でも、どつちでもいいんだ、鑑は、何かしら、大切なものを丸鑑と云ふ奴に預けたやうな氣がするのだが、そいつは一體金持だつたのか？」
「何んだくんだい、成金だよ、以前は、米穀商で、しかもだ、わしの主人の寢首を掻かせに案內させて置いて、失敗したからつて、ふいにした奴さ」
「そりや一體、何時頃の事だつたい」
新蔵、いやに、今度は下手に訊ね出した。
「さうさ、十年も前かな」
「それから、江戸では見たことがないのかい？」
「さうなんだ」
「そいつ、關取へ行きやしないかな」
新蔵が云つた。
「待てよ」
それを聞くと、三子ケ浦も、しやがみ込んでしまつた。
「聞いたやうな話だな」
「おい、關取、しつかりしてくれ、話の筋道さえ判れば、な、たんまり、お禮の出來ることがあるんだ」
新蔵、一生懸命だつた。
「うーん、待てよ、さう〳〵」
三子ケ浦を圍んで、馬道の鑑六と、新蔵とが、同じく、しやがみ乍ら身を寄せた。
「わしの主人、これは御家老だがな、その鑑三と云ふ野郎を案內した晩だつたと思ふな、俺は、わしも、そんなことをしては、到底、此の屋敷では使つて居ては貰へまいと覺悟して、鑑三の後を追ひ駈けたが——」
と言葉を切つて。
「さうだ、あの晩、兩國邸で、旦那は賊と間違へられて捕手に圍まれたと云つた」
「おい！關取、その旦那、確かにお武士だな？」
「さうだよ」
「すると、一寸話がおかしいぞ、待てよ」
新蔵が腕組をした時、三子ケ浦は潮時と見て、そつ、と立ち上つた。

映畫界漫談

金が撮影する話

岩崎昶

「金が物言ふ」とは日本語に直せば『地獄の沙汰も金次第』といふことで、これは誰でも御存じのことです。「金が書く」とアプトン・シンクレーアが云つてる、その意味は、文學といふものが**結局金持**の奴隷のままに手足となつて働いてゐるといふことである、そして私は今「金」が撮影する話をしませう。一體、映畫を作るのは誰か？こんな疑問は馬鹿げてゐると思ひませんか。先づ、シナリオ・ライターがシナリオを書く、そのシナリオを、監督が讀んで「監督」する、装置家がセツトを作る、俳優が芝居をする、照明家が光線をつける、撮影監督が撮影する、キャメラマンがキャメラを廻して撮影する、技術部で現像して、燒き付け、監督がそれを編輯する、それで先づ一本のフィルムが出來るわけである。けれども、ではこの中の誰が一體映畫を作るのだらうか、シナリオライターか、監督か、キャメラマンか、それとも——と、から考へて見ると、本當は、この中の誰もが映畫を作つてはゐない、といふ不思議な事實が判る。さて、ここに**頭のいい**正直なシナリオ・ライターがゐたと假定する、彼はその頭のよさと正直さとでもつて、どうも今の映畫は面白くない、何かが間違つてゐる、と考へつくに違ひない。で彼は間違つてない、本當の世の中のことをありのまま活動寫眞にしたいとそのつもりでシナリオを書きます。彼のシナリオの中では、ある××工場が出て來る、株主や重役達のために金を儲けてやる女工さん達、世界的不況、賃金引下、ストライキ、彈壓隊、等等……彼はこれを脚本部長に見せる、部長は撮影所の中で一番モダンで、進歩的で、インテリゲントだと自信してゐる、
「君、これは××××はやめたらどうだね、これは××××はやめたぜ、そりや、あこのシナリオは面白いさ、だが、さういふのを君たちの方ぢやウルトラとかいふんぢやないかね」

彼は近頃は世の中が段々世智辛く行き詰まつて行つたせいか**活動寫眞**も少しは『赤く』ないと受けないといふことも承知です。よし、この映畫は『時代の尖端を切る眞の傾向映畫』とか何とか言つて大宣傳をやりさへすれば、結構受ける。そこで、部長はこのシナリオに「イデオロギーもの」といふ烙印を押してパスさせる。これでこのシナリオの中から××××の一件はすつかり削られる、このシナリオが、當然の順序として監督の手に渡る。彼はヒーローとヒロインを入れます。それから本番みです、その上、主役になる女優は『女工なんかいやらしい』と云ひ相手役の男も『己もせめて技師位になりてえな』そこで主人公は社長の娘と、技師長になつてしまふ。撮影、**工場の裏**の空場をあらはしたセツト後景にはホリゾントが張らされてゐて、その前に、模型のミニチュアが五、六本立つてゐる、ストライキのシーンである。監督はこの場合、お定りのアジ演説をやらせる位のことしか、芝居のつけやうがないので、二、三百人集まつて來たエキストラの人達を演壇の前に結集させて一人の役者にアヂ演説をやらせる。そこへ日露戰爭の時軍曹だつたといふ撮影所長が、顔中を汗(?)しごきながらやつて來る、彼は誰かを撮影所として案內してゐる、相手は非常に偉い人らしく殆ど返事らしい返事もしないで撮影を見てゐる。甲斐甲斐しい縁飾をした女工さんが一人演壇に立つて喋舌り始める、何を言つてゐるのか、この後備軍曹にはわからぬが時々『ザクシユ』だとか『オーボーなシホンカドモ』とかさういつた不穩な字句だけ耳に殘る、ことに『オーボーなシホンカドモ』といつた時には**後備軍曹**はひどく狼狽して、連の紳士の方を振り返つたりした。
「×君、これは何ぢや、中止ぢや、中止ぢや撮影中止ぢや怪しからん」
今、シナリオ・ライターの折角のシナリオは所長の一喝に會つて、脆くも撮影中止の運命に遭ひさうである、監督は即刻所長室に呼び出された。所長が案內してゐた紳士——大株主は先刻のことはすつかり忘れたやうに、温情そのもののやうなにこにこ顔で所長の隣に坐つてゐる
「××君、あの寫眞はすぐに撮影を中止し給へ」
「は、承知しました」
がその時、大株主が、葉卷の煙を吐き出すやうに、ゆつくりとした口調で監督に話しかける。
「所長のお言葉ぢやが、私は何も撮影を止めることはないと思ふのぢや、筋を、何の、ほんのちよつと變へるだけで結構ぢや、つまり社長の娘とおやぢな、技師長とが戀仲ぢやろ、技師長といへば、職工達のいはば親分ぢやからで、その技師長が職工達の無分別をとめる一方では、娘が社長の頑情をまげさせる、これで四方八方丸くをさまるといふものぢや、若い者達には愛情ぢや、勞働者には温情ぢや」

×　×

さてここで一本の映畫が出來上つたことは確かです、けれども、一體この映畫を作つたのは誰でせう、シナリオ・ライターでも監督でもありません、社長より偉い所の大資本家ではないでせうか。つまり、金が撮影するのです。

臺日俚謠壇

投書、何枚無制限、何れも投書し得、宛名は本欄係

△雨に降られて木蔭にやどりや木蔭からまた雨が漏る　陳旦鎮

△雪の新造これ見よがしに肌を自慢のうす化粧　瑞芳　方郁

△沙の中にも深の芽が萌て儚け香に立つ君の歸　臺北　無常

△春は逝きますしつぽりぬれて雨に躑躅も散つて行く　米國　和　不二子

●乳母も頭梳目に絵日傘さして子供心の流行唄　基隆　中の家

（評）よく流行を捉へたり

臺日案內

料金　[illegible]

書籍　臺灣巡查試驗問題及答案集　[illegible]　畔見書店

藥種商　にんにくエキス　[illegible]　大光堂
ネオエルビン　入浴後の使用[illegible]　藥店に有
安生瑞息丹　[illegible]

醫院　小林醫院　[illegible]
梅野醫院　[illegible]

內地土産　芭蕉煎餅　下山商店　[illegible]
三共六合　[illegible]

旅館　頂北投温泉　[illegible]

下宿屋　御下宿　福井館　[illegible]

製靴商　ヒコウ運動靴　[illegible]

紙文房具　萬年筆大勉強　[illegible]
洋書材料は　小塚支店　[illegible]

料理屋　ビクリぜんざい　[illegible]

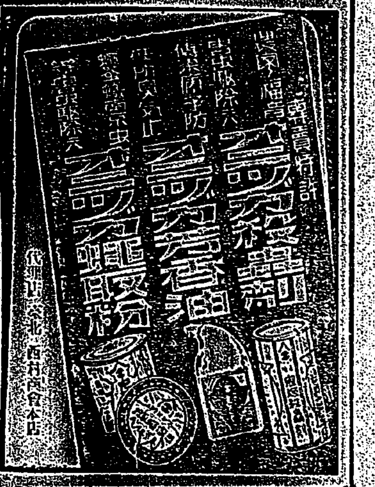
治療所　土肥タンク　[illegible]
平川鍼灸院　[illegible]

雜件　特許商標　岸喜[illegible]
麻雀特價拾圓　[illegible]
土地建物管理　[illegible]
まさかや　[illegible]
大理石各種　[illegible]
職業　[illegible]
本邦唯一の精良品　[illegible]
丁子堂　[illegible]

伊豆椿チック
百％インテリの美髪料

便所くさみ止
專賣特許　イヅノ芳香油
臭氣を止め芳香を發す

冷え性の人にどりこの



[illegible]
代理店　臺北　西村商會本店

ツバメ石鹼
正價一個十錢
日焼はパラソルで防げますが、手の汚れは何で保ちますか。それはツバメ石鹼です。

トリカピン
老衰の牙城微塵に粉碎
●目下大懸賞大賣出中
廣告は宣傳の近道なり

仁丹香錠一錢　仁丹香錠二錢　仁丹香錠三錢
店で賣る！
バットがうまいか
朝日がよいか
何のセンギがいるものか
仁丹香錠のみさへすれば
どんな煙草も皆うまい

理想の白粉

純無鉛で　鉛白粉同樣に附着よく　被覆力は三倍　張力亦最も強く汗に崩れず剝落ちない　空前の

チタニウムを主劑に特殊の成分を配合せる

サーワ白粉

固煉や煉白粉等は
清水で適宜に　よく溶伸しさへすれば　白粉下無しで
濃くも淡くも　意ひの儘に
苦も無く美しいお化粧が出來ます

固煉（白・肌色）各六十錢　クリーム白粉　五十錢　白粉下　三十錢
煉（白・肌色）各三十五錢　化粧水　四十錢　頰紅　三十五錢
水（白・肌・黄肌）各五十錢　ヴァニシング　五十錢　口紅（棒入・詰替用）各三十五錢
粉（白肌・黄肌）各四十錢　コールド　七十錢　（內地以外は運賃實費を加ふ）

（賣捌）
信用ある化粧品店、藥店、雜貨店
若し無き時は本舗より直送す
郵便代用に三圓以下を送付
東京市內は一個にても配達

世話無しで効果の多いサーワ粉化粧
サーワ・ヴァニシングクリームをよく地肌に擦込んでサーワの粉白粉をばパフで唯打込むだけで　我ながら見違へる程に若く明るいお顔面に成る

サーワ白粉
或は　サーワ水白粉を手早く塗込んだ上に粉を刷く等も好く　何れにせよ　その美粧効果は百パーセントであります

發賣元　ミツワ石鹼本舗　丸見屋商店
東京兩國（日本橋區米澤町）
[illegible]

漢文臺灣日日新報

前內閣所立案
行政整理全部中止
各機關多得存續

二十八日東京電。高橋藏相。當明年度實行豫算之編成。將前內閣苦心慘憺所立案之行政整理案。決定全部中止。爲此一旦決定廢止而再存續者如左。

一、資源局（內閣）圖書局（文部省）貿易局（商工省）電務局（遞信省）

一、釀造試驗所、茶業試驗所其他

一、各縣學務部等

明年度歲出
實行豫算大要
總額十四億九千萬圓

二十七日東京電。二十七日豫算省議。決定明年度歲出實行豫算大綱如左。

歲出總額十四億九千萬圓。

內實行豫算十四億五千萬圓。

追加豫算四千萬圓

一、實行豫算及施行豫算關係。明年度施行豫算額十五億七千五百萬圓。

依節約當然減要求等之減少。一億九千九百萬圓。

依當然增之增加（滿洲事件費四、五兩月分五千九百萬圓在內）七千六百萬圓。

對除明年度實行豫算額十四億五千二百萬圓。

二、追加豫算四千萬圓。大抵可視爲新規事業費。屆產業五個年計畫者亦包含在內。

削減二億以上之各省新規要求者。乃因公債發行難之財源枯渴。對此。各省定有猛烈復活要求。失業救濟其他未定所幾部分之查定。難免幾分復活也。

大藏省豫算省議
歲入不足一億一千萬圓
將以赤字公債補之

二十八日東京電。明年度實行豫算編成所關大藏省豫算省議第二日。二十七日雖值日曜。亦自午前十一時開於藏相官邸。高橋藏相堀切。黑田兩次官。大田參事官。藤井主計局長以下關係官參集。至午後六時半之間。約費九時間半。查定歲出。審議略已告完。結局歲出總額十四億九千萬圓。歲入十三億八千萬圓。對除歲入不足一億一千萬圓。將以赤字公債補填之。又此外失業救濟事業六月以後之滿洲事件費尚未定。或再追加一億數千萬圓也。高橋藏相計數整理後。三十日或三十一日開臨時閣議。決定實行豫算也。

安達氏復黨
氣運濃厚
惟若槻氏不悅

二十七日東京電。民政黨次期議會對策。欲廣抱擁人材。以圖黨之更生。此意見頗有力。殊如安達氏復黨氣運。漸次濃厚。蓋安達氏離黨後。隱忍自重。多爲民政黨盡力今回選舉。亦積極的援助故對安達氏之感情大緩和現在希望安達復歸之代議士。百四十五名中。已有九十餘名。唯前若槻總裁意甚不悅。又有一部幹部之感情。其復黨頗有障碍最近安達氏以無條件復歸後。輔佐若槻總裁。以圖更生之外。決無他意。此事一般已諒解。故此故障當漸次除去。又黨外清浦伯其他。同情安達氏之政界有力者。亦有復黨斡旋之意。復黨近將實現也。

聯盟調查委員
一行抵南京
聽蔣氏報告時局

二十七日南京電。律敦卿以下聯盟調查團一行二十七日午前十時半。乘稅關大型蒸汽船。抵南京海關。國民政府接待委員羅文幹。徐謨。警備司令以下多數要人。迎一行於船中。述歡辭。未幾一行於十時五十分。於軍樂隊奏樂裡。上陸即赴宿舍。沿道有多數學生各團體堵列歡迎。午後七時。臨首席林森氏歡迎宴。二十八日與蔣介石氏會見。關滿洲上海事件。聽取正式報告。又一行將勾留南京四日間云。

張海鵬軍
驅逐匪賊

二十七日東京電。陸軍省接電。三月二十四日。張海鵬軍約四百。與開原保安隊協力。在榮城子東方地區。與匪賊約三百交戰經七時間後擊退。又二十六日正午。在榮城子附近與匪賊四五百。交戰驅逐。

南總督
在下關
春帆樓休憩

門司二十七日發本社特電　南總督自神戶乘扶桑丸。於本早破曉。入門司港。受下關在住貴族院議員林平四郎氏訪問。同乘所準備汽艇。到下關春帆樓。休憩。迨出帆時刻歸船。正午解纜。就赴任臺灣之途。

平塚長官初巡視談
西部臺灣巡視告終
百聞不如一見

平塚長官。去二十七日午後三時五十五分。歸抵臺北驛。至是西部五州初巡視告終。在車中。談感想如左。

計自抵任以來。前後約三個月間。於書類之調查大體完了。茲復實際見聞。大有所得。俟總督到後。於種種政策。並方針建策。獲不少實際的之智識。實爲可喜。臺灣製糖及糖業試驗所視察後。始知臺灣糖業非常發達。農業亦較豫想發達。與內地無異。惟見處々有荒蕪地。據聞是等乃爲官地。故就此措置。欲樹立根本的方針。電力工事。實頗憂慮。然已較豫想以上進步。地方人等。亦協力期其成功。該工事。往往意外遭遇困難。希當事者。於技術上。十分注意。府當局監督上大有責任。電力消化問題。目下具體案。不得明言。宜與島內工業者協定。乘其發之實。就理蕃方面。余視察霧社後。別有新感想之處。要之。前所立之理蕃政策大綱。須要無遠慮進行。又余此次巡視中。受各地官民諸氏。熱心種種說明。不勝感謝。

長官歸北
與新任兩氏
在驛頭敍禮

平塚長官。南部及日月潭方面初巡視終了。搭去二十七日午後三時五十五分抵臺北驛列車歸北。在車站。受官民迎接其中有小濱內務局長。堀田交通局總長。因抵任後初會長官。乃各向長官敍辭云。

聯盟實質的適用規約十五條
我外交硬化重大決意
一面對英法意大國傳達內意

二十七日東京電、壽府空氣、漸不利于日本。不獨上海事件。對滿洲問題。亦欲實質的規約十五條適用。芳澤外相亦覺悟爲以從來。對總會。保留附參加之微溫的態度、究不能排除聯盟不當拘束、最近與外務省首腦部。愼重協議結果。總會就日支紛爭殊如滿洲問題。適用規約十五條。日本表明絕對反對。最近將[illegible]形勢、實質的適用、[illegible]日本政府。殊爲可[illegible]、若今後總會、仍無視日本意見、且滿洲問題、對日本不當判斷、日本政府不[illegible]加總會、亦所不得已。[illegible]英法意[illegible]大國、傳達內意、一面[illegible]、[illegible]我國對聯盟外交、[illegible]轉化、[illegible]注目。

高雄州編成
刑事指針

高雄州。爰新設州刑事課。爲改善州下刑事行政。欲編搜查上指針。著手制定搜查規定。近得成案。附議于二十八日州課長會議待審議後。當以州訓令發布實施云。

外山司令官
初巡臺南
在沿途閱兵

外山守備隊司令官。爲巡視管內。去二十七日下午二時五十九分列車抵臺南。受村上聯隊長以下軍部幹部員。今川知事。若槻高工校長。其他市內重要官氏。在鄉軍人。愛馬會。婦人會諸會員及俵伏中隊迎接。驛前經北門町至偕行社前。整列有軍隊。由外山司令官閱兵。畢入偕行社。在定處接見第二聯隊及衛戍病院上長官以上。終投宿東屋旅館。

滿鐵總裁朝鮮總督
政府企圖更迭
副總裁似決意勇退

二十七日東京電。政府企圖更迭滿鐵正副總裁及朝鮮總督並政務總監。對晉京中江口副總裁。就其進退問題。已暗示政府之意爲是江口副總裁晉京使命之鐵道新經營及資金調達究不能達成目的。爰將此情。對內田總裁。詳細報告。而拓務省以爲江口副總裁自發的勇退。若江口副總裁辭職。則及于內田總裁之進退。故江口副總裁之進退問題。受一般注視。又宇垣朝鮮總督。今井田政務總監兩氏。近且晉上京。而對宇垣總督就任以來三大事業。力期實現之北鮮開發。鹽田擴張私鐵整理。拓務省有難色其實現應爲困難。該事業之實現如何。殊爲相當重大。乃總督之面目問題。結局或至于進退問題。

高雄入學
中學減高女增

高雄中等學校。去二十七日舉入學試驗。本年志願者數。中學內地人百五十九。本島人百六十四。朝鮮人一。計三百二十四名。比前年稍減。高女內地人百五十八。本島人四十八。計二百六名。比前年多增。蓋因本年增設屏東高女。自然增加云。

高雄州中洲
漁業組合
將許可以專用

本島水產業者。近漸發達。依法律主張所獲得權利。如高雄州中洲本島人漁業者。今出願專用漁業。爲是水產課。與技師。小松屬。日前出差于高雄。調查出漁于中洲關係。而岡山郡。[illegible]潮州郡漁業者五十餘名。皆出漁于中洲。中洲一邊。强硬主張。不肯認彼等在中洲獲漁。出漁者一邊。亦强硬主張出漁中洲。費二日間。始得協定成立。其內容出漁者要支出々漁料于中洲等。於是諸問題解決。總督府近將對中洲漁業組合。與以認可指令云。

臺北市新入學童
平均一級六十六名
女子向學心漸進步

臺北市小公學校。新年度入學兒童事宜。至最近略已就緒。報名者小學校千六百六十名。公學校三千百九十六名。其中扣除共學生約八十名。及年齡超過者百七十八名中。除超過二年以上約三四十名。餘悉全部收容。總數約達豫定之三千名。每學級平均收容六十六名。然此由其中入書面計算。屆時或有稍減。又本島人因向來義務教育未施行。而一般對于子弟教育殊缺熱心。如女子方面尤覺冷淡。唯近年來爲環境關係。已迫于必要。故邇來向學心。漸見進步。如目下在籍兒童總數。男子八千五百三十六名。女子五千三百六名。即女子比男子。減少三千二百餘名。相去頗遠。以此觀之。男女之教育如何。略可想見。一面本年中入狀況。男子一千七百二十四名。女子一千四百七十二名。相差不過二百五十二名。長此以往。不數年間。男女就學數。當見接近。誠可喜之現象也。又入學式。訂來四月一日舉行。業自二十八日起。已發信通知云。

中等學校
入學試驗
二十八日續行

臺北州下中等學校入學試驗。二十七日。雖值日曜日。亦一齊舉行。其學校名。即臺北一中。二中。基隆中學。臺北商業。工業。一女。二女。三女。基隆高女。宜蘭農林。又二十八日續行。各學校應接室。受驗兒童父兄擁到殆無立錐地云。

蓬萊圓糯及在來米
旬日每袋各起六七十錢
在來米斗米一金

蓬萊米圓糯。本月上中旬之交。落至徹底。中旬後則漸揚。蓬萊殘存米。雖有四十萬袋。然能維持至此而不糶者。多是大農或資產家。故料米價前途高貴產地新貨。價日昇騰。如去十七日。蓬萊現米百斤七圓九十錢。至二十八朝已起至八圓四十五錢。十七日正米市場公定行情八圓十二錢。二十八朝。當限已八圓八十五錢。各限皆視十日前。加貴六七十錢。圓糯去十七日。現米八圓八十五錢。今則九圓五十錢。正市公定行情十七日八圓九十三錢。二十八朝當限九圓六十錢。亦各起六七十錢。在來米現七圓五十錢。稍本年中最高價。市上白米商。每五升斗兌價一圓。蓬萊米一圓二三十錢。近日在來米。騰勢猶急。外米雖有入口風說。然產地高唱。未卜能否和

新規公債發行額
當突破五億圓
似此尨大公債
能否發行頗爲危懼

二十八日東京電。政友會內閣。標榜積極政策產業五個年計畫。明年度實行豫算編成時。將前內閣之新規要求不承認方針一掃。高橋藏相。先決定計上四千萬圓之新規事業費。而各省提出二億圓之尨大新規要求必不以此而滿足。當猶力要求復活。然而今日決定發行之公債額。歲入缺陷補填一億一千萬圓。各種事業公債二千七百萬圓。滿洲事件費五千九百萬圓。各特別會計六千七百萬圓。計二億六千三百萬圓。今後更欲發行之失業救濟事業[illegible]當不下五千萬圓。爲特別損失四五千萬圓、合其他各[illegible]局部製公債當突破五億圓。[illegible]內國債消化[illegible]能否發行如[illegible]多額公債。[illegible]已爲危懼云。

海山業佃會
舉表彰式
繼開評議會

海山郡聯合業佃會。去二十六日午前十時。于板橋公會堂。舉行優良業佃會員表彰式。被表彰者。▲土城庄業佃會副會長張祥傳氏▲鶯歌庄委員林安田氏▲三峽庄同劉金作氏▲中和庄同林梅清氏

是日松野郡守以下庶務課長臨場。其時神谷街長及州林技手。相續述祝詞。式後續開同郡聯合業佃會評議員會。出席者各街庄長及助役。暨會員二十名附議事項。昭和七年度豫算及事業計畫。報告五年度收支部算。六年度事業概況。至正午散會。

羅東畜產組
通常總會
豫算四千餘圓

羅東街畜產組合第四回通常總會。去二十六日午後二時。開于羅東公會堂。列席者有今井庶務課長。桑名勸業主任。暨上郡技手等。又是日出席代議員七十餘名。席定。陳組合長。就議長席。宣告開會及敍禮。次開始議案。本年度歲出。議定四千七十三圓。新計事業。即組合直營種畜場。組合費賦課率。議定對豚一頭徵收二十六錢。（昨年二十錢）其他議員中多數提案。自昭和七年度起。廢止與他街庄協定之組合費。結局一任組合長。與關係街庄交涉。後有今井庶務課長。代理郡守。一場訓示。四時半散會。

滿蒙視察團派遣
識者間力唱必要

滿蒙新國家。業告成立。內地方面。對此新國家。於將來投巨資。或爲企業者必踵出。且派遣滿蒙資源調查。商況視察團。惟臺灣對於滿蒙。別無關心。實屬遺憾。蓋臺向滿洲之物資。有酒精。果實類。紅茶。蔗粕製品之耐火板木材加工品等。殊如果物類。爲寒帶地方僅少。又紅茶及耐火板。輸出寒帶地方。較爲有望。次則由滿洲。輸入大豆。石炭等。若使彼此貿易旺盛。則須調查各地。滿蒙之資源及貿易狀況。是故官民混成之視察團。派遣調查。是爲必要。假若官民十五名爲一行。民間實業家七人。新聞雜誌記者三人。總督府商工關係者二人。同鑛務關係者二人。農務關係者一人。使調查視察五十日間。一人一日三十圓五十日間。要千五百圓。合汽車。汽車費五百圓。計要二千圓。十五人份。凡三萬圓。然而商工省滿蒙調查費。計上十五萬圓。而僅此五分一之三萬圓。擁有豫算一億圓之督府。自非過大。若督府不吝撥此額。十五人々數。假如減爲十人。其費用二萬圓之內。補助半額萬圓。則一人支出一千圓。一部識者。因希望臺灣。滿蒙間交易頻繁。力冀其實現云。

自動車在屏東大埔
轢傷人陷瀕死重態
運轉手拘去取調

屏東街。安慶自動車商會某運轉手。去二十六日午後六時半頃。由頭前溪操駛高六二三號。自動車至大埔。齊發床理髮店前途上。因操駛過急。致轢傷大埔人。郭蒨標年五十五。頭肩部負重傷。登時陷於人事不省。該運轉手駭極。急爲扶入車中。送入屏東博愛醫院。施以急救手術。郡當局接報。立往勘驗。即將運轉手。拘入郡衙取調中云。

軍司令官
由臺中南下
向鵞鑾鼻

阿部軍司令官。檢閱臺中第二大隊。越二十六日告終。二十七日。值日曜日。乃改服背廣洋服。於午後零時十八分。由臺中驛發列車。爲視察鵝鑾鼻。偕副官南下。

長官夫人蒞竹

平塚總務長官夫人。定來二十八日午後一時九分上北列車抵新竹。直驅自動車赴新竹神社參拜後。視察州廳。慈惠院。少年刑務所。商品陳列館。森林公園等。然後歸北云。

恒春捕鯨
多前年一頭
作業延至四月

高雄州下。恒春近海捕鯨作業。漸入終期。此四五日中。日獲二頭。乃至三頭自開始作業以來。至三月二十六日。捕獲有三十九頭。多前年一頭。而捕鯨皆以三月末截止。然鑑現在狀況。特予斟酌。延期至四月中旬云。

內彈三勇士
映畫盛況

本社主催之內彈三勇士其他映畫大會。去二十七日午後時。在新公園廣場映寫。觀衆無慮萬餘人。對於內彈三勇士之勇敢大和魂。鼓掌之聲。振動耳鼓直至九時半。散會。

故谷口德治氏
遙弔式
盛大舉行

江灣鎭名譽戰死之福田吳服店々員故谷口德治君遙弔式。由本町會主催。本町青年會。在鄉軍人城內分會。臺北市役所後援。於去二十七日午後一時。在西本願寺舉行。本堂祭壇。陳列南總督。阿部軍司令官。暨外山守備隊司令官。州知事市尹等。及各方面寄贈花環供物等。定刻前。西村地方課長。代理總督。峰尾兵器部長代理軍司令官臨場。中瀨州知事、西澤市尹、高東山砲隊長、沼川憲兵隊長、鈴木海軍武官、堀內醫專、倉岡醫院、切田高商、谷本高校等。及官民有力者。續々到場。臺北聯合青年團在鄉軍人會、從軍會、海友會、各町團體、各中等學校及小公學校等諸學校團體亦著席。首捧讀決死遺言狀。次吉鹿本町會長。西澤市尹、中瀨州知事、武官代表高東山砲隊長等。讀弔辭。終由辻喜久郎氏。代理遺族敍禮。然後導師燒香。總督代理西村地方課長、軍司令官代理峰尾兵器部長、海軍武官代表鈴木海軍大佐等燒香次參會者一同燒香。至午後三時。閉式。

厦門

煙枝起價

厦門市。各種煙枝。自入三月以來。卸賣處。時常乏貨。因上海戰亂。各製造工場。或遭兵火。或停工作。其他亦因原料缺乏。福州不足。故各種價格。均起四成云。

徵鴉片稅

厦門海軍司令部。鑒於福建省。鴉片捐已開徵。厦門市。亦照例施行。去二十三日。被某有力者包辦年徵捐金拾萬八千元。（月納九千元）目下。包辦者。正進行一切。設派員。調查厦門販賣阿片。及吸食所一切。此後。須對包辦人取買。而吸食所。每月亦須繳納稅金。則許其自由。此報一傳。縣黨部。及救國會。齊起反對。並組織禁煙促進會云。

會事

▲羅東街業佃會。去二十六日午前九時半。在羅東街役場樓上。開總代會。出席者二十餘名。附議事項即昭和七年度事業及收支豫算之件。及變更契約用紙書式之件。至正午散會。

▲新竹市長崎佐賀兩縣人會主催之內彈三勇士慰靈祭。二十六日午前八時起假新竹公園忠魂碑前舉行由神官修祓。降神。供饌祝詞。永石、大木兩縣人會長。山木市尹。在鄉軍人新竹分會中園副分會長祭文。內海知事其他各代表奉奠玉串。撤饌。昇神等諸式。非常嚴肅執行。九時十分閉式。是日有兩縣人會員。官民有志各學校上級生徒。在鄉軍人等四百餘名參拜。而其他學校兒童。隨時參拜。頗呈盛況

▲嘉義肥前會主催三勇士追悼會。二十六日午前八在公會堂後庭結構舉行。佐竹文六氏。朗讀祭文。參列者同縣人會員。市內各官衙學校職員。及州市協議會員。團體學校生徒等云。

▲新竹婦人修養會。二十六日午後二時起。假新竹女子公學校。舉修了式。修了會員共二十六名。

▲岡山郡岡山私立幼稚園第三回修了式去二十五日午前十時。舉于岡山公會堂。該郡山楊庄長授與。嗣訓話而散。

羅東

納稅佳績

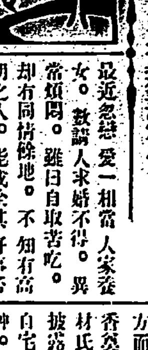
羅東街昭和六年度第二期第三種所得稅。調定額有五千餘圓。均於去二十五日限內。得完納佳績。

郡守異動

去二十六日。發表羅東郡守菱沼宇平氏轉任新竹州竹東郡。後任臺北州保安課。警部梅谷修三氏。又新竹州地方課屬。甲子豐吉氏。榮轉蘇澳郡守。

位置抽籤

羅東街物品小賣市場。爲營業位置變更。定來二十九日。集獸肉販賣業者二十餘名。在同街役場。依抽籤決定之。



鬪爭雖爲時代之流行兒。其目的若不在於私利。則容易過激。而且危險。是故地方有識階級。不宜妄組對抗之會。分派樹黨也（愛鄉父老）鳳山某洋服商自來頗以謙讓及溫厚見稱最近忽戀愛一相當人家養女。數請人求婚不得。異常煩悶。雖曰自取苦吃。却有同情餘地。不知有高明之人。能成全其好事否（一好事者投）松山方面某店主。每言他是非。無損於人。反暴露自己不德。（聞者逆耳）某家兄弟爭產初頗激烈。後聽公親之言圓滿解決。畢竟是其家墳祭。倘非風水尾也。（第三者月旦）

磐城奇案（四）

保泰道。「如此。我明早便回柵。如果下月初一三我不回家。爾可到柵上探聽。倘若得不著個信。爾可到縣裡去告。替我報仇」說々天黑了。保泰便睡了一夜覺。第二天早飯已罷辭別方氏。轉身便走。來保泰他一席話。是要誆信方氏。當他真個外出。且自己好抽身窺他動靜。且說保泰走了幾步。打個旋兒回來。潛身在自己的柴洞裡。直伏到一更天。只見方氏推開房門。出來仰面看天道。「是倒出至了隔院便轉出一個人來。柴地向前一捷。低聲道「走了方氏道。好駭人。他便摟抱地進屋。閉了門兒。保泰在黑影裡。認得那人。不是別人。正是吳四。恰々出得洞來。跳出牆外。保泰一直的到他姐々家。把上項事。統通對他姐々說了。原來他姐夫。正出外辦些勾當。並不在家。保泰告訴姐々。一定要去捉奸。青子便說。只要你日後我他箇錯處。休回便了。不必別生枝節。倘若其事不成。反要遭他毒手保泰那裡肯。在他姐々屋地裡。東探西望。尋到一把菜刀。操起來就要走。青子拗不過他。便說等我和你同去。姐弟二人。悄々出了大門。到後街了。走到保泰家。繞角直至保泰悄々跳進牆去。慢々開了個門縫。放他姐々入院。提著菜刀。躡著腳步。走到窓下。側著耳朵聽那屋裡嘍々的笑。隱約辨得幾句話說。保泰登時三千丈無名火起。提定菜刀。直上窓台。推開窓子。跳上炕來。摸々是吳四。用刀一斬。那顆人頭。早滾下炕來青子在窓外。悄聲問道「都得了嗎」。保泰道「只不見方氏」。青子捻進一步說。提姦見雙。趕快搜尋隨手剔個洋火亮。舉起一照。絲毫不見踪影。叫聲「保泰快過來。如今你捉不得淫婦。一定要吃官司三十六著。走爲上著。你快潛逃我也回家」。保泰去得門來。提着刀。舉腳剛要走。青子說。快些把刀消容個地方。保泰走進煙屯切近。把刀拋在那裡撒開大步。走出大門。管甚麼三七二十一。不顧命的。逃之夭夭。青子慌慌張張的。趕回家去。這時正是月光初上。也進得屋來。少不得是輾轉到曉（未完）

人事

▲臺北州協議陳炳俊氏令堂陳吳氏息。於本月二日謝世。定來三十一日午前八時半。在三峽公會堂公弔十一時半。出同地祖師廟前。行告別式。而後出殯

▲臺南謝國文氏（星樓）之令郎汝川君。此回聘娶與汐止蘇澄洪氏之令妹碧珠締婚。訂來月三日迎娶。

▲堀田辯護士。此回病癒在稻江太平町上林自動車發著所近附開業。

▲新任屏東郡。庶務課長尾山義一氏。於一昨日著任。對各方面。敍新任之禮

▲元屏東郡庶務課長大谷八郎氏。者番爲高雄州農會主事。

▲朴子公校小山猛君。上月其妻去世。此回寄附街方面委員事業基金三十圓香奠代返禮。又同街楊爾材氏之令郎生慈君。新婚披露宴。月二十六日夜。自宅前開催。出席者街官紳。凡二百名內外。席定楊爾材君敍禮後。次黃啓棠黃[illegible]兩君。述謝。主客盡歡于午後十時散會。又朴子法院出張所次席書記太田貢則君。此回轉爲潮州出張所長。月二十七日。午前十時四十八分發朴子驛。官民多數送行。

臺灣日日新報

[illegible]

早稻田大學講義

早稻田大學五十周年記念
春季校外生大募集

今年は本大學の創立五十周年に相當するので、各講義の内容に改善を加へ、校外生の大募集をなし、今秋十月を期して漏れなく記念品を贈呈する。

希望の講義名を明記して申込次第

内容見本進呈

東京牛込　早稻田大學出版部
振替東京一二二三・電話牛込三四五番

中學講義

本講義は前期後期の二期に分れ、前期では中學一、二年、後期では三四五年程度の學力が僅か一ケ年で得られる。內容は充實し講義は親切、學費は安く特典が多い。獨學者にとつてこれ位理想的な講義錄はない。小學卒業者なら誰でも解る。

毎月一回發行・學費月壹圓
前後期各一ケ年修了・雜誌毎月進呈

女學講義

一日二時間づつ勉強すれば高等女學校卒業以上の學力が得られる。小學校を出て上の學校へ進まぬ方は直ちに本講義によつて勉強なさい。專檢や教員試驗の準備書として、又家庭の讀みものとして最も適當です。

毎月二回發行・學費月壹圓
一ケ年半修了・雜誌毎月進呈

商業講義

小學校を出ただけで早く世に出たい人は商業方面で働き乍ら勉強するに限る。本講義を讀めば一年半で甲種商業卒業の實力がつき、文部省や商工會議所の資格試驗もうけられる。商店・會社・銀行方面に於ける成功の近道は是れ。

毎月一回發行・學費月壹圓
一ケ年半修了・雜誌毎月進呈

法律講義

本講義は早稻田大學・帝國大學・商科大學・明治大學等の教授を初め、大審院判事・高等試驗委員が現行法律を解りよく講義したものである。將來判事・檢事・辯護士・官公吏たらんとする者には勿論、あらゆる階級の男女に本講義を推薦する。

毎月二回發行・二冊每刊四百頁
一ケ年半修了・學費月壹圓廿錢

政治經濟講義

未曾有の危機を孕む現代社會において、政治・經濟學の知識を徹底的に把握することは吾等の生命的必要事である。本講義は政治・經濟に關する諸學を系統的に講述し、斯學の根柢的知識を與へ、以つて現代社會に處する實力を獲得せしむ。

毎月二回發行・二冊每刊四百頁
一ケ年半修了・學費月壹圓廿錢

文學講義

文藝を鑑賞するにしてもそれを廣く深く味ひ盡す爲には相當な準備が必要である。本講義は即ちさうした準備を與へることを第一の目的とする。文檢受驗者はもとより、苟も文藝に志ある者の必讀を要する本邦唯一の文學講義錄である。

毎月一回發行・二冊每刊四百頁
一ケ年半修了・學費月壹圓廿錢

建築學講義

本講義は斯界の最高權威が多年の蘊蓄を傾けて建築に關する全事項を平易に講述したもので、技術家、工手學校、工業學校學生諸氏の必讀書であり、好事家の好指針である。今回は特に希望科目の選擇購讀にも應ずる。

毎月一回發行　學費月壹圓卅錢
一ケ年半修了

電氣工學講義

電氣の應用は益々擴大する。本講義は獨學で電氣技術者たらんとする人、並に選試第二第三種の受驗者にとつて唯一の良指導書で、內容豐富、解說平明。尙ほ今回は特に希望科目の選擇購讀にも應ずる。

毎月一回發行　學費月壹圓卅錢
一ケ年半修了

電氣工學豫備講義

本講義は電氣工學の學習に必要な基礎學科を始め、理論及び應用の各方面に亘り、我國一流の技術家が誰にもわかる樣に說明したもので、電氣技術者を志す初學の人々にとつて最も適切な指導書である。

毎月一回發行　學費月壹圓
一ケ年修了

普通文官講義

中央大學講師監修　[illegible]

小學卒業の學力にて本講義を獨學すれば[illegible]

中央獨學協會　東京日本橋[illegible]

クラブ齒磨

家庭一品

チューブ入　大　廿錢
チューブ入　中　十錢
粉齒磨袋入　大　五錢

新就職戰線は體格第一主義　それトッカピン

アダリン

BAYER

Adalin Tabletten

催眠鎭靜劑

アダリン

AD 181

清新な感觸

ランランポマード

[illegible]

トバタ 陸用發動機

戸畑鑄物株式會社

支那事變

負傷戰士を勞りませう

廢物利用で愛國運動！

滿州や上海で御國の爲名譽の負傷を受けた我が忠勇なる戰士を心から勞りませう

森永の外函（ミルクキヤラメル・ミルクチヨコレート大・小）が負傷戰士の慰問金になります

★外函投入函は全國菓子店や加盟新聞社その他便宜の處にあります

★集つた外函や外裝紙は大二匣・小一匣の割合で、森永製菓が買受け陸海軍省へ獻金いたします

★森永ミルクキヤラメル・ミルクチヨコレート大小一ケ月の生產高千五百万函　これが全部獻納されると一ケ月の獻金二萬二千五百圓！

主催　支那事變傷痍軍人後援會
後援　全國加盟新聞社
森永製菓株式會社

ア—8

廣告は宣傳の近道なり

便秘性の乳幼兒に マルツエキス

通じが附いて丈夫になる
唯一無二の榮養劑……

にせものあり　[illegible]

說明書見本呈

和光堂

職業

[illegible]

食慾增進

美味胃腸藥 ゴルフ

醫學博士　高橋三郎先生　監製

不消化な程食が進み、過飲過食も腹に溜らず、[illegible]味甘き最新式胃腸藥（各藥店に有）

定價　三〇錢　五〇錢　一圓　二圓　五圓

[illegible]

傳染病豫防　便所臭氣止

[illegible]

鎭咳 ファトシン

感冒、氣管支カタル
肺炎、肺結核、喘息
百日咳、其他

急性、慢性呼吸器疾患の喀痰、咳嗽にファトシンの奏効極めて顯著なり

本劑は、光、熱に安全にして永久貯藏するも効力減殺せず、且つ胃腸障害等の副作用なければ、何時にても安心して使用することを得

發賣元　大阪市東區道修町三丁目　株式會社　鹽野義商店
支店　東京市日本橋區伊勢町

[illegible]　門司行

大阪商船　門司行

[illegible]

厦門、香港　バタビヤ、爪哇
ジヤバ、チヤイナ、ジヤパン、ライン（出帆）

振成興產株式會社

株式名義書換停止

[illegible]

ヤセタ人すぐ試せ

ふとる藥

[illegible]

オキシフル

口腔咽喉諸病時の含嗽に
不時の負傷の應急手當に
齒牙の美白と保健に

類似品あり御注意を乞ふ

包裝　120瓦入　450瓦入　1000瓦入

東京・室町　三共株式會社　大阪・臺北・紐育

臺灣の樂土化を待望 (上)

南臺灣總督の著任を迎へて

一

南新總督は、本日をもつて著任するが、大命を拜して以來二十餘日振りである。その間、中央にありて督府の中心幹部たる局長知事級の大更迭を行ひ、陣容一新を先づ斷行した。思ふに南總督としては、相當の自信と抱懷とに滿たされつゝ南方の任地に向つたものと察せられる。而して本日著任の文敎局長を加へると、公務上[illegible]の財務局長を除いては督府の全幹部が茲に出揃ふ次第である。

新總督は富山縣の人、明治二十九年東京帝大を出て後、內閣書記官、行政裁判所評定官、內閣書記官長、福岡縣知事並びに文部次官等に歷任し、大正元年を以て貴族院議員に勅選された、この經歷よりせば臺灣統治の衝に當るのは、今回が始めてであるけれども、行政官其の他として名聲を博した事實から見て、第八代目文官總督として、その識見と人格と材幹とは多數島民の信賴を集むるに充分であると信ずる。

二

殊に南新總督が早く已に島民に對して、極めて好き第一印象を與へたことは、島內民間代表が特に上京して新總督を迎ふることの傳統的行事を斷乎として打破したことであつた。從來此の事は[illegible]の非難を負ふ現代に於て必ずしも緊切でないことは皆感じつゝも、ひたすら歡心を失はざらんことに留心するの餘り、進んで打切ることが出來ず、傳統に引きつられて實行されて來たのであるが、南總督に至つて他の歡迎行事は受けるが、隨々迎への者を東京まで送ることは時局多端の折柄斷然見合はせて貰ひたしとの旨を傳へ茲に珍らしき一新例を開いた。之は誠に時代の推運に伴ふ機宜の措置で、之が爲め今後長く手數を省き得ることとなつた。この事柄たるや固より大きいことゝは言へないが、先づ以て一の果斷と言ふべく、一般によい感じを與へてゐることは掩ひ得ない。

三

同總督が臺灣總督の重責に考へ督府幹部の陣容を整へる必要から地方長官に加ふるに督府首腦者の人替を行つた事は既に述べた通りである。而して右の人事異動の成功なりや否に就ては、一に今後の實績に徵する外なく、殊に未知の人々も多い際とて今から何とも批評のいたし樣がない。然しながら內務、財務、文敎、交通等の各首腦者に可なり苦心した人選振りを試みた跡を見れば、今後に行はるべき臺灣統治について新總督が如何なる意圖を懷いてゐるかの一端は窺ひ知られる。また臺灣のためにも此の新陣容が出來得る限り良好なる成績を本島統治の上に實現するやう祈らねばならぬ。

四

臺灣統治の要綱とすべきもの多々あるも、就中最も優先的に着手せられ實現されねばならぬことは、產業政策の振興と充實に就いての施設である。植民地として我國に對する重大使命を果たす爲めには、正に之が第一位に置かれねばならない。之が爲めには交通機關の改善と普及も必要であり、敎育機關の充實も必要である、又た所謂思想善導の施設を行きわたらすことも望ましく、衛生設備を整へることも亦た緊切である。殊に目下工事中の日月潭水電工事を[illegible]にして、本島の工業化に努むし、十萬キロ出力の消化を最も有效適切ならしむ工業臺灣の具現に向つて協力的事業を試みねばならぬと信ずる。之が爲めには新總督を扶くる長官以下新幹部の責任も同時に可なり重く且つ大なるものがあることを覺悟せねばなるまい。

五

實は從來までの臺灣統治につき有體にいふなら、所謂[illegible]時代のやうな意圖と精彩とを缺くやの憾あり、殊に督府の仕事といふ點で遺憾が多かつたのは事實である。之は文官總督となつてから政變等による總督の更迭が頻々たる爲めもあらうが、また同時に官民の協同一致とか、抱負經綸とかの不足とか若くは制度組織とかの上に多少遺憾の點がないでもなかつた。是れ實は臺灣の立場と共四百餘萬民衆の幸福とを希ふ老婆心より論ずる極めて率直なる陳述であるが、臺灣が帝國の南端に位する版圖として、その經濟上若くは國防上の重大責務あるに考へ及べば、何人も當然思慮せねばならぬ所であつて、本島官民の前に投げられたる一大宿題なりと斷じて敢て不可はない。殊に本島が國防上若くは臺灣自らの防衛上如何に重大なる位置にあるかの點に至つては、思ひ半ばに過ぐるものがあり、軍官民の別なく、或は內臺籍の分ちなく渾然として協力し有ゆる努力を捧げて其の萬全を期さねばならぬ實情に迫られてゐるのだ。まして今や時局柄として此の一事は特に新總督の聰明に訴へねばならぬものがある。要するに吾人は今や、行き詰りの狀況にある此臺灣が、南新總督の下に文字通りの官民協同一致をもつて新天地を打開し、本島住民の福祉增進と文化向上とに邁進する外更に本島をして當今の流行語たる「樂土」化たらしむるやう只管希望いたさざるを得ぬ。

經濟力の增進と文化臺灣の建設に努力

南總督臺灣統治に關して

その抱負を語る

【大阪發二十八日發本社特派員電】南總督は愈々二十九日定時基隆入港著任するが、これに先立ち二十八日朝記者が船中に訪ひ所感を叩けば大要左の如き談話を試みた、これが南總督の臺灣統治に關する第一聲とも云ふべきである

時局重大の際、余は臺灣總督の命を拜してその責任の極めて重大なるを痛感する次第である、臺灣が我皇化に浴してから殆んど四十年に垂々とするが、その間、歷代總督を初め幾多先人の努力により理蕃治匪の實を成り、衛生の設備は整ひ、產業敎育又

驚くべき 進歩を遂げ昔年瘴癘の地は今や漸く開化文明の恩澤を受くるに至つた、余は赴任に當り臺灣開發に力を盡されたるこれら先人諸氏に對して深甚なる敬意を表する次第である、余の臺灣統治の方針は元より一視同仁の聖旨を奉戴して一意專心奉公の誠を致さんとするものであつて、しかも施政の實際に當つては政府の政策に順き自己の所信に從ひ臺灣統治に必要なる施設の事は積極的にこれを行ひ人心を作興し以つて全臺灣住民の福祉を增進し所謂國利民福を[illegible]が上に進めなければならぬと考へる、然し乍ら凡そ事を行ふに當つては緩急自ら順序があり、何も彼も一時と云ふことは困難であるからこれらについては著任の上篤とその實狀を見

民意のある 所を洞察し當局の意見を聞き順を追うて各般の施設經營を進めんとするものである、昨秋日支間に事端を發生東亞の物情何となく騷然たるものあるが、幸ひに我皇軍の正義に立脚する働きにより東洋平和の確立近きにあることと信ずる、此の時局に當つて本島としてもその治安の絕對維持については特に意を致すべく此の局に當るものは宜しく心を此處に致して些の遺憾なきを期すべきである、臺灣の繁榮即ちその經濟力の增進と文化臺灣の建設とは余の最も念願とする所、平たく云へば本島資源の開發と住民の住心地よき島たらしめることについて余は獻身的努力を致さんとするもので、その具體的問題については著任後

調査の上 改めて所信を發表する機會のあることを信ずるが、凡そ事を行ふに必要なるは人の和である、故に此の時局重大なる時に當つて官民協力一致本島の開發に就いては帝國の南方發展に努力されんことを余は望んで止まざる次第である、今回著任に當り一言申述べたいのは今後とも官民各位の御援助と御友誼とを切望することで貴紙を通じて宜しくお傳へを乞ふ（扶桑丸にて衛藤本社特派員發）

總督けふ著任

長官以下基隆まで出迎へ

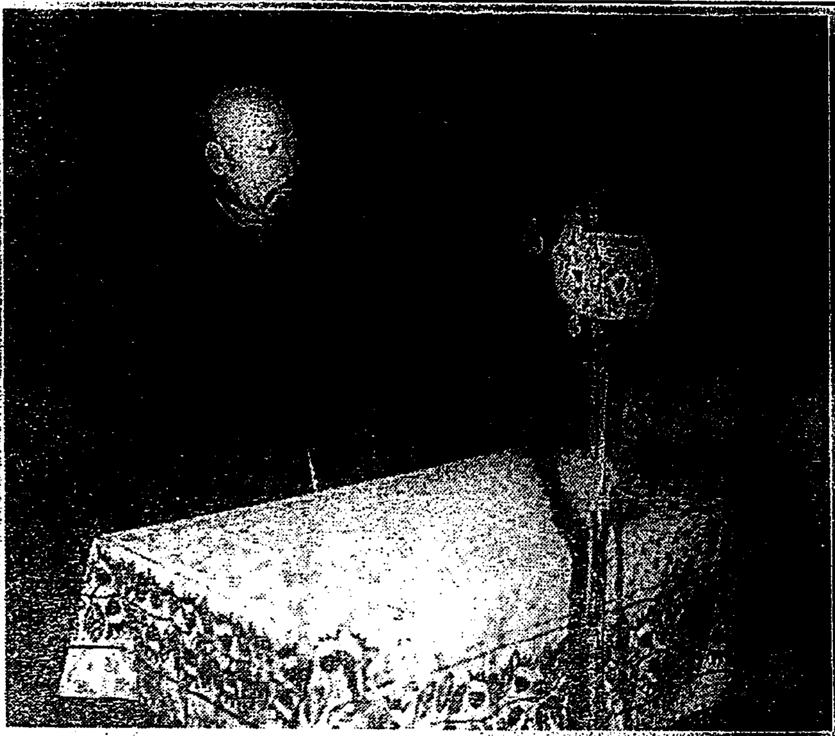
臺北著は午後二時廿五分

南新總督は二十九日基隆入港の扶桑丸で着任するので總督府側から、平塚總務長官、府內各局長、[illegible]局長、[illegible]局長、臺北州知事、[illegible]知事、[illegible]長及び各州廳からの民間代表として內臺人等が基隆まで出迎へるが總督府では一般來客との雜沓を避くるため基隆新濱町・臺北間に臨時列車を編成し船から驛までは[illegible]交通局總長先導し午後一時四十分新濱町驛發、同五十分基隆本驛に著き同五十二分發、二時二十五分臺北驛著の豫定である驛から直に自動車にて二時四十分官邸に著き主なる官民の訪問を受ける筈、[illegible]により[illegible]臺北市內は[illegible]することとなつてゐる

廿八日の動靜

【大阪發二十八日發本社特派員電】扶桑丸は二十七日夜來南風に遭ひて少し遅れたが二十八日朝から風が北に廻りて追ひ風となつたので動搖もだんだん少くなつて來たその代り溫度は急に下り門司を出る時は五十八度であつたのが臺灣に近づいて逆に今朝は五十一度になり七度低下した、總督は今日六時過ぎに起きて七時頃からデッキに出て涼しい風の中を元氣に散歩し大いに元氣振りを見せ朝食はミルクをとつたきりでデッキの散歩を樂みつつある、此の詩作瞑想の光景はどうしても俗人の風景ではなく哲學的政治家の[illegible]とも云ふべきである、今日は十時頃から島田臺銀頭取、荒木理事等の數名によりデッキゴルフをやることとなり能澤氏を加へ一戰を試みる筈である（衛藤特派員發）

（寫眞說明）撤兵豫備會議後協定成立を日本新聞記者團に發表する重光公使（日本總領事館に於て）



袁金鎧翁が お禮の放送

去る二十七日の夕內地JOAKより[illegible]滿洲國政府參議袁金鎧翁は[illegible]の祝を受けたので[illegible]JOAKを通してお禮の言葉を述べた（寫眞は袁金鎧翁の放送）

新局長を交へた最初の部局長會議

「陣容が整つたから今後大いにやり度い」長官の希望

總督府では二十八日午後一時半より長官公室に於て新著任の局長を交へて初めての部局長會議が開かれた、出席者は平塚長官、[illegible]交通、小濱內務、[illegible]、[illegible]財務[illegible]各局長及[illegible]代理[illegible]より事務の[illegible]もあるだらうが[illegible]陣容も整つた[illegible]大いにやりたい、自分[illegible]て行きたい、この[illegible]會議に[illegible]今後も引續き[illegible]に開く[illegible]總督著任後の行事、民間代表の[illegible]歡迎をお斷りしたこと、[illegible][illegible]ステートメントを發[illegible]

停戰交涉會議

悲觀されつつも開會

特別小委員會と併行

【上海二十八日發電通】停戰交涉本會議及び特別小委員會は豫定の如く午前十時から英國總領事館に於て開會された、[illegible]に先立ち二十七日[illegible]八日の本會議では協定第一、三項の字句、特に第三項の特別委員會の組織に付き討議を盡すべく小委員會に[illegible]を交付して[illegible]る、支那側[illegible]は我撤兵地域を共同租界區域の[illegible]及び其の附近の地域とするを[illegible]も附近の地域[illegible]は勿論日本軍の撤退開始時期撤退完了時期等殊に日本軍の[illegible]期間の限定等を明かにせよと要求したものらしい、然し會議は[illegible]地域の解釋決定に付き大難關に逢ふべしと注目されてゐる

支那側詭辯で

進展を阻害

我が當局は語る

【上海二十八日發電通】[illegible]

六年度歲入不足

一億一千餘萬圓

一月末の國庫現計

【東京二十八日發電通】本年一月末現在の昭和六年度歲入歲出國庫現計に依れば歲入七億六千二百餘萬圓、歲出九億七千七百餘萬圓で一億一千五百八十二千圓の歲入不足を示してゐる、即ち左の如くである（單位千圓）

	一月末	前年同期との比較
歲入		
經常部	六九〇、七七九	減　八二、七七二
內譯		
租稅	四三〇、〇四九	減　六二、八一五
印紙收入	四八、八八六	減　三、七八七
官業及官有財產收入	二〇三、一九一	減　七、〇六五
雜收入	八、六五二	減　三、一〇五
預金部繰入	|	減　六、〇〇〇
臨時部	七一、八四〇	減　三〇、九九四
計	七六二、六二〇	減　一一三、七六六
歲出		
經常部	七七六、二八七	減　八六、二九〇
臨時部	二〇一、四一五	減　四九、四二〇
計	九七七、七〇二	減　一三五、七一〇

右の內租稅收入は四億三千餘萬圓で六千百八十餘萬圓の減收を續けてゐるが、減收の最も著しきものは所得稅、營業稅、酒造稅等で、例外として關稅取引所稅、砂糖消費稅が增收となつてゐるのは金輸出禁止の影響として注目されてゐる

問題に付き復興委員會を新設し實行案を作製せしむるに決した

森官長

園公を訪問

【東京二十八日發電通】森書記官長は二十八日午前九時東京驛發興津に西園寺公を訪ひ內閣[illegible]

虹口の支那商店

開店を決定

聯合大會で

【上海二十八日發電通】[illegible]

チチハルで

祕密調査

調査員に特派された某國人

【チチハル二十八日發電通】最近某國人二名が當地に來り支那側に[illegible]

會議は若干

進捗を見た

コンミュニケ發表

【上海二十八日發電通】日支停戰會議は午後零時半終了し左のコンミュニケを發表した

第六次本會議は二十八日午前十時開會、先週中の會議に於ける日支雙方の意見を加味した成案を作つたので夫に付き討論し若干の進捗を見た、午後五時から會議を續行する、前委員は午後零時二十分終了し本會議に加はり撤兵問題に付き討議若干進捗を見た

細目は進捗

【上海二十八日發電通】停戰本會議は午後五時五十五分散會左のコムミュニケを發表した

重要の點は未決のまゝ殘つてゐるが今期の草案の細目は進捗を見た、小委員會は午後も繼續したが他の委員に相談する要點まで討議を進めて來た本會議は二十九日午前十時より小委員會は三十日開會の筈

支那誠意を示すまで

駐兵の外はない

我軍部で對策協議

【東京二十八日發電通】上海に於ける日支停戰交涉總まり難しとの報が二十八日陸軍省に到著したので陸軍首腦部は對策協議中であるが、大體の意圖は交涉成立に付き關係列國と協調し極力努力せしむべしとするにある、然し支那の態度依然誠意なければ我陸派遣の目的たる租界の安全並に居留民の生命財產の安全を期し飽き迄支那が誠意を示す迄駐兵の外なしと

減俸復活の實現

政府當局も希望してゐるが

財源皆無で困難

【東京二十八日發本社支局特電】現內閣に於ては行政整理に就ては原則として前內閣時代に決定した案を踏襲する事になつてゐたがその後政局の安定と共に各方面より局部の減俸復活要求盛んで結局大藏省では全部その要求を容れて復活することに決定した、この結果前內閣の作成した行政整理案中既に斷行されたものは減俸だけであるがこれとても復活要求の聲盛んに興り政府當局としても復活實現を希望してゐるが現在の財政狀態ではその財源皆無の有樣で到底復活出來ぬ模樣である

督府辭令

督府臺北[illegible]專門學校教授　上村親一郎
督府[illegible]を命す
督府文敎局長　安武直夫
臺灣敎育[illegible]委員長を命す
督府技師　山田　伯採
殖產局附屬[illegible]長兼務を命す
督府醫院醫長　世川　正路
宜蘭醫院長上[illegible]不在中代理を命す
督府地方技師　下村八五郎
六級俸下賜
新竹州勤務を命す
臺灣衛生技師　下村八五郎
新竹州衛生技師に補す

人事

▲太田吾一氏（前臺中州知事）二十八日歸臺、住所は東京市外世田ケ谷町代田八八
▲今川淵氏（臺南州知事）三月二十九日朝出府の筈（鐵道ホテル）
▲竹下知事（臺中州知事）三月二十八日出北（日の丸館）
▲坂本素魯哉氏（臺中彰銀頭取）三月二十八日來北（日の丸館）
▲木間瀨氏（臺灣新聞社長）三月二十七日出北（日の丸館）

◇シナチク◇

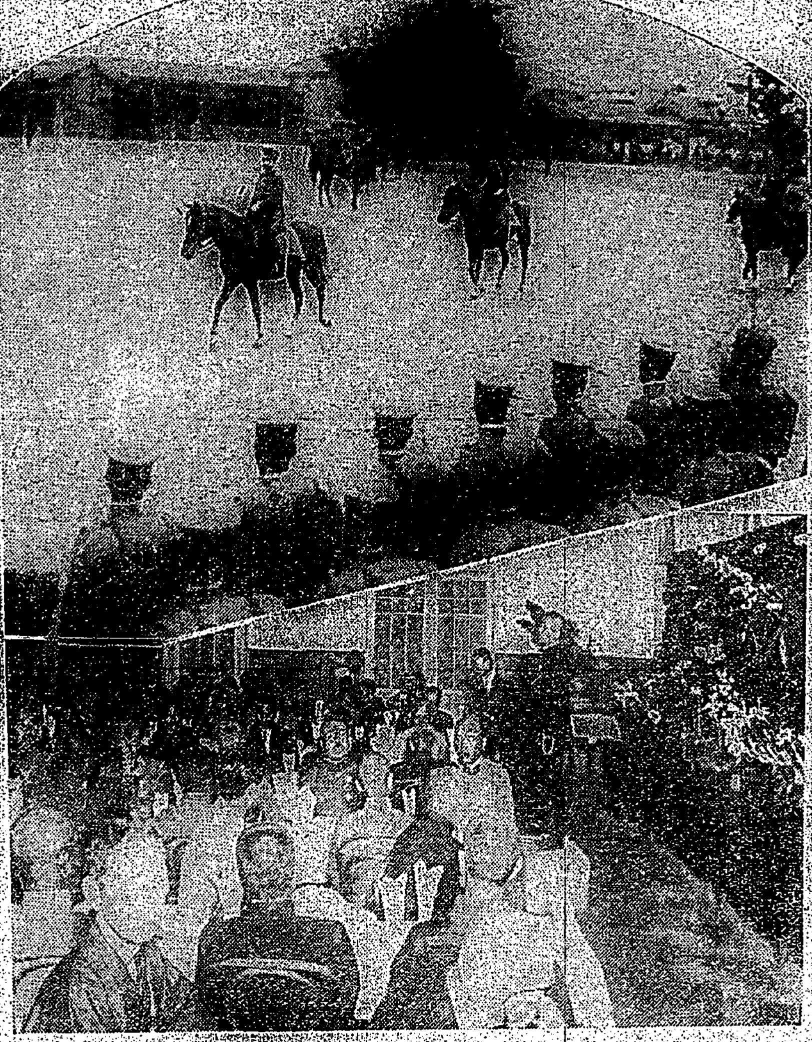
◇南總督はいよいよ本日の扶桑丸で任地臺灣へ乘り込み、[illegible]臺灣ではなし、所謂明朗なる心境で朗かな善政振りを見せることだらう。同船者には安武文敎局長の外に島田臺銀頭取、荒木同理事、[illegible]社長といふ風に特殊銀行會社の幹部も加はつてゐて定めて船中は大賑はひたことと思はれる▲この間の督府幹部級の人事異動により新任者は[illegible]に着任を見たが、[illegible]財務局長のみは七年度遂行豫算の關係から東京に殘され[illegible]南總督と一緒に着任する安武文敎を除くとして一先づ出揃つたわけである[illegible]新總督の新政治が更に一層力強く行はれてゆくだらう▲新局部の新部長となつた[illegible]君は[illegible]人で、其の仕事は[illegible]方面であつた▲その仕事の方の本職を今度は[illegible]郡守として實際に現地について行ふわけだから同君としても相當に興味も湧き自信もあることだらう、昭和三年の[illegible]郡守の一方には斯ういふ古强者郡守も居るので、其の仕事や成績の比較對照もでき第三者に取つても頗る興味の多い事ではある。

流質品大賣出し 谷山商行
三月二十九日ヨリ（夏物セル物）
京町　電話一七七八番

理想的箱入高級酒
高級酒　黑松　白鹿
◎お買の御注意 [illegible]
辰馬本家酒造株式會社

新學期中時計特賣
學生持側用時計五圓五拾錢以上各種
（在庫品豐富）
粗品進呈
鎌野時計舖
臺北市榮町　電話八二一番

OOHY SOAP
あなたのプライドの爲に
あなたの御滿足の爲に
王妃化粧石鹸
No.10



寫眞　(上)は外山守備隊司令官の臺南初巡視、驛前の閲兵　(下)は公會堂に於ける今川知事の招待宴

五十圓僞造紙幣の關係者續々擧げらる

主犯者の目星もついたので愈々大搜索に著手

【臺南電話】五十圓僞造紙幣が現はれて俄然緊張した臺南署では其後鋭意捜査中に關係者を擧げつゝあつて二十七日夜は高井司法主任指揮の下に從刑事協力して捜査の結果更に二名を捕へた、何れも北門郡下のものでその中一人は僞造者と睨まれてゐる某の弟と云はれ、彼も亦兄が本紙幣を見て僞造した旨を申立てた、他の一名は僞造者と談合の上右紙幣は市内錦町八八陳老晋方に於て三分子なる賭錢に小金と交換して買つた最初の行使者である、同僞札を盗つて其後どんな經路を歩んだかといふ點は僞物を摑まされたことを知り驚いて陳に話せば陳は[illegible]の行使者に斯くと談じの上、若し僞造者が既に五十圓を返濟することに纏まりその中十圓を支拂つた、陳は返濟が終るまで僞造紙幣を預かることを約してこれを所持してゐる中、たまく二十七日朝彼は臺銀臺南支店に僞造紙幣を差出して兩替方を申出た岡山郡竹滬[illegible]より牛を一頭を買ひ、他に返濟すべき分を合せて十九圓五十錢の支拂にその僞造紙幣を以つてし、剩錢三十圓五十錢を受取つてまんまと甘い汁を吸つてゐたものである、その筋では愈々僞造主犯の目星もついたので最後の捜査に移つた

先人の計畫を實現さしたい

新任披露宴に於ける内海知事の言葉

内海新竹州知事は二十六日午後四時から官邸に州下の官民二百餘名を招待し新任披露を行つた、席上[illegible]に次で新知事は左の如く州治に對する方針の一端を述べ新任の挨拶とした

州勢の一斑は書類及び關部長其他から聞いた以外何事も知らぬが將來進展すべき餘地は充分にある樣に思ふ、吾々の御力添へに依つて州治の發展を遂げたいと思ふ、新竹州には知事として名聲の高かつた田端氏が官民一致の下に調査研究を遂げられた州勢振興調査會の貴重な材料があり又先には[illegible]氏の計畫された道路計畫、港灣調査等多額の豫算を計上されてゐる、自分は之等先人の遺した仕事にして是なりと目したものは出來る限り力を致して繼承して行きたいと思ふ、私は不敏であるから次から次へ大きな計畫を立て世人をアツと云はせる樣な事は出來ぬ又新竹州は知事が始終變つて仕事らしい仕事も出來ず州民は甚だ迷惑してゐると云ふ樣な事を聞いたが、私は新竹州を踏み臺にする考へもなければ、州治を手腕草紙にする考へもない、唯先人の遺された仕事を力一杯やつて行くつもりである、さうすれば例へ期間が短かくても州民に迷惑を及ぼす樣な事はないと思ふ、然し州民の利益なりと思ふ事は官民一致の力に依り潔く正しく明らかな氣持でやつて行きたいと思ふ、幸ひ諸君の御後援に預りたい

斯くて一同挨拶を終り最後に上野幸作氏知事の健康を祝して乾杯午後五時過ぎ散會した

約束が違ふと日月潭工事場から

線路づたひに逃げ出す

【臺中電話】島根縣簸川郡大社町の布施保市(三)は郷里に於て日月潭工事人夫の募集に應じ去る八日朝日丸で基隆入港能高郡武界に入つたが仕事は酷くマラリアはあるし賃銀は内地では人夫でも一日二圓乃至二圓卅錢といふ約束であつたのに現場に行つてみれば一日一圓五十錢位しかくれず約束が違ふといふ所から現場を逃げ出し同二十五日朝郷里を[illegible]徒歩で臺中に向ひ途中[illegible]に出で同所から鐵道線路傳ひに二十七日午後臺中に辿りつき臺中署に保護を願ひ出たが所持金もない所から二十七日夜は臺中慈惠院に落着せしめたが日月潭工事のため時折斯ういふ[illegible]者が救助を求めてくるには臺中でも大いに困惑してゐると

頭圍庄役場

新築落成式

【宜蘭電話】二十八日午前十時半より宜蘭郡頭圍庄役場新築の落成式を行つた臺北よりは知事代理伊藤地方課長外一名臨席の外[illegible]郡守、同部課長、[illegible]協議會員を初め約二百五十名の來賓あり中村庄長の式辭について工事經過の報告、伊藤地方課長續いて郡守の祝辭及び[illegible]庄協議會員總代らの祝辭と祝電の披露あつて正午式を閉ぢそれより記念撮影をなし引續き役場内で祝宴をはり中村庄長の挨拶伊藤地方課長の謝辭あつて盛況裡に午後二時散會した因みに新築の庄役場は工費六千圓餘るモダンタイプで立派なものである

長官夫人

臺中から新竹へ

【臺中電話】平塚長官夫人は廿八日午前十時二十七分竹下知事、名和市尹其他の見送りを受けて臺中發新竹に向つたが同夫人は臺中市内における出征軍人坂本、谷口、阪田、三村、高場五氏の家庭を訪問して見舞として金一封宛を贈つたと

今川知事歡迎會

廿七日臺南公會堂に

【臺南電話】臺南州下官民合同の今川知事歡迎會は既報の如く二十七日午後六時半より臺南公會堂に於て開催されたが高雄、屏東方面よりの參會者もあつて約五百名と云ふ多數人を容し、定刻津田毅一氏は主催者を代表し

横光知事の後任として何人を迎ふべきかは現在の過渡期にある臺南州としてかなりの注目をひいてきたが本島の内外に亙り一切の情況を知悉せる今川氏を迎ふることの出來たことは誠に喜ばしいことである

との意味の挨拶をなしたのに對し今川知事は

久しく本島の生活に慣れて本島を愛する念は人後に落ちない心算である、州下百二十萬民衆の福祉を增進することについては特に一段の努力を拂ふ覺悟を持つてゐるが、何分にも自ら顧みて成算と自信を披瀝し得ないのを遺憾とする、願はくば各位の御鞭撻により指示された仕事に充分の努力を拂ふ心算である

と極めて謙遜なる挨拶を述べ宴に移り田中法院長の音頭で乾盃同八時散會した

將軍澳の文石採掘

無電の施設が必要

澎湖の史蹟を探る……(七)

望安島は馬公の西南十八浬の海上に在り、將軍嶼、花嶼、貓嶼、大嶼、西吉嶼、東吉嶼と共に

◇…七島 を望安庄といふ、島の南端から十九丁程の望安に庄の支廳が置かれて居る、[illegible]は午前十時過ぎ島に着き一日上陸すると偶々同支廳長松田幸八君が公務を帶び、ここより海上一カイリに在る將軍澳といふ小島に行く爲めに出て來たのに遭ふ、一行は勸めらるるまま支廳長と共に[illegible]に乘つて將軍澳に行くとその日には甘藷[illegible]の漁船が碇泊して居る、何でも午後の風出を豫想して[illegible]に出ないといふのであつた、一先づ警官駐在所に落ちついて

◇…文石 採掘の場所に案内される、途中ワンく吠える犬があるので見ると内地の[illegible]に見るやうな尾を卷いて居る[illegible]そつくりだ、聞けば專門から來た[illegible]したものださうな、それから[illegible]といふことについて[illegible]石に[illegible]

◇…模樣 や色彩が出て子女の裝飾具に持つて來いである、何でもこれを産するのがここと[illegible]リーだけだが、今はここでも好い石が段々出なくなり、値段も上向く一方とか、[illegible]について居る行李を買つて歸つた、歸る時に乘つた漁船の船長を[illegible]にもアクセントに全く日本人であ[illegible]だから、いづれ[illegible]

◇…子孫 [illegible]定着したものの[illegible]

[illegible]げを見ると揉み上げから頰を擦ふて顎の下から顎までギツシリ、物凄い[illegible]が博多小女郎波枕の毛剃九右衛門式であるのも多大の興味ものであつた、望安島に再び上陸して支廳に行きここで[illegible]を認めながら、松田支廳長からいろいろ話しを聞く、曰く「望安庄の人口一萬三千、その内望安島の分は四千五百だがその内三千五百は臺灣本島へ出稼ぎに出て年々十萬圓の送金をして來る、

◇…壯丁 は出拂つて殘るは女と老人ばかり、働も數に於て女の方が男よりも一千も多いので農耕、土工、賦役等に當るのが女ばかり、從つて仕事を稼ぎ合ふ結果勞銀が安く、現に商業地から[illegible]荷物をこの部落へ十四五丁も擔いで來るのに僅か三錢の賃銀である、といふ、交通機關としては月四五回の不定期船が通つて居るが風の爲め十日も二十日も[illegible]通が出來ず、先年大竹[illegible]に[illegible]に要る所にも[illegible]

◇…廳長 が行方不明だというて大騷ぎをしたといふ、一朝有事の際など誠に困るので何とか無線電信か電話を設けてほしいものだ」云々、現に此の月中旬にも高雄通ひの發動船が行方不明となつて大騷ぎをしたが、幸ひにここより東南十一浬の東吉嶼に避難して居たことが解つてホツと安心したことがあつた、國防的にも又た産業的にも重要なる澎湖列島と高雄間には是非無線電信か電話を設置することが焦眉の急と考へられた、一行はそれから

◇…部落 の文石を商いて居る本島人の宅を訪ひ、一行皆な[illegible]

(黄鳥生)

蘭を前に……臺南に於ける

平塚長官婦人一行向つて右より長官夫人、殖產局長夫人、警務局長夫人、今川知事夫人

葉櫻の霧社

記念計畫は何處へ

長官巡視に同行して

(三)……宏堂生

平塚長官は二十六日霧社の視察をして、自動車から徒歩と霧社の櫻臺に到着したのは午後一時頃、附近一帶は約一年半前の悽慘な

◇慘劇……が演ぜられたと思へない程落付きを見せ、霧社が背景と成り、淡紅色の新芽が萌した櫻木がそそり立つ絶壁に點綴して春の情趣である、眼下數百尺の溪谷に濁水溪の流れが白馬の如く踊つてゐるさまは捨て難い風致である(濁水は霧社より十丁餘り下流に合流してゐる萬大溪から流れ込んで其下流を爲してゐる)長官は「こんな平和境があんな事件の跡とは思はれぬ」と意外の面持をしたが余は事件當時を

◇追想……して感慨無量なる記憶を呼び起し寧ろ意外であつた

× ×

霧社事件を通じて霧社の名は中外に喧傳された、復興は霧社に付ては事件當時の知事水越氏、能高郡部長が挨拶を述べた、曰く記念館及記念碑の建立、[illegible]、櫻臺一帶の遊園地施設等の[illegible]、附近一帶の[illegible]等之に要する經費は殉難殉職者の遺族に對する義捐金の内より三萬圓を控除しあつたが今回[illegible]に醵金するとこの復興計畫は決して實現して居らぬ、[illegible]は遺族の者に對する義捐金の爲に寄附された金の一部を[illegible]に回いたことも如何かと思はれるがこれは[illegible]

◇毒刃……に斃れた百餘の英靈を永久に慰める爲には必ずしも無意義でない、今日迄にこの復興が等閑に附されてゐるのは三萬圓の行方を怪しむ以上不可解な事柄に屬する

× ×

兇行[illegible]を[illegible]したことは世人の記憶に新らしいがその○○○は[illegible]○○○の露と消えた、兇行の[illegible]が明白となれる者に對する此の措置に[illegible]大過ぎはせぬかと思はれる、霧社分室管下の警察官が私財を持ち寄つて建立したと云ふ公學校上の殉職殉難者の

◇墓の……周圍に植付けられた[illegible]約二十本は殆ど全部枯死してゐる、若口さがない者のネタにならねば幸ひである

× ×

霧社分室の周圍に高さ六尺餘のコンクリート壁を建造中で、これに[illegible]てゐるのには氣を[illegible]れた、鐵[illegible]を開けたのは[illegible]結構であるが、今後これを使用する機會の絶無を祈つて止まぬ、長官も「理蕃は非常に六ケ敷い現狀を維持するだけでもつまらず、如何にして化育の實を擧げるかについては充分研究を要する」と感想を述べてゐた、霧社で警察官に對する

◇訓示……中に「蕃民を愛護し一面威力の充實を計れ」と言ひこの蕃民の民の一字を附したことは從前の新語であり長官人格の片鱗を現にしてゐる

中壢郡守

二十八日著任

【中壢電話】新任中尾中壢郡守には二十八日午後二時十八分中壢著の列車にて着任、ホームには官民多數の出迎あり同郡守は直に郡役所に入り郡守公舍において官民の接見をなし終つて職員に對し一場の訓辭をなしたが、同氏を訪へば抱負の一端を語る

私は內務局地方課に一年七ケ月ゐて地方行政の事務は一通りやつて來たが官務に當るのは今度が初めてです、まあ誠意をもつて一生懸命にやるつもりです云々

竹下知事

就任披露宴

【臺中電話】竹下新臺中州知事は二十八日午後三時臺中州下の主なる官民二百餘名を臺中公會堂に招待し就任披露宴を張り一同着席するや竹下知事の挨拶に對し坂本素魯哉氏一同を代表して祝辭を述べ宴に移り[illegible]裡に午後四時散會した

嘉義鄉軍分會

編成式

【嘉義電話】嘉義在鄉軍人分會では三十日午後十時より公會堂に於て聯隊區司令官の臨席を得[illegible]として昭和七年度編成式を擧行すると

師範から巣立ちした臺中州の新教員

六十三名が一齊配置さる

【臺中電話】臺中州に今回配置された本年の師範學校卒業生六十三名は三十日臺中州廳に出頭一場の訓辭を受けた後夫々任地に赴く事となつたが右新教員中には七名の短期現役兵があると、尚臺中州へ配置を受けた新教員の實際數は六十八名であるが內五名は臺南州に行き臺南州下にゐる臺中州出身のもの五名と入替へる事となつてゐると

東臺灣勝地宣傳協會創設さる

その陣容成る

【花蓮港電話】國立公園候補地太魯閣峽を中心とする東臺灣勝地の宣傳協會組織の評議員會は二十七日午後七時から昭和會館で開かれ[illegible]議長となり議事を進めたその結果十八條の會則を決定大要左の通りである

△會名を東臺灣勝地宣傳協會と稱し事務所を花蓮港街役場內に置くこと

△目的は太魯閣峽を中心とする國立公園の設立に對し運動調査研究及びその宣傳について盡力すること

△會員は名譽會員一時金百圓以上の寄附者、特別會員每年二十圓の出資者、又は特殊の與論喚起を行ふもの、通常會員會費每年五圓を收めるもの

等で評議員會の推薦により[illegible]廳長を會長に[illegible]商工會長、宮崎街長を副會長に推薦して八時四十五分散會した

官民の諒解ある支持を願ひたい

嘉義公會堂に於ける今川知事歡迎會

【嘉義電話】新任今川臺南州知事は二十八日午前十時[illegible]にて太田文書、大塚保安課長を隨へ來嘉し[illegible]官民多數の出迎へを受け驛前より直ちに自動車にて[illegible]に[illegible]新任の挨拶を述べ右終つて公會堂の歡迎會に臨み[illegible]挨拶を述べた[illegible]七分嘉義驛發列車にて官民多數の見送裡に臺南に歸つた

私は責任者として當州に臨んだことはないが臺南とは十數年前から密接な關係にあり臺南を愛する點に於て何人にも一歩も讓らないものである、[illegible]

澎湖小景

去月上京して歸つた伊東正成氏話る、東京で先輩や在京澎湖關係者の多數と會つて來たが、何れも澎湖事情を詳細に知つて居た事には驚いた、東京で盛んに澎湖會をやつて、好い酒を飲んで來たと▲商工會長井手英彥氏は二十六日夜發內地旅行へ、四月下旬歸途の豫定▲大竹廳長が何處迄もゼンツルマン式で、常に民意を尊重して事をやつて居た事等から、軍部方面では勿論一般にも氣受けの好かつた事は、云ふ迄もないが、所謂大竹道路等の事跡から其價値を增大させ、[illegible]が惜んだ、矢張り人は去つて見ないと其價値はわからぬ▲今回軍司令官閣下[illegible]に際し澎湖[illegible]を始め各部隊成績であつたと云ふ、澎湖の爲めに芽出度し▲田中[illegible]長共に[illegible]、[illegible]とある、澎湖から候補者を出す事が澎湖の一進步で空氣の清淨上結構也

子供の火遊びから

甘蔗畑一甲燒く

【嘉義電話】二十七日午前十時半嘉義郡溪口庄上崙三一六劉知高所有同所一三二甘蔗畑より突然發火し約一甲步甘蔗二十萬斤價格三百圓を燒盡して同十二時鎮火したが原因は同人の孫劉[illegible](七)の弄火から延燒したものと判明した

四湖、口湖兩庄に耕作改善

【嘉義電話】臺南州北港郡四湖及び口湖兩庄は落花生の主産地として著聞してゐるが更に耕作改善の餘地あるので昭和七年度より兩庄とも臺南州農會の施設と相待つて同州指導[illegible]の設置[illegible]同州農會の計畫を樹て右兩庄以外郡下にも普及せしむべく特選して指導に努めてゐる

嘉義の產婆講習會卒業式

【嘉義電話】既報嘉義市[illegible]所產婆講習會第二回卒業式は二十七日午前十時半より同所に於て擧行されたが來賓及び[illegible]餘名着席所長[illegible]氏より證書を授與したる後林[illegible]氏の[illegible]北野市[illegible]の訓辭來賓代表[illegible]女子公學校長の祝辭卒業生總代[illegible]氏[illegible]

新舊七星郡守

職員に挨拶

[illegible]

蘇澳

▲蘇澳郡守の歷代は[illegible]

北港

△北港郡下の春季大掃除は左記日割で施行に決まつた

三月二十五日北港第一保第二保、二十六日第三保第四保、二十七日第五保第六保、二十八日第七保第八保、二十九日[illegible]、新街自四月七日至十一日、土庫自四月七日至十二日、[illegible]自三月二十八日至四月四日、[illegible]自四月十五日至二十日、[illegible]自四月七日至十四日、好收自四月十七日至二十一日、水林自四月四日至十四日、牛挑灣自四月五日至十五日、[illegible]自四月五日至十四日、四湖自四月四日至八日、口湖自四月七日至十五日、三條崙自四月十二日至十五日、下崙四月十日至十日、飛沙自四月七日至十一日

△北港郡壓賣組合では二十九日午前九時より郡役所樓上に於て通常總會を開催し昭和七年度豫算及事業計畫其の他に付き協議する豫定である、同總會後引續き北港郡[illegible]組合聯合會通常總會を開催し豫算及事業計畫の協議を爲すと

屏東

▲幼稚園 第七回保育證書授與式は[illegible]院內の同[illegible]で二十六日午前九時より擧行

▲花祭と托鉢 四月十日の花祭を施行するので佛教各派は二十七日より市內を托鉢し廻ると

▲主婦會 秋式野球大會の役員會に主婦會は二十八日を二十六日に變更した

▲三氏送別會 理事官に陞進勇退の大谷郡庶務課長、[illegible]郡庶務課長に榮轉の朝倉技手、岡山郡へ轉任の益田街庄主任三氏の爲め武田郡守外郡務課員に駐在各記者參加二十四日午後六時より[illegible]で送別會開催內輪の人選許りで盡きぬ名殘を惜んで九時過散會した

朴子

△法院出張所の太田通譯官[illegible]潮州出張所長に榮轉し二十七日午前十時四十八分朴子驛を出發、停車驛では知人多數に見送られ非常な盛況を呈した

△郡下[illegible]では[illegible]の佐藤[illegible]太郎君が甲科講習所入所のため過日[illegible]古川[illegible]の後任[illegible]に[illegible]

△朴子公の小山猛君、先月十一日シヅ香夫人急死の厄に遭うたが今度街方面委員[illegible]として[illegible]三十圓を寄附した

△去る二十三日における朴子の新婚數は[illegible]組[illegible]に數年來の盛事、その披露宴等のため海產物は一時に一圓も二圓も騰貴したとのことであつた

人事

▲山中榮氏(總督府警部補官) 嘉義支部判官より司法部に榮轉した同氏は二十九日午後十一時六分嘉義驛發列車にて夫人同伴赴任(嘉義電話)

家庭醫學 宿醉

女の悩み 私が助けられた[illegible] 石井とく

バイオリン、尺八[illegible]

[illegible]

東亞の謎

(229) 作者 國枝史郎 畫家 伊藤順三

豎王の執念（三）

北齒は東亞子の私娼窟であつた一軒の家へ飛び込んだ。私娼窟の窓が塊まつて見えた。

「隠くと是だぞ！」

とピストルを翳ひ、ダツトは奧へ突進した。

と、一つの部屋の戸が開いた。ダツトは部屋へ飛び込んだ。

「ダツトさん！」

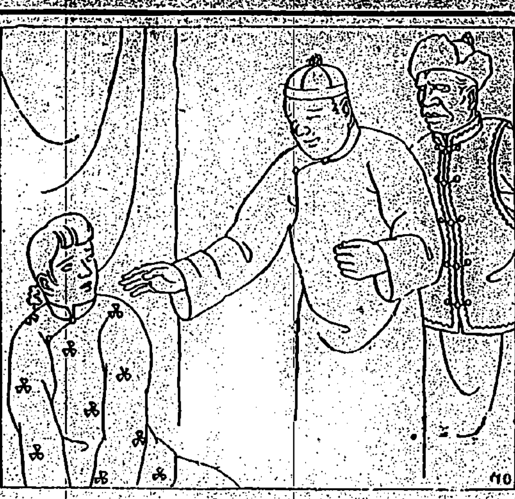
「やー、小枝だ！」

「どうしたのです？」

「シーッ、靜に！……意外だつた也速該と巴林とに！……逢つたんだ。通りで、さうして搖蕩さ！……逃げて來たんだが……追つて來るだらう！……目付かつたら危險だ！君も危險だ！……隠れ場所は無いか！君も隠れなければ！……」

「清子さんは？、ダツトさん！」

「チング君とタンヌとが保護して逃げた。……大丈夫だらう……しかし不安だ！……が、今は何うにもならない！……何處かに無いか隠れ場所は無いか！」



「北齒へ！北齒へ！」

と清子は云つた。

彼女はダツトは知らなかつた。さうして事件も察しられなかつた。しかし彼女はダツトといふ人間が好きた次郎の知人であり、事件が危險で重大で、次郎の身の上も危險らしいと、さういふことは見て取れた。

で彼女は身を以つて二人を、助けやうと決心した。

「北齒へ北齒へ」

と彼女は云つて、ダブルベットの下を指さした。

ダツトと次郎とは身を竦はせ、素早くベットの下へ這入つた。

清子は扉を素早く閉ぢ、鍵をかつて走つて來、ベットの端へ腰をかけ足をブラ〳〵揺りながら、古雜誌を讀み出した。

直ぐに荒々しい足音がし、扉の外で止まつたが。

「開けろ、オイ、この戸をあけろ！」と、濁聲の聲が聞えて來た。

清子はそこで扉をあけた。

也速該と二三人のその部下とがこの家の男女を後に隨へて、ドヤドヤと部屋の中へ這入つて來た。

清子はベットへ腰かけたまま、恐怖の色を一生懸命かくし、這入つて來た人達をジロ〳〵見た。

也速該は部屋を一渡り見たが、部下の一人へ何か囁いた。とその部下の深古人に、この家の主人らしい支那人へ、又何か囁いた。

その支那人が清子へ云つた。

「おい清子も上つと聞くが、北齒へ誰か若い男が、逃げ込んで來やアしなかつたかな」

日本ムスメを私娼として、私娼窟を營んでゐるだけに、親方の竇は日本語なども全く自由に使へるのであつた。

「親方さん、來やアーしません」

清子は齒の顫へるのを、努力して止めながら然う云つた。

「來いままで鍵をかつて、一人でこの部屋にゐたんですからね」

「さうだらうな、さうとも〳〵」

竇は然う云つて狡猾さうに笑つた。しかし竇はその清子が、若い客―即ち小枝次郎と、北齒にゐたことは知つてゐた。その次郎が部屋にゐない。臭いな！とは感付いてゐた。

それに確かに戸外から、一人の男が飛び込んで來て、奧へ突進したことも、眼で見て知つてゐるのであつた。

茶の葉漫談

―趣味を語る―

長崎三郎

紀元前四世紀頃から人類はお茶を愛した。その根元地は、御承知のとほり支那である。支那は大體惡水の地で良水がない。生水は身體に害があると云つて支那人が生水を飲用しない理由がそこにあるのだ。したがつて熱湯に芳香のある植物を投ずる風習が自然起つてくる。又さうした生薬の貯藏法も考究される。茶の葉はさうして見出されたものであらう。ある說に支那では喫茶の以前に阿片が流行してゐて、その中毒作用を緩和するために茶の飲用を始めたと云ふ者がある。これはいかがなものであらうか

× ×

しかし、昔は、茶を藥用として飲用してゐた。この茶の流行は支那では晉時代である。この時分も固葉としてであつた。西洋でも紀元前までは醫藥として用ゐ、その後飲料になつた。これは東西相一致してゐる。唐代に陸羽は有名な茶經を著はした。茶の效用はこれより次第に流行を見るに至つた日本では、奈良朝以前から行はれたであらうとおもふ。聖徳太子の頃使一行がこの喫茶の風を傳へたと云ふがはつきりとした文獻は見當らない。聖武天皇の天平元年百人の僧を内裏に召され、般若經を講じて行茶の儀を行はせたまふたことは、一番茶の記錄として古い

× ×

當時の茶の栽培は、茶の木を諸所に植たといふことである。これは東大寺要錄に見えてゐる。この時代も飲用としてではなく、藥用に供した。行基が茶を植た場所は多州岩本町の茶手寺と云ふことだこの寺に茶園が出來てゐた。十三年桓武帝の遷したまふた平安京には、茶園の設けがあつた。これは典藥寮が司どつてゐた。同二十四年は、傳教大師（最澄）が茶種を唐から傳へた。この說は或者に否定してゐる。弘法大師も、茶の傳來者として名高い人だ。しかし、この時代のわが茶史は、何人も深く進んで肯定することは出來ない。茶史は、仁安三年の秋、京都建仁寺の開山榮西法師が宋から茶の種子をもつてきて、これを筑前の脊振山に植ゑ且つ喫茶養生記を著はした。これより非常に有名となつた

× ×

[illegible]の栂尾の山中の植樹も名高いものである。栂尾は、實際日本の茶所として、當時有名な所だつた。栂の尾の茶は、宇治、仁和寺醍醐、葉室、般若寺、神尾寺、大和寶尾、伊賀八島、伊勢河居、駿河清水、武藏川越等に分植せられて、いづれも有名な茶所となつてゐる。何れも名高い茶所であるが中でも、宇治が一番有名である。宇治は五ケ庄小字大和田即ち黃檗山の門前の畑中に蒔いたと云ふ說が出てゐる。北條時代から南北朝時代にかけて、茶の流行は盛んとなつた。足利時代は茶道の初めといはれる金閣寺と銀閣寺が出來た茶風は全國にひろがつた。織田豐臣時代の茶會の流行、千利休の出現は、あまりに有名である。茶器の製造、南蠻物の陶器の輸入、かう云つたものも盛んに行はれた

× ×

徳川時代は、三代家光のとき、宇治の製茶を每年四月茶壺の中へ入れさせて獻上させたが、これが有名な茶壺獻上である。茶師は、五百石とか二百石とか祿をたまふて保護した。かうして書いてゆくと日本の茶史は際限きりがない。茶道史でも御覽になるはうが早道である。ここでは、方面を少しかへて西洋における喫茶のことを考へてみやう。佛國西の植物學者ドカンドルは、支那の雲南から印度アツサムにわたる山系が、茶の原産地と說いてゐるが茶の產地は、印度又は支那が原産であることはたしかである

×

にはじめてこの茶が歐洲に入つたのは、西曆一六三〇年で、オランダ人が東印度會社を設立したときであつた。これは我が徳川三代將軍のときにあたつてゐる。歐西の茶史は、かうして見ると非常に新しい。それが始めて英國に輸入したときは、その使用法を知らずに、[illegible]スをかけて食べたといふことである。と聞いただけでも、ぞつとする話である

× ×

次に、ロシアには、十七世紀の中葉、今から百六十餘年前にはじめて茶を輸入した。これよりさきにロシアから印度に派遣した大使にむかつて、印度王から露帝に茶を獻上したことがあつた。それが有益無害といふので賞讚の的となつた、それから喫茶が流行した。日本からも、どん〳〵茶が輸出されるさうだ

× ×

佛蘭西の歷史は、わりあひに古いものである。これは一六三六年ごろは、すでに喫茶の風があつたさうだ。一六七〇年シヤンチー氏は、茶は自然の大恩藥なりと稱へて賞讚したものだつた。しかし英人系は、茶を好んでゐるが、佛獨墺伊はコーヒー黨が多いと云はれる。この中でイタリーが近頃日本と步調をあはせやうと喫茶が流行してゐる

× ×

米國では、歷史的に面白い關係があるところで、喫茶の風は相當古くからあつた。獨立戰爭の原因した動機は、ボストンの茶稅が茶に重稅を課せられたのを憤つたのが大なる原因で、當時歐洲から船に積んできた茶を海中に投じたといふ話柄をもつてゐる。最初は緑茶であつたが、段々紅茶となつたわが國で輸出する茶の殆ど全部は米國で消費されてゐるが、最近は印度茶に壓倒されて、漸次縮退してしまつた。茶は印度茶であるか英國の資本主義による英國茶とも云つてよい茶で、印度人が英人に驅使されながら、どん〳〵と製造した茶を輸出してゐる。ここらは政府も茶の獎勵業者も、大いに熟考しなければならないところであらう（完）

臺灣兒童の內地見學

第十信

―三月二十日―

今日は東京市內の見學です。二十三臺のタクシーを連ねての遊覽です。二十五哩の速力を走る自動車からの見學をただもう無性に喜んだのでした。上野、淺草兩公園から、靖國神社、丸の內、[illegible]公園、泉岳寺、乃木邸、乃木神社、明治神宮、同外苑を巡りめぐりました

× ×

最後に鈴木侍從長官邸に到つて同大將閣下から親しく陛下の御近況を拜承いたしました。相當長い時間に涉る話の中ではあつたが側近者のお話であつただけに一入感激にうたれたのでした。同邸では茶菓の饗應などを受けて夕方六時頃旅館に歸着しました。眼まぐるしい東京、殊に今日は晴れたる日曜日、一般の人出に雜踏りて落ち付いた見學は困難でした。明治神宮の參拜と、鈴木侍從長官邸の訪問拜謁とは昨日の皇城參拜と共に大なる收穫だつたと喜んでゐます

第十一信

―三月二十一日―

今日は春季皇靈祭日です。戶毎に飜へる國旗の中を電車にて淺草雷門驛に赴きました。茲で日光中禪寺湖間は國樂道路の改修で自動車が通せぬことを知つて、中禪寺湖、華嚴瀧の見學を中止せねばならなくなつたことを殘念に思つてゐます。日光行は東武電鐵を利用しました。日光までの二時四十分間は晴れ渡り麗い武藏野を北へ北へと走るのみでした。白雪々たる富嶽を左に、[illegible]やうな銀嶺を右に、雜荒涼たる冬景色の中を急ぐのでした。一行は連日の疲れにウトウトねむつてこの景色は夢のうちに過ごしました

× ×

日光驛では唯一人學校の先生が迎へてくれました。大谷川に架した神橋、神橋のそばで電車をすて輪王寺、三佛堂から東照宮に詣でました、表門、三神庫、陽明門、唐門、拜殿、神輿舍、陽明門、[illegible]と錯綜のやうな說明を聞きつつ金銀朱漆を鏤めたる宮殿を見ました。千古の杉木立の中に金色燦たる宮居には悉く驚を禁じ得なかつたのでした。二荒山神社、大猷院殿も限なく巡拜しました。到るところに殘雪がありました。子供たちは盛んに雪合戰を通じて喜びたはむれもしきせんでした。日光はにめげもしませんでした。もと來た道を東京にかへりました。午後四時すぎ發して

× ×

雷門から地下鐵利用の豫定は勞働爭議に妨げられて果しませんでした。宿にかへると子供たちの郷族知多勢が訪ねて來て宿は混雜しました

支那婦人の横顔

女丈夫

原好一

泥田の中でトグロを卷いてゐるやうな多くの女性の中で、一際鮮かな閃きを掩かせる女性は、新北不毛の北滿から蒙古にかけての女丈夫と、現代女學生とである娘のウラ恥かしさも忘れて荒山の馬を御してゆく、馬のみの文化に飾られた北滿、蒙古の女性は、村へ行くにも町へ出るにも、戀を語るにも馬に頼らなければならない。從つてその手綱さばきの鮮かさは新旅普通の男の比でなく正しく女丈夫の觀がある。

× ×

遊牧の猟を唯一の燃料にして、とても出來た食物で生活してゐる彼女等も、年ごろとなり結婚が近づくと、激しくも勇ましいスポーツによつて未來の夫が決められるのだ。また若い未婚の男性は、そのスポーツに與へるために幾十頭の悍馬を次から次へと乘りこなし、險い平原を縱橫無盡に驅け廻つてゐる。その速やいこと何れ若らぬ疾風の如くだ。

× ×

サテいよいよ娘の夫を決めやうとする日が來ると、村長が村に立會人に選ばれて、娘を望む若者の馬群一隊を一定の所に止め、少し離れて父娘の馬隊を止めて置く、そこで一通り立會人から一同に訓示があり、卑怯未練な振舞ひあるべからずと言ふことになる。

× ×

號砲一發！父娘を乘せた馬はサツと走り出す。これと同時に父娘目がけて若者の馬隊が飛出すのだ娘の父は多年の手練をこの時とばかりに發揮して走る！走る！大陸の平原の中に埋りこむやうに走る

× ×

こちらは若者の馬隊だ。何糞オイボレ奴ー！と許りに血氣に委せて父娘の馬を後を追つて行く。どの若者もどの若者も必死だ！その馬も一頭や二頭ぢやない。十頭も二十頭も選りに選つた駿馬ばかりだ。馬が遅れないやうに次から次へ、疾風の如く走つてゐるうちに乘り落へて行く、娘の父もこの若者に捉らずと誘惑をつくして走る。正に勇壯なスポーツだ。

× ×

若者も一匹の女將を追ふ男蜂の群のやうに、父娘と若者たちの距離はいよいよ白熱化し、そのうちに一人落ち、二人落ち、最後の一人は勝ち誇つた馬の嘶きとともに娘の夫たることが許されるのだ。

× ×

かうした試煉を通つてきた彼女たちだから馬に乘ることは我々が下駄を穿いてゐるのと少しも變らず。何の不便も苦痛もなく樂々乘りまはして行く。女丈夫と云ふよりも稍野性化してゐる點で、所らしい近代女子に引たところもある五十になつても六十になつても、彼女たちは馬の背から背へと自由に乘りこなし夕陽落ちた廣大陸の道路をうたつて牛馬を追つて行く

× ×

から言ふ女丈夫を通つて明らかな天地に開放されやうとする現實の新女性、彼女たちの家はまだアヘンの臭ひに包まれてゐる。自由の聲が叫む弘道に、恐ろしい形相で睨まれるのだ。開けてゐるところは漸々スポーツにあるが

×

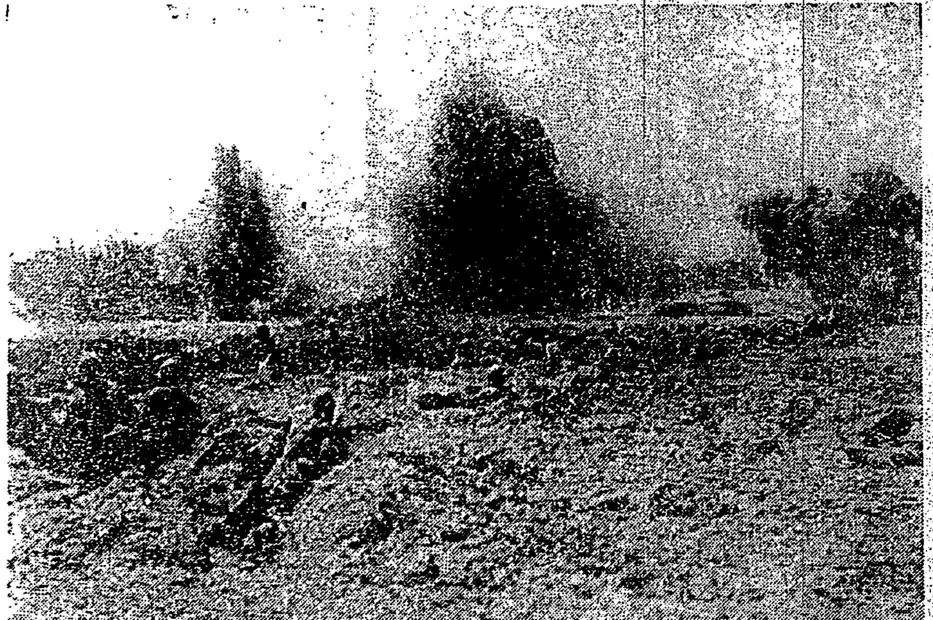
[illegible]

ポーツに對する理解であつた。これが爲め奉天には國際競技場が設けられ、民衆觀念を超越し、男性の專制を顯にし、唯一質全身の力をこめたスポーツ熱によつて陰慘な色に包まれてゐる若い女性のために明るい光を投げてゐた。

× ×

現代女性のスポーツには未だ見るべきものは殆どないが、次第に伸びて行くその前途には古い型の家庭を脚下から改造してゆく力がこもつてゐる。そしてそこから新しい女性の覺醒が叫ばれやうとしてゐる。

纏足の女、三界に家無き女―そして西洋靴の女、そこに現實の女性時代がある。



廟行鎮の模擬戰

[illegible]

新刊紹介

◇川柳卷 淡橋から橋へ（淡一佛著）著者淡路の風祭で東京の橋大阪の橋をバックとして其スケッチを川柳にし面白味のあるもので斯道の參考書に適して居る（定價一圓三十錢、東京市神田駿河町ビル內小木書房發行）

◇新修漢和大字典（文學博士小柳司氣太著）漢和字典は各方面から色々の形式で每年刊行され其刊行數も可なり多數に上るが理想に近いのが無いと云ふので著者が多年の蘊蓄を傾注して著はしたのが此新修漢和大字典で理想的の字典である（定價三圓、東京市日本橋區本町博文館發行）

△批判（三月號）卷頭語の戰爭平和、榮止（加藤進）は依然として天下衆步の觀がある。これだけでも批判が[illegible]と思ふ。つぎに本號には地代論に關する論文（福田三郎）地代論（林要）二氏のマルクス地代論に關する論文が載つてゐるのはさすが非常な收穫である。[illegible]雜誌だと思はせられる。福田氏の地代論は過去四ケ年にわたる「地代論」論爭を顧みるにとどまらず、「其全論爭の成果を判定する」ところに意圖が置かれてあるやうだ、筆者の本號は第一篇にすぎない、筆者の意圖するところが果して完全に遂行されるか、あるひはさらに高い展開を要するか完結を待たう。ドイツに於けるファッシズムとヒットラー派（堀治聡一）大いに期待したがシズムの生成もそれが今日あり得たのは敗戰ドイツ國民の民族的及び資本主義的三重搾取の苦惱が、ヒットラーへ、ファシズムへ驅り立てたのである。堀治氏は邪にこれを公式マルキストの陷入りがちな、資本主義一元論的立場からのみ觀察して「ナチス」も亦資質的には大資本の利害の擁護を追求しつつあるーーといふ。果して左樣であるか、他に岡次郎氏「現下の國際政局とフランス帝國主義」田中惣次郎氏「明治維新とブルジョアジー」長谷川氏「藝術に於けるファッショ」外時事批判がある、讀みこたへは相當ある（東京市外中野町上ノ原六我等社發行定價卅錢）

萬なかだち

求職一件一回 登四貳拾錢
其他一回 登四七拾錢
名倍 額

新學期 四月四日本科自由科 學期四月文化村 五ケ月 引認可・ファロス和洋裁縫研究所

店員入用 市內に保證人ある者に限る 臺北市京町二丁目 肥前商會

女店員 午後一時より三時迄 臺北市京町二 アサヒヤ玩具店

派出婦 家政婦 一切の家庭派出 新富町三幼稚園横

讓店 大和町四丁目 木造二階建 電話四〇六五七番

讓店 洋品化粧品店 種々有 茶天地 電話三〇六二六

下宿向貸家 十二室 電話七一九番

貸家 東門町三丁 電話二六七四〇番

貸家 [illegible] 電話二〇一三番

恩給 [illegible] 電話 [illegible]

男性器の不能は深刻なる悲哀を孕んで居る

家庭の不和は、彼女の虛榮心を滿足さすにも何不足がない、夫は壯健な若年紳士で老つて心やさしく頭をおさへる姑もなく、人も羨やむ境遇であるのに、何故か？彼女は何日浮かぬ顏をなして何か物足らぬ惱みがあるらしい。一體何が娘聯して居るだらうと囁かれる樣な若い妻君がよくあるが、若い男女には、貧乏よりも、病よりも、性的の惱みほど深刻なものはない男性生殖器の發育不完全、包莖、機能障害も、配偶者の性的生活の不滿足が悲惨な破綻の端となるのである、それが爲め一寸した機會や誘惑に出遇ふと容易に三角關係に陷溺したりするのであるから其時一際に婦人の貞操のみを責むるのは、世態人情の表裏と機微に通じた苦勞人のすることでない、何故ならば大たる資格を缺いで居るのに要な持つた男が間違つて居るのである。それで先天的或は不自然行爲の悪などで生殖器の發育不良、機能障害の男子は、未婚と既婚の別なく、一日も早くこれを治療し男性の資格を完成すること

許ホリツク眞空水治療法器は、新人の不能者にあるが、近來誰云ふとなく[illegible]

（非賣品）圖入說明書と實驗例文集

アタゲルダ

作成者の發達じて[illegible]ハガキで御申込あれ全部無料で個人名義で密送す

專賣特許 登錄商標 ◇◇ホリツク眞空水治療法器 金四圓五十錢
◇◇ホリツク包莖安全自療器 金三圓八十錢
送料 濱幷內地廿一錢 植民地五十錢 包莖內地十五錢 植民地四十五錢

◇◇包莖は特許包莖安全自療器で無血無痛切らずに治ろ。
◇◇代金引換は（旅器說明書付）と注文次第送る代引送料十五錢增

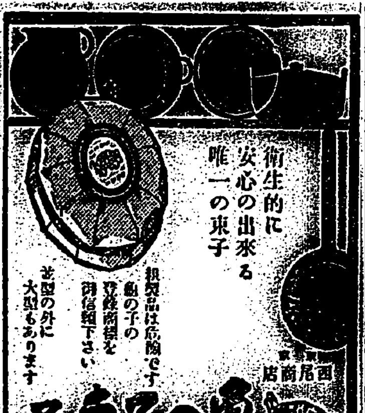
東京市芝區神谷町十八 電話芝三三二一 東京新療法研究所
大阪京島中二丁目三二 電話北八二六八 新療法研究所大阪支部

天下無双 金巾サルマタ

（カタログ送呈）

（[illegible]）

メリヤス製品問屋
大谷義商店
大阪淡路町一



衛生的に 安心の出來る 唯一の束子

類似品は危險です 龜の子の登錄商標を御信頼下さい

並型の外に大型もあります

西尾商店

龜の子束子

專賣特許製品

類似品ありミクニ印に御注意を乞ふ

桃の節句に

榮養ある お汁粉

老ひも若きも 大喜び

特長……特許製法により小豆の滋養分をそのまま完全に保有し消化を助け、脚氣、便秘に卓效あり、香氣、風味共に絕佳であります

用法……ゐるお一匙に砂糖三匙と若干の食鹽を加へて混ぜ、熱湯で一分間煮付ければよろしい更に少量のミルクを混ぜるとココアに似る素晴らしい風味になります

大罐……五十人分入
小罐……二十人分入

ミクニ印

榮養あるお汁粉

有名洋酒食料品店・乾物店
菓子店・各百貨店にあり

發賣元 三宅商會 臺北・臺南・高雄

お乳の補給にどりこの

[illegible] 大日本雄辯會講談社 大賣出中

ダンゼン愛煙家の寵兒

仁丹 口中香錠

富士よりも高き日本のほまれ それはニコチンをとる保健劑を日本人の手で創製した事です

店頭にあり 一包 [illegible]

發賣 大阪 森下博藥房

芳香高く泡立ち良き

御園石鹸

15 SEN

萬金物 物の卸デパート

大阪南區 [illegible]

大野合名會社

[illegible] 臺灣日日新報 [illegible]

良港灣に加工場設置は得策（下）

海南製粉の孤軍奮闘

海南製粉工場は旭川運河上流にあつて往年本船と工場との間に水運の便があつたが今は運河が埋沒して全くその用をなさない、しかし岸壁を距る約二十丁のところにあつて輸入した原料小麥は自動車輸送によつて數分間で倉庫に取入れ得る便宜があるが、若し運河が浚渫さるるとき直に本船との間に原料の艀輸送ができ更に余裕の能力を發揮し得る、同工場は日産五百バーレル（約五百石）の能力があるが現在は一千バーレルまで擴張し得る餘裕をもつてゐる、小麥粉の本島需要高は年約百三十萬袋で内海南製粉の供給六十萬袋で他の七十萬袋は總て移入品である、原料宜しきを得れば前途多望であるが、その特點は原料の小麥を輸入して保稅倉庫に藏置し、製粉高に應じて隨時所要額を引取り保稅倉庫の期間百斤二圓五十錢（二回二十二圓五十錢）の輸入稅が猶豫され、麥粉の輸出は輸入稅の拂戻しを受け得るので加工工業の目標もここにあつてその内國工業と異なる所以であるが同社は本島が内地麥粉のダンピング市場として取扱はれ内地製粉業者が内地余の麥粉のみの販賣統制をして所謂内地買與、盜賣販賣の破壞をとりその不當な壓迫に惱まされ、最近臺北粉が内地各製粉會社を遊說して本島製粉業もその統制下に置き同一歩調を採りたきことを要請したるも拒絕されたるより敢然起つて自社製粉の内地移出を決行し内地製粉と一戰を試みんとしてゐるが本島麥粉の内地相場は本島より一袋二十錢高で海南製粉としては運賃諸掛を掛けても尚且内地賣りが利益たとは内川大製粉工場を敵に廻す海南製粉の孤軍奮闘振りこそ目覺しとや日はん、

製粉原料と對外航路

そこで海南製粉の原料小麥の輸入が本島對外航路にいかなる結果を齎らすかと云ふと假りに海南製粉の年製粉高を六十萬袋とし三千萬斤（二萬噸）の小麥を使用する譯でその全部を内地、米國、加奈陀、濠洲から輸入してゐるがその割合は内外相半ばしてゐるけれど昨今は主として外麥を使用してゐる、しかし小麥の如き大量の品を輸入するには大量積輸送するを利益とし、米國麥はここ一、二年前より日本郵船の北米航路の平安、日枝、氷川の三巨船で何航二三千噸を積入しチョイ〳〵その雄姿を基隆港に現はしてゐる、つまりそれと積合せて加奈陀麥の大量及雜貨類を直輸入し基隆海產物商三河屋商行の如き同船でヴアンクーバーから一船貨に二千噸の商陳を直輸入し神戶、横濱揚の米國をして瞠目ならしめてゐる、濠洲麥も昨年相場によつては積船直輸入し本島とシドニー、メルボルンとの間に航路が開かれ昨年までは大阪商船の内地濠洲航路の巨船が小麥荷揚の爲めチョイ〳〵基隆に寄港したことがある、海南製粉としては今後その製粉作力を發揮するとき島内供給の剩餘若くは相場の關係から南支那各港への小口輸出に對し絶好の地位を確保し南支那航路の船腹を充實することにもなる

結論

基隆における窒素肥料、海南製粉の二大加工工場が海外航路助成に大に寄與してゐることは前述の通りで更に二、三種の大加工工場が現出するとき原料及製品を輸送する各航路はそこに相互扶助關係を生じ原料及製品の積合せ輸送は航路が航路を產みそれに附隨して他の商品も直輸送され外國航路船の基隆寄港を促し運賃低出の根本調節ができ生產、分配共同安となつて取引に彈力が加はり内外市場に優越な地歩を占め得る、基隆市有力者は目下督府で進行中の臺府基隆都市計畫調査と協力しそれを地元市民の希望に副はしむるやう調査委員會を組織し、種々調査計畫を練つてゐるが、筆者が彼等委員と共に實地踏査したところによると、基隆市繁榮の惱みとしてゐる工業敷地の狹隘限は誤認で數萬坪の就地、臺地は研究各所に散在し殊に道路さへ開鑿すれば海南製粉や窒素肥料位の工場は十數箇所を建て得る餘裕がある、それも立派な工場ならば決して敷地なきを憂へないことを發見し大に意を强うしたが市民として再考すべきは、折角七十餘萬圓を投じて竣功した田寮運河が窒素肥料に寄せしほかその沿岸平地が運河改修の目的に相應しい商工地帶化しないで住宅地として利用され、旭川運河が中流に繪畫を築造するのみで上流岸南の加工工場地として格適せる海南製粉工場の附近一帶が荒狀に委せられてゐる」ことで近代の港灣は多くの加工工場を有つことによつて商工業が繁昌し、航路を助成し、港灣として内外に對し重きをなすので地元都市計畫調査員としては内外の大勢を達觀し貿易港としては加工工業若しくは仲繼貿易を伴はないでは巨資を投じ偉大施設を誇る築港もその意義の大半を沒却することを知るべしでグレート・キールン夢見る前に先づ港灣としての地位とその使命を自覺し差當り加工工業に對する觀念を決め凡ゆる施設もそれに合致するやう研究するを要す（扭周）

變性酒精は生產激增

普通酒精は生產微減

六年度の產額十六萬二千餘石

總督府稅務課調査による昭和六酒造年度の全島

工場別 酒精及燃料用變性酒精の製造高は此の程集計なつたが右調査によると、昭和六年三月一日に始まり七年二月末日に終はる酒造年度中の島内酒精生產額は十二萬九千百四十八石九斗六合他に燃料用變性酒精が三萬一千九百四石六斗五合に達し酒精のみの計數では前年期の十三萬一千百七十二石四斗四升五合に比べ二千二十三石四斗三升九合を減じてゐるが變性酒精に於ては斷然激增してゐる、これは酒精の製造は日支

事變に より從來の對支輸出が杜絶したが變性酒精の方は漸次その用途が内地各酬の一般家庭用として其の需要さるるに至つた結果で、次の表にみる如く殆んど各工場ともにこれの製造に努力を注いでゐる。（單位石、變は燃料用變性酒精）

各工場別製造高

	石　合
明治蒜湖 （變）	[illegible]
明治南投工場 （變）	[illegible]
明治總爺 （變）	[illegible]
明治蒜頭	[illegible]
同　南靖 （變）	[illegible]
大日本虎尾 （變）	[illegible]
臺製橋仔頭 （變）	[illegible]
臺灣八堵酒精工場	全休
高雄酒精會社	[illegible]
臺製阿緱工場 （變）	[illegible]
[illegible]旗尾 （變）	[illegible]
帝國新竹工場 （變）	[illegible]
同臺中工場 （變）	[illegible]
新高彰化工場 （變）	[illegible]

同各月別酒精製造高

	石　合
三月	一九、八一六、四六〇
四月	一六、三八八、八〇九
五月	九、九〇四、六二四
六月	一〇、三〇二、八四三
七月	六、八四四、二九四
八月	二、八一五、一三八
九月	六、七一五、八二一
十月	九、六九一、一一八
十一月	五、六〇四、二二七
十二月	四、八七二、〇一九
一月	一六、七五二、九九二
二月	一九、四四〇、六六一

同各月別變性酒精製造高

	石　合
七月	二、二三五、九三四
八月	四、三三九、四〇五
九月	一、一五一、七七九
十月	一、四一一、六八一
十一月	二、六三八、九七六
十二月	一、八九四、二三五
一月	四、五七五、八七二
二月	五、三二七、五一〇

日本石油錦水鑛場第十二號井より二月廿七日瓦斯猛噴開始の實況

熱河附近に十億噸の炭田發見

滿洲の購買力漸次回復

【大阪二十八日發本社特電】奉天で開催された日本商工會議所支那調査委員會總會に出張中であつた大阪商議理事前田松一郎博士、神戶商議理事稻木宗三氏等一行は全滿の視察を終へ二十五日朝門司入港のウラル丸で歸來したが高岡博士は語る

新國家は浪費弊害を統制しその他を自由經濟主義によつて開發する方針で新國家當局に於ても外國資本よりも

日本の進出 を歡迎してゐるし日本の事情たる特殊權益を除外しては如何なる外國も投入する事は不可能なる事でさりとて今迄傳へられてゐる滿蒙は宣傳が利きすぎてその眞相がカムフラージユされてをり過去數十年の滿蒙事情調査は外皮のみで所謂パンフレツト調査にすぎず一切の滿蒙に關するパンフレツト調査を再訂する時期である、之が爲滿鐵では東部特に

黑龍江方面 に大調査隊を送つた外更に全滿に亙り根本的に經濟調査をなす筈で最近熱河に近いシンキウに推測以上と目され十億噸を突破する炭田が發見された、又天然資源の科學的調査も當面の問題で從來滿洲特產として大豆の礎油出されてゐたのが油と糟に分離され或は食料にも研究され

高粱の如き も食料燃料だけではなく澱粉を採取し或は優秀な糊を精製される樣になつた高粱糊はアラビアゴム以上で靴底の膠着に用ゐられる等に於ても好成績で此の科學的研究によつて天然資源の範圍と價値が增大される、滿洲各地購買力は新國家以來回復しつゝある狀況と

銀高商品買 のストツクの關係から推して從來より三割以上好轉し漸次購買力も回復になつて行くものと思ふ

北洋合同漁業會社

創立總會で久保田氏社長に

二段に亙つて增資斷行

【大阪二十八日發本社特電】北洋合同漁業株式會社の創立總會は二十六日丸ビル露水組合で開かれ

社長に 久保田四郎氏、取締役佐々木平次郎、深川秀雄、監查役山田彰、坂元作平の各氏就任資本金五百萬圓は發起人の外鈴木、川村兩氏から全額拂込を完了し二十六日登記することとなつた」この

增資は 二段に亙つて行ふべく四月十日頃一千四百八十萬圓（中一千萬圓は東拓引受、四百七十五萬圓は個人漁業の現物出資）に增し更に四月二十日頃日魯漁業株主總會の承認を經て

資本金 四千萬圓となる豫定である、尚東拓の希望通り一千萬圓の優先株は八分配當優先を認めた又會社重役も露水組合、日魯漁業、昭銀、東拓から推薦され多數有目すべく久保田社長は深田秀雄氏を

股肱に 新規の切盛しにかかる筈である

茶共販所で機械再製茶計畫

實現せば製茶界の大革新

臺灣茶共同販賣所では二十六日の理事會において本年度の新規事業として機械再製茶の製造販賣をなすことを決議した、其の

目的 とするところは[illegible]再製法の實現により[illegible]式製茶を改善し組合員の生產茶を組合自ら再製して直接輸出又は内地輸出[illegible]に販賣し以て組合員の福利增進を計らんとするもので[illegible]大なる理想の下に商業的に着手せしめんとするものである之に要する再製場は茶業獎勵のため總督府に無償貸下げを申請し許可を受くる見込みである、同[illegible]製茶法は

舊式 の如く[illegible]とせず[illegible]めて小面積の工場に於て少數の職工により相當大量の作業をなし得るのみならず生產費は職工の節減により著しく低減し且つ工場は勿論製茶其のものに對する衛生の點については飲食料品の取扱として名實ともに現代的な製茶方式の比ではない、尙再製場は當分の内烏龍茶のみとし[illegible]、包種茶、紅茶は[illegible]

貸下 げを受くる[illegible]

正市[illegible]他て [illegible]

米穀移出商同業組合、臺北精米同業組合、同日米商組合では共同して二十九日午後五時より江山樓に於て今回臺北市助役に榮轉した[illegible]長の送別會を開催の筈

新財務局長 岡田信氏

一人赴任の現れてゐる岡田財務局長は總督府東京出張所に出勤目下七年度豫算の查定につき大藏省と折衝中であるが長官宛來電によると豫算の審議も今月中決定の見込につき四月早々出發赴任の途につく由である（寫眞は氏が大藏省預金部銀行課長時代銀行檢査に來臺した當時のもの）

竹南郡の篤農家表彰

新竹州竹南郡農會組合聯合會にては二十六日水稻競作會に當り左記篤農家表彰式を行ひ銀杯一個宛を授與した

△優良農主　竹南郡南口李萬合、頭分庄謝陳秋、造橋庄[illegible]文湖[illegible]木、後龍庄[illegible]卿、[illegible]水[illegible]

△米作功勞者　竹南郡竹南庄三同口公館王丁炎、頭分庄田[illegible]錦石後、後龍庄鄭瓦來秋

△相協功勞者　頭分庄李木華

△養豚功勞者　頭分庄蔡桃添[illegible]山

アルミニウム日本販賣權

三井三菱が參加

【大阪二十八日發本社特電】歐米アルミニウムトラストの日本販賣權は從來アジアアルミニウム會社が一手に占めてゐたが今回契約更改に當り新規に三井、三菱が加はり三社でこれを取扱ふことに決定トラストとの間に調印を完了した

「停戰後」の上海へ出貨旺盛

永續か否やは疑問

【大阪二十七日發本社特電】上海を中心とした中部支那に對する邦貨輸出の將來に就いては樂觀悲觀の見解が對立しその動向は注目の焦點となつてゐるが

停戰後 僅か二十日にして實際の商動きは案外の好調を現はして來た即ち日本郵船は上海市街小康化の直後八日に第一船を十三日第二船を出したが邦貨稀薄殆んどとるに足らず前途悲觀された然るに第三船笠置丸に至つて出貨漸く本調子となり同船は二十五日大阪を出帆したがその荷内容及び數量を見るに大阪綿絲布六百噸、神戶米揃砂糖[illegible]九百五十噸、合計三千五十噸で殆ど盛況を呈してゐる同社では此の[illegible]込みの設備に更に二十六日神戶發の臨時船を出す事に決心し

南洋線 の八幡丸を之にあてたが同船積取數も神戶で米[illegible]千五百噸門司セメント[illegible]千噸で同船も滿船である勿論積取品の内容を仔細に點檢すれば砂糖は四月から實施される關稅引上げに對する見越し滲出米の大部分は中部支那上海の揚荷不能の爲神戶に留めおいたもの、セメントは從來材料にして平時未滿輸出品たる[illegible]製品が動き出さぬ以上眞の意味に於ける對支貿易の復活と見るは不可能にしてこの盛況の永續性も疑はれるが斯くて[illegible]から[illegible]へ[illegible]されるものと觀測される

新竹州の鹹水養魚と漁船繫留場

新竹州水產會の七年度新規事業中の鹹水養魚池試驗は竹南郡頭前庄淡水支湖の一千二甲七分、新竹郡[illegible]坑子口の[illegible]野八甲餘を借り受け一千九百一十九圓の豫算を[illegible]して[illegible]、うなぎ、車えび等の養殖試驗と鹹水養魚の模範を示すものであり又[illegible]の[illegible]堤防はその[illegible]下流に[illegible]百[illegible]十五間の[illegible]河岸と同じ深さに浚渫し河岸には[illegible]約六尺の土留工事を施して漁船の繫留場とするものである同所を選んだ理由は[illegible]州試驗場[illegible]よりあるばかりでなく毎年四月から七月に至る期間は小型發動機船が小鰹延繩漁業の根據地として集り又州試驗船の實驗より見ると後龍沖台に好漁場があり更に海陸の交通極めて至便な位置にある爲め有望な位置に新竹州民の要望してゐる漁港の前提とも見られ僅か八千圓位の金で設備してもそれだけ活用出來ると云ふ事を一般に認識せしむる一方法とも見られてゐる

日本拓殖

定時總會

利益で償却 重役は重任

日本拓殖株式會社第十二回定時株主總會は二十八日午後二時より臺北鐵道ホテルに於て開催したが出席株主は委任狀共百六十二名、此の株數二萬二千三百二十三株で左記提出議案全部異議なく可決確定した

一、第十一回決算に對し承認を求むる件

一金十四萬四千五百四十五圓五錢也　總益金

一金十三萬六千三百十九圓八十一錢也　總損金

一金八千二百二十五圓二十四錢也　當期利益金

右利益金は土地勘定に組入れたる後同水利組合特別第一組合貸附前期[illegible]

二、取締役及監查役全部任期滿了に付改選の件

右は改選の結果全部重任と決定即ち（常務取締役）小松吉久（取締役）林熊徵、佐藤[illegible]石、松木信太郎、後宮信太郎（監查役）渡辺野吉太郎、[illegible]山、坂本素魯哉、佐々木信綱

前期は米價高にも不拘純利益を擧げ得ざりしは全く桃園大圳斷水被害面區の豫想以上に多かつた爲め小作料減免等が比較的多かつたのによるもので米價が現狀を維持し大圳の斷水が起らぬ限り本期は可成利益を上げ得るであらうと見られてゐる

諸株一齊暴落

【東京二十八日發電通】今朝の東株市場は短期東新二圓六十錢安と寄付き長期大引も郵船一圓四十錢安、鐘紡新六圓十錢安新三圓二十錢安、東株四圓安新二圓二十錢安と暴落したが之は當限の渡株が餘り氣味の所へ海外材料安、聯盟の空氣險惡化、聯盟脫退問題、上海停戰會議の惡化等から商品界も不良化したので投物新出賣殺到した爲めである

自動車の値上げ

シボレーは五百圓高

米國爲替の暴落に伴ひ[illegible]部分品は全く米國に仰ぐ自動車は一齊に値上げさるるに至つた、就中でもシボレーは爲替三十五弗を標準に二弗に付五百圓方上げをした、部分品は三月までに三割五分値上げし四月一日より更に五分上げを行ひ合せて四割高となるが爲替は更に三十二弗方まで下落したので僅か一日か、更に自動車の値上げを行ふことになるかも知れない、シボレーは車體の影響を受けて前の賣上げを激增し又爲替安による先高見越しで全島の販賣者營業者其他の買注文多く大阪の工場で全力を擧げて製造するも尙需要に對し足らぬといふ有樣である例年その年度の車は翌年三月上旬盜かかつて發賣する常とし三月中頃から新車の販賣を始めるのであるが昨年は一九三一年式車が[illegible]の事情から昨年十一月中旬に賣切れとなり一月上旬から三二年式新車の販賣に移つたので實に米國から輸入の新車の見本とされてゐる、然るに本島は内地の[illegible]に比して鈍感な爲め爲替安による値上りに對して現在注文を躊躇し新車より値安なセコハン即ち中古車を買入れる者多くそのためシボレーの中古車は既にストツクが一掃されたやうな次第である、地方の不景氣も一因ではあるが、當代理店としては月賦販賣の集金成績に鑑み一時月賦をやめて原則として現金取引を行ふことにしてゐる、併し營業者へのサービスの萬全を期し部分品の潤澤と修繕工場の完備に依り營業者との關係を密接ならしめ極力販賣成績を擧げるべく努力してゐる次第である（シボレー北部代理店梁田商會主談）

青果輸送權の移轉問題と生產者

高雄州下は必ずしも反對せぬ

【高雄電話】青果聯合會が青果會社から青果の輸送權を掌中に收めたのは昭和三年十一月で以後

三年餘りを 經過した今日において青果輸送權の還元即ち聯合會の手を離れて再び青果會社が輸送に當る事に略内定してゐると傳へられてゐるがこの問題について高雄州下の芭蕉生產者中には青果會社が輸送をやつてゐる時代は輸送賃がかさんでゐたのでこれが節約をはかり且つ

自分の品物 は自分の手で輸送する事が合理的であると云ふ見地からして聯合會の手でやる事になつたのでその後聯合會は輸送賃の引下げをなして[illegible]上に[illegible]利益金の割戻しをなす[illegible]、今において更に會社の手にまかすといふ事は

聯合會長が 監督者たると同時に被監督者とならねばならぬと云ふ矛盾があると云ふ樣なことも理由の一つになつてゐるが、この事は[illegible]ゆけば青果同業組合長にしても同一の事情であるから理由にならぬ樣に思はれるが要するに青果

輸送權の無 い現在の青果會社は營業の同居同樣に口錢取りに過ぎずして存在の意義が殆んどないため一部では解散說さへ唱へられつゝあるのでこの際青果輸送でもやれば會社はそこに

一つの仕事 が出來て世間體もよくなると云ふ樣な政策から此の問題が持上つたものと思はれるがたゞ生產者としては現在までゞある事を希望してゐるが、しかし是非とも會社の手に移さねばならぬと言ふのなら

現在の輸送 賃率以上に引上げぬと云ふ條件附ならば敢て反對は唱へぬと云ふ意向も持たれてゐるものが多い樣である

東西南北

臺北市の水道水源は從來の新店溪以外新たに臺山竹子湖の奥から引水して圓山[illegible]に貯水池を設けて臺北の市民に對して水不足の不安を除き得る事となつた、語を換へれば市民は將來無制限に膨脹せんとする市外に對應することになつたと云へる▲[illegible]水源のことは[illegible]つて圓山の新水源地[illegible]、わけ▲二十七日[illegible]上水道の本源で從來の新店溪[illegible]淡水市尹は過去三ケ年を費し[illegible]成した淡水道の工事に直接關係した人々、即ち市役所の水道課電力、十[illegible]街長、土木部長、技術者、其他七十餘名を招待[illegible]の挨拶に[illegible]、[illegible]宮川次郎君が來賓を代表して今少し先づゆつくりお酒を頂戴してから新らしい話をかな[illegible]くことと云つたのは流石に[illegible]▲[illegible]嫌な顔の高工部に十七年間を勤めて產業組合、市場、米など[illegible]の經濟事務に携はつた[illegible]君も[illegible]の助役に榮轉した▲同君は文字通り手八丁、口八丁で頭もよくなかなかのやり手で君の手にかかつたら出來ぬものはなく、商工課でも非常な人望を背負つて立つてゐたものだ、新興の都市で[illegible]發展をなさねばならぬ高雄市の助役としては恐らく適材[illegible]所たるを失はない、切に自重を祈る▲臺島の文[illegible]府次郎君、本業の用務以外に蝶の採取といふ上品な道樂の爲め蝶に都合の好い[illegible]、阿里山、關子嶺、日月潭、埔里社、角板山等を經めぐり二十七日歸北した▲採取し得た蝶の數百に一千二百餘種類はザツと百種もある、此内に君の林業試驗場附近からクタル社にかけて採取したのが約八百、キシタアゲハと稱する蝶は此のクタル社と紅頭嶼だけに居る[illegible]、又オホゴマダラはクタル社のみに居る珍種である▲臺灣で蝶が多い季節は五月から七八月頃にかけてである、今は少い季節だから[illegible]外ではあまり捕れなかつた▲[illegible]日月潭、埔里社方面に初めの頃[illegible]▲内地、朝鮮、臺灣を通じて採集する蝶の種類の七割までを臺灣に居るといふのだから臺灣こそ蝶の大產地である▲昨年早稻田大學を出て直ちに[illegible]のクタル社に留り蝶の採取に[illegible]してゐる文商君も[illegible]、文商君は採取した蝶を内地に持還り[illegible]長、同好者其他に一部寄贈するさうである。

商況

二十八日

米況

臺米相場

		前日對比
北部一期蓬萊米	八、七五	一〇高
中部一期蓬萊米	八、八五	一三高
北部一期九位米	九、六〇	一二高

正米市場

中部二期九位米　九、七一　二〇高

南部長糯米　七、二〇

公定相場　出來高

	當	中	先	出來高
二期蓬萊	八、八三	八、七九	不申	[illegible]
二期九糯	九、六二	九、八二	一〇、〇八	[illegible]

基隆在庫米（二十八日現在）

一期蓬萊米	二、三五一袋
一、二期蓬萊米	九、四〇九
二期九位米	二、七八二
二期蓬萊白米	三、八五三
二期長糯米	六、五五四
一、二期在來白米	四五八
其の他	七〇二
合計	三八、一〇九

正米市況（後場）

期米保合蓬萊小高し　到着米十五車（二六四噸）

▲二期蓬萊　當 九、〇一　中 九、〇二、〇四、〇五、〇六、〇七　先 不申

▲二期九位　九、五八　九、七八　不申

▲二期蓬萊米　前場强調の氣先後場期米は不變の保合を入れたが引續き賣唱氣に小喰りを見し當限九〇一錢と八丁高に一車中限は九〇二錢と十三丁高に止りあとヂリ高〇七錢と止め十一車先限は引續き見送られて出來不申

▲二期九位米　前場小甘く保合の氣先後場賣氣引續き好調を見せたが期米保合を入れ賣買共に控へられ當限九、五八錢と二丁安に三車出來て止め中限は九、七八錢と一丁安一本に一車先限は見送られて出來不申に後場を終る

臺中米價（二十八日）

蓬萊米二期八圓六〇錢、九位九圓六五錢、在來米七〇錢、二二圓（臺中米穀商）

魚類卸相場表（廿八日）

臺北市中央卸賣市場（百斤相場）

[illegible]

昨日の市況	
株式	弱い
綿絲	奔落
期米	保合
砂糖	弱い

大阪期米

▲後場

節	當	中	先
一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京期米

▲後場　寄　止　高　安　[illegible]

神戶期米

▲後場　寄　止　高　安　[illegible]

常島兩建控除前場

先限まだる手振り

買方　摘要（二、二〇〇）福井街一、七〇〇宮和一、六〇〇野部一、五〇〇妹尾一、〇〇〇小河九〇〇太田八〇〇田中六七〇〇六

堂島新期銘柄清算

前場　[illegible]

堂島兩建控除後合

當限　四七、七〇〇石

堂島雜觀

【大阪二十八日發電通】地場の花形湖實は硬化後相場買玉を仕込み例の海關と交互によく買ひ海商内の折柄とて目に付くが期米市場の一角に買方陣營が云々される其の中心勢力は右海攻、海關の兩人等で更に京都の風間もその仲間と見られ最近此の一派が寒容以上に中限を買募ひ風間は期米寄かに買川してゐるが其の背後にはやはり政商筋が綠を引いてゐると[illegible]の說あり期く買腦を强硬にした所因は政府の米價對策に何か早耳したのではないかと見られてゐる

堂島米況前場

【大阪二十八日發電通】休日前仲惱みの氣先今朝は各地下寄りを入れたが期近小喰りながら先は株式筋綿盤止米筋買ひ京都水野湖玖海關其他強氣筋買ひ二十五圓〇三錢と强硬に寄り其後地場買に同事と支へ地場當和[illegible]先個買り五節九十九錢と割り地場一部に五圓[illegible]みを揉み結局五圓と小相場に引けた

堂島米況後場

【大阪二十八日發電通】後場は各地手堅いが地場株式筋買ひ日立つた四圓九十九錢と小甘く寄付跡海商内に五圓と附け[illegible]まで動かず結局五圓〇一錢と海商内裡に[illegible]した

大阪株況

一錢と[illegible]

大阪短期

▲前場　寄　引　[illegible]

▲後場　[illegible]

大阪長期

▲前場　寄　引　[illegible]

▲後場　[illegible]

東京短期

▲前場　寄　引　[illegible]

東京長期

▲前場　寄　引　[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

東京國債

▲前場　寄　引

甲號五分利　八七、七〇　八七、八〇

第三五分利　八六、七〇　[illegible]

第一四分利　七四、一〇　七四、一〇

第二四分利　七四、一〇　[illegible]

二十二年物　八八、七〇　[illegible]

二十八年物　八七、五〇　[illegible]

佛貨公債　[illegible]

同賣出米高　[illegible]

東京株況前場

【東京二十八日發電通】宗教總會を明日に控へて環境の不良から商勢愈々惡化し綿業界の破綻と米國財界の悲觀からスチール株の四十弗落されたのが[illegible]それに[illegible]因際聯盟脫退[illegible]の頻れ投げとなり主要株を中心に諸株一齊安を示し新舊株は約奔落と共に鐘紡一期に六圓二十錢方暴落し新東、日清紡各二、三圓方商船一、砂糖株では日糖、明糖、新高各七、八十錢方安く、雜株は富士電力、郵船一圓四十錢安、東新、東京二圓二十錢安となり東株は買方惡思と共に新株に四圓方、新二圓二十錢方暴落んだ

東京株況後場

【東京二十八日發電通】月末の接近に商勢逆轉し人氣を落しく不良に引摺り明日の納會惡觀の援氣が相當あつたが賣方の利喰買に立會前一息となり新鏡株は先安を惡觀され一段の安値を示し居る爲め後半又買人氣の發動となり結局鐘紡は前場に暴落の甚だしかつただけ

神戶市中相場

[illegible]

銀塊

[illegible]

大連銀票

[illegible]

米日爲替

[illegible]

米英クロス

[illegible]

神戶日米爲替

[illegible]

絲況

大阪綿絲

▲前場　寄　引

	寄	引
四月限	一三四、四〇	一三四、一〇
九月限	一四一、〇〇	一四一、〇〇

▲後場

	寄	引
四月限	一三四、〇〇	一三四、〇〇
九月限	一四〇、〇〇	一四〇、八〇

大阪棉花

	寄	引
▲前場　四月限	三〇、八〇	三〇、七〇
▲後場　四月限	三〇、四五	三〇、三五

横濱生絲

	寄	引
▲前場　八月限	六三五、〇〇	六二四、〇〇
▲後場　八月限	六二三、〇〇	六二六、〇〇

糖況

砂糖株は日糖、明糖三十錢方引返し新三十錢安と低迷し日糖、鹽水セメント、ボシヤリ王子新六十錢安、東株四圓二十錢安、新六十錢安と引け

大阪現物

[illegible]

大阪定期

▲前場　[illegible]

▲後場　[illegible]

穀肥

シカゴ小麥

三月限　五二仙四分三

五月限　五四仙八分五

七月限　五六仙八分

出來高　一千四百ブツセル

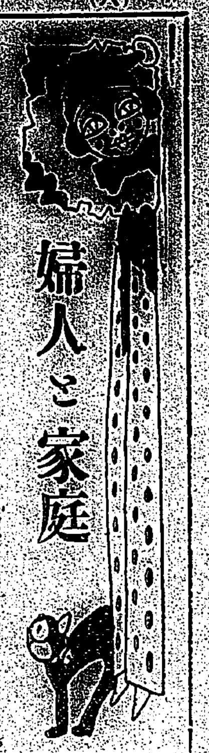
神戶豆粕

▲前場　四限　[illegible]

▲後場　四限　[illegible]

大連特產

[illegible]



婦人と家庭

性問題に對する母親の態度

◇非常な熱意をこめた──母性中心教育大會

教育相談所主催、東京府市後援の母性中心教育大會が此程開催され左記問題に就て二日間に亙り熱心に協議する所あつた

一、子女の個性及職業指導に就いて
二、學校選擇に對する母の態度
三、子女のスポーツに對する母の態度
四、性問題に對する母の態度
五、思想問題について
六、結婚前にかける子女を母は如何に指導すべきか
七、母の金の指導精神に就いて
八、玩具及讀物の選擇について

右の中第一日にかいて最も問題となつたのは性問題に對する母の態度で女子の生理的變化について母は如何にすべきか、女學校等について如何に設備すべきか等の點が眞劍に論議されたが、尙男子の性問題に對しても質問續出の盛況であつた、第二日は最初は次のやうた決議文が滿場で議決された。

一、生理衛生の教材取扱上性に關する知識養成に留意する事を小中學校に切望す
一、月經時にかける應急手當として『衛生ナプキン』を各小女學校に設備する事を望む

尙子女の思想問題については種々の意見が出て結婚問題についても母の立場からいろ〳〵論議され結局として『正しい結婚をさせませう』といふのが決議されたが他の教育會などにみられぬ氣分は何れも實際經驗に基いたものを議論し合つた點で、それだけ熱がこもつたものである

家庭教育に就て

─世の父兄に愬へる─

綿奈部生

『お父さん、お父さんと受持ちの先生とはどちらが偉いの』近衛公の御令息が就學の初めに父公に訊かれた言葉で『教師の方は無論 先生の方が偉い』と公は簡單に答へられたさうです

『一郎がかつた小學校時代からの雜記帳が今も長持ちに一ぱい殘つてゐる』と、現文部大臣鳩山一郎閣下の母堂春子先生は語られた『今でも其の長持ちをあけて雜記帳を見ると、昔の子供時代にかへつたやうな懐かしさを感ずると共に母が私共の教育のためにやせるほど心勞してくれたその頃の事を思ひ出して涙ぐましい心持ちになる』鳩山大臣閣下は述懐された

× ×

この二つの例は家庭教育の要諦として與へられてゐます。學年始めに際して、學童をお持ちになる父兄の方へ、母親の方へ、春子先生の心、近衛公の心、その心を心として教育の半分なる家庭教育をお願ひしたいと思ふのであります

教師を絶對信頼

させること、學校と家庭、教師と兒童、この兩者の關係が相互にどんな態度で接觸すれば可いか、それは人々の見解に幾分の相違のある事と思ひますが、教師と兒童とが親子の樣を以て接觸することの必要は何人も首肯する所であらうと思ひます。然るに從來の習慣上家庭では常に兒童に對して『いたづらをすると先生に告げるぞ』と教師を兎角威嚇的方便に利用して居る事が多い樣に思はれます、その效果は幼年兒に對する類る利目がある、利目があればあるほど教育の眞の目的とは離れて行くのであります、學校と家庭は親戚關係、教師と兒童とは親子の關係、といふ事をよく御諒解下さるれば『そんなに言ふ事を聞かぬと先生に言ひ付けるぞ』との母親の脅しは何時の間にか消えてしまふことと思ひます、最初にも教師を恐いものと思はせる樣な事があつては、親子の樣な溫かい氣持にはなりません

× ×

子供に對しては常に學校は日本一の良い學校、校長先生は日本一の偉い校長先生、受持の先生は日本一の良教師であると信じさせて頂きたいと思ひます、そこに[illegible]一教育が行はれるのであります、修養の足りない教師、不行屆きの多い學校、などと御氣付の場合もあると思ひますが、そんな時には子供の留守の時々見て、然も內證にしておいて、學校に向つては直接に打ち解けてお願らしを願ひたいのです、そこに教育的に親密の關係、親子關係を認める事が出來るのであります、近衛公の心もここにあるのではないかと僞じます

學用品を大切に

取扱ふ兒童はきつと學科の成績もよい、學用品を大切にする習慣を養ふには入學の始めから學年の始めから、學習帳を丁寧に取扱はしめるが一番よい方法であると思つてゐます、學習帳は永久に保存すべきものであるといふ事を第一に頭において頂き度いと思ひます

記帳はいつでも丁寧にきれいに正しくといふ三條を御注意下さるやうに……永久に保存し、丁寧にきれいに正しく書くには學習帳を選ばなくてはなりません、そのためには學校で選定したものを使用せしむることはもとよりでありますが、自由を許されたものは、紙質の良い丈夫な、紙の色の白く氣持のよいもの、表紙なども分厚なもので綴方のしつかりしたものがよいと思ひます

× ×

何しろ毎日使ふものですから良い品物を選ぶことが大切です、學習帳は一日一日伸びて行く、自分の心の記錄です、夢にも粗末に取扱はないやうにと常に御注意を拂はれて他の學用品の檢査は一週一回位なされ、學習帳は毎日母親の一日の行事として、どんな時でも御忘れない樣に願はれますと大變結構に存じます、母親が毎日學習帳を見て下さる習慣と、子供が學用品を大切に取扱ふ習慣とは平行して進むものです、學科の指導はさらなくても學習帳の檢査だけはきつとやつて頂きたいと思ひます、それで子供の成績がよくなるからこれほど無駄なことはありません、三錢か四錢の學習帳を使用して、全部書き終へない中に破れて紙は破れてしまふ、それを平氣で使つてゐる樣な子供も時々見受けます

× ×

教科書を汚したり、破つたりして平氣でゐるやうな子供は大抵からした子供に多いやうです、そんな子供の成績はいつも悪いやうです

書き終つた學習帳は、それを永久に保存したいものです、綴方や書方、圖畫や、その他の成績品も、全部を保存する樣に心掛けて頂かれたらきつと良い結果を生むものと僞じてゐます、鳩山春子先生の心もここにあるのではないかと僞じます、この新學年始めは、新入兒童は狹い家庭の生活から、學校の生活に移る際で、嬉しいやうな悲しいやうな、心配な氣分が錯綜して胸に滿へ頭に謐まつて居るのであります

× ×

すでに入學した子供も、學年がかはる、教室がかはる、受持教師がかはる、校長先生がかはる、といつた轉換で何も彼もかはる、といつたやうな時で、かかる心理狀態は最も暗示にかかり易い狀態であります、學童を持つ親達の最も慎重の注意を拂はねばならぬ時であります

建康に好い

糠料理三種

糠は自然の榮養素

白米を常食とする日本人に白米病があると云ふ事は誰でも知つてゐますが金剛を閉されてゐることには氣づかないでゐます、ただ病氣の時だけ白米より玄米や胚芽米がいいと思つてゐる人が多いやうですが、米糠は脚氣のみの藥でなく、慢性胃腸病、神經衰弱、痔一切、腦溢血、動脈硬化症、婦人病、其他何病にも效果があるのです

○

今日までこの貴い自然の榮養素が打ち捨てられてゐたために日本人の平均壽命は四十二歳と云ふ短命の國民になつてしまつたのですデンマーク人の五十八歳に比し日本人のこの短命なる原因は明かに白米中毒と申されませう。それで玄米や七分搗米を食べるのも糠を多くとるために必要ですが、糠をお料理の中へ入れておいしく召上るのもよろしいのです、殊に御病氣の人にはおすすめいたします

糠味噌汁

普通の汁より幾分味噌をうすめにとき一人分茶匙二杯位の割で鍋をおろす少し前に糠を入れて掻き交ぜます、又糠を入れないでスープで味噌を解いても大變美味しいスープは糠二合を袋に入れ水四合入る土鍋にかけてよく煎じてつくる

糠のあへもの

白魚の乾したのへザツト湯を通し深碧を細かくきざみ大根下しを少々糠は泡箱で一寸いり前の三品と一緒にかき交せて酢醤油をかけて食す

揚げ物

小麥粉と糠とを半々にして揚げ物の衣に致します。魚類肉類野菜何でも美味です、その他適當に味を用ゐて調査して下さい

化粧祕帖

モダンな化粧

一、白粉をつけ下さるのは野暮です。しかしルージユ、リツプスティツク・マスカラは顏の缺點を繕ふものですから多量におつけになつてもかまひません

二、晝間のお化粧は必ず太陽の光線の中で、夜のお化粧は必ず電燈の下でなさい。それがお化粧の本道です

三、決して眞白のお化粧をしてはなりません。精彩なく顏が死んで見えます。

四、首筋には忘れても極端なお化粧をなさるものではありません

出來るだけあなたの自然さを其ままに現はすやうなお化粧法を

五、化粧後特にまゆ、くちびる、目、またはに殘る白粉に注意

六、化粧にうき身をやつすのも困りますが忘つてもなりません

化粧せよ、化粧は禮儀なりと云ひます

今が最も寐化粧の大切な時

春とは云へ肌寒い近頃ではまだ肌が荒れ易いのでお化粧もうまく行きませんが、こんな時にはどうしても寢る前のお化粧が最も大切です。降りに白粉を濃ゆく使ふことは禁物です。又前に必要な休養を與へることを忘れては眞の上手なお化粧は困難でありませう。寢る時位に皮膚に休養を與へて下さい

休養を與へるばかりでなく適當な榮養劑であるコールドクリームを塗擦してその上に薄化粧をしておく事が最もよいのです

身の上相談

相談相手もなく煩悶に係る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛で御申出下さい電話や面會はお斷りします

夫に愛なく私や子供を虐待する

私は二十三歳の人妻で御座います女學校を出て母の言ふまま今の夫と結婚いたし既に二人の男の子の母となつてをります、夫は大人しい文學好きの人で外出もまじめの樣ですが同時に神經質で短氣で此の頃は何か申すと直ぐ打つたり蹴つたり亂暴し一言目には出て行けを連發いたします

最近は夜遊びを始めますし又罪もない子供をひどくなぐります、いい日に逢はすので私は見てゐられません、離婚したいとも考へますが二人の子供の母となつてゐてはどうする事もできませんし子供に對する愛もなく私は泣くにも泣かれません、私は何にいたすべきでせうか（二十三歳の母）

夫婦愛の危險期に入つた爲めか

隨分ひどい夫でありおとうさんだと思ひます。然し夫いあなたのお手紙を見てゐると自然に夫をかくまでイラ〳〵させるのはあなたにも氣の付かぬ手ぬかりがあるのではないかと考へます

新婚期が終んで子供が一人二人生れた頃に夫婦愛はとかく危險期に入るものです、殊に子供だけ盲目的に可愛がつて從來の夫を忘れる若い妻がよくあり之が夫婦愛の危險を招く事が屢々あります、あなたの場合もさうといふのではありませんか、夫に子供愛がないのも母親だけの子供の樣にあなたのみが無暗に可愛がる結果ではないのですか、夫は子供以上でなくてはなりません。あなたも之からな[illegible]い（係）

戰時物を現はす勇ましい武者人形

[illegible]

寫眞（上）爆彈三勇士（下）戰捷金時

ＪＦＡＫ　三月二十九日

▲午前六時三十分　朝の挨拶△ラヂオ體操△今日のお天氣のお知らせ臺北測候所發表
▲午前八時　全國氣象通報（東京）
▲午前九時三十分　家庭百科問答△夏冬の木式の衣服及閲物のことなぞ其他二、三△そら豆を軟く煮る方法
▲午前十時　今日の家庭料理獻立△ジャーマン・ステーキ△牛肉のかしわ揚
▲午前十一時　日用品小賣値段臺北市公設西門市場發表
▲午前十一時五十九分　正午の時報氣象通報臺北測候所發表
▲午後零時十分　放送局關係ニユース
▲午後零時一五分　慰問娛樂時間（レコード演奏）ジャズ（一）リユーセルスの調べ（二）はかなき人生ヒルトン管絃樂團（三）キユーバの戀歌（四）戀歌でもの言ひ給へホワイトマン管絃樂團（五）羅甸しものの娘（六）陽氣よく朗はらかやないか（七）黒坊の生れたわけはライスマン管絃樂團（八）月の影に隱れてヴアンステーゲン管絃樂團
▲午後五時　子供の時間（東京）童話劇「木走」ＪＯＡＫ唱歌隊
▲午後五時三十分　民族講座（熊本）
▲午後六時　子供の時間（臺北）童話「雨蛙子（アメヤンモリ）」大野[illegible]
▲午後六時三十分　國語講座ニユース（一）赤ん坊　育兒科學研究會編（二）若きママさんに　岸[illegible]　臺灣總督府圖書館長山中樵
▲午後七時　漫談（東京）「木走非」口演　西村樂天
▲午後七時三十分　新內（東京）「安宅勸進帳」（問答の段）淨瑠璃[illegible]三味線富士松加賀吉、淨瑠璃富士松宮古、上調子富士松和左之助
▲午後八時　室內樂（東京）（一）四重奏「鳥」（ハイドン作曲）第一樂章アレグロ・モデラート、第二樂章スケルツオ、第三樂章アダヂオ、第四樂章ロンド、鈴木クワルテット第一ヴアイオリン鈴木鎭一、第二ヴアイオリン鈴木喜久雄、ヴイオラ鈴木章、チエロ鈴木二三雄（二）アンダンテ・コン・モート（シューベルト作曲）
▲午後八時三十一分　奉天より奉天放送局
▲午後八時四十分　長唄（臺北）（一）老にしの松（二）吉出し三番叟　唄久保[illegible]、[illegible]吉川松枝、三味線福田幸一、同井岸政路
▲午後九時二十分　時報、氣象通報臺北測候所發表、翌日ニユース、前週[illegible]ニユース、公示事項、明日のプログラム發表

最近著の新刊

[illegible]

だまされるな
新藥や新發見の療法

淋病と小便檢査

淋病患者は種々の療法に迷はされてはならぬ。一番注意すべきは小便の檢査である。素人で淋病を知るには、小便をコップに採つて見ると糸屑様のものやゴミの様なものが浮いたり沈んだりしてゐる。それが淋菌なのである。どんな大家や博士に掛つて藥を服んだり注射をしてもコップで小便の檢査をして糸屑様の物が直ちに無くなる樣では無効である。有田ドラッグの淋病藥を服用すれば直ちに痛みが去り、膿が止り、コップに小便を採つて見ると服藥翌日より淋菌が目に見えて減じ、的確なる效能が顯はれ全快するのである。

淋病と體毒の併發症

「かさ氣と白濁氣のない者はない」と云ふ諺がある。大概の人には「かさ氣」「白濁氣」のない者はない。殊に若い人には黴毒が多い。黴毒の多い者が淋病に罹ると淋病菌は尿道內を浸ひ荒し、その毒菌が集合して膿となつて出るのである。手當の結果、一部の淋菌は取れても、一部は奧の深部に潜むことになり、一時治つた樣でも時候の變り目や酒色等の機會で再發する。之は黴毒の併發症ではない、淋病の藥のみで手當をしてゐるから、いつまで經つても治らないことになる。

居るから、いつまで經つても治らない

體毒の併發を知らずに淋病のみの手當をして

商會の淋病藥は體毒が配合してあるから、淋病が全快すると同時に、諸毒を除き、完全に治癒せしめるのである。急性の淋病なれば一週間で淋菌は無くなるが、慢性淋病、體毒の合併症になると連服せねばならぬ。今の患者には十中の八九まで黴毒の合併症が多いのである。その併發症に對し淋病だけの手當をして居れば、治らないのが當然である。商會の藥は一藥で淋病も治れば黴毒も去る。服用後の經過は一層順當である。

有田音松鑑製
りん病
ばいい毒
請合藥
りん病藥（八日分）八円　四円
ばいい毒藥（八日分）四円　三円
百圓進呈
英米獨佛醫科大學病院にて試驗證明せられ內務省衛生試驗所が檢查して認可せる保證藥を配劑して、有田ドラッグの請合藥は淋病內服藥と帝國大學醫科大學病院に於て有効と斷定せる事を保證す。若し前述の證言に違へることを發見せる場合は分析料として百円進呈す。

完全　梅毒驅毒療法

ヨコネカンソは切らずに治る

服藥直に効果ある點は、ヨコネ、カンソに治し、ヨコネを切らずに排膿を醫療する强烈なる驅黴劑で、しかも何等副作用を起さず、血液や淋巴に流れ行き諸病を大小便と共に體外へ徹底的に排泄し完全に驅除浄化して治癒の目的を達するのである。

有田ドラッグの梅毒藥の主劑は最良最上の高價原藥として定評があり、その的中的効力は永年の臨床實驗の結果醫藥界で徹底的に賞揚して推奨してゐる驅黴の根本的治療劑なのである。故に二期三期の症狀も本劑の强烈なる驅黴劑によつて全身の血液中の黴菌（スピロヘーク）を徹底的に殺菌し、完全に驅除淨化して全快さするに至るのである。

打捨て置かば一身を亡すのみならず病毒は子孫に遺傳し一家を破滅するに至る。一日も早く本劑を服藥し、全快の喜を得られよ。

まぎらはしき　ニセ藥　を賣る者あり

發賣元　大阪心齋橋南詰　東京日本橋通三

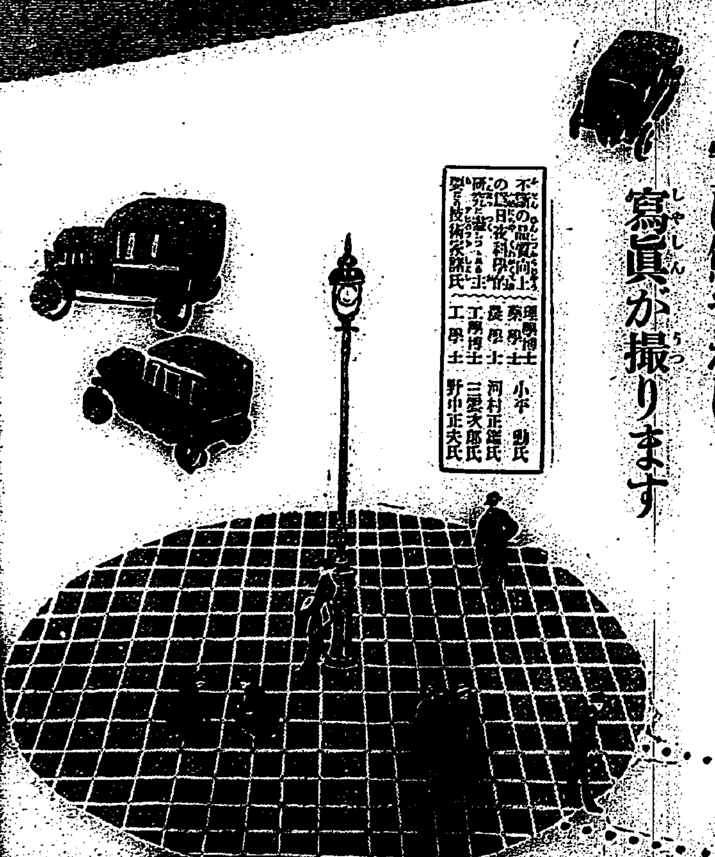
藥箱並に藥瓶に
本舗　大阪內本町二
發賣元　大阪心齋橋南詰　東京日本橋通三
「有田ドラッグ」
「有田音松鑑製」
この文字無きものはニセ物なり

有田ドラッグ

～～他の藥店に販賣を許さず～～
有田ドラッグ專賣所
にて有田音松鑑製を御買取あれ

台北市本町二丁目　有田ドラッグ專賣所
台北新起町三　台中榮町四
北大平町三　嘉義驛前
基隆哨船頭　台南錦町一
宜蘭街南門　高雄山下町
新竹東門[illegible]

全島專賣所



最後まで純良

溶解適度にして溶け崩れぬ

◎ミツワ石鹸は　最後まで同じ調子に使ひ切れ　三倍保て　經濟第一です

顏面と　肌膚と　毛髮の

◎ミツワ石鹸

素地と化粧の美

泡沫が微細やかで　作用が緩和く　後に石鹸分を殘さず手觸りしつとりと柔軟な肌膚に整へますから

純無鉛　サーワ白粉

を用つて化粧しますと　不思議な程に冴えて　美しい化粧が出來て

實に鮮やかに　寫眞が撮ります

不斷の品質向上の爲に化粧料の研究に當る專屬技術者
理學博士　小平[illegible]氏
藥學士　[illegible]
工學博士　河村正[illegible]氏
農學士　三宅次郎氏
工學士　野中正夫氏

本舗　東京　◎　丸見屋商店

血盟團十三名を殺人罪で起訴收容
團員の身許とその役割

【東京二十八日發電通】去る三月五日血盟團事件以來檢事局は、絶ゆまず努力を拂つて關係者の檢擧を行つたが二十二名の關係者中血盟團加盟者及び暗殺の幇助者等左記十三名を何れも殺人罪をもつて起訴することとなり、東京地方裁判所檢事局樋口檢事は二十八日午前十一時起訴手續を了し中里豫審判事の令狀で正午市ヶ谷刑務所に收容された、起訴された十三名の身許及役割は左の如くである

井上日召（四八）群馬縣利根郡川場村

田倉利之（二五）暗殺團京都組首領、福井縣生れ京大學生、若槻禮次郎男暗殺擔當

菱沼五郎（二二）團琢磨男暗殺[illegible]、茨城縣生れ

黑澤大二（二三）茨城縣生れ、[illegible]暗殺擔當

田中邦雄（二四）鳥取縣生れ、東大法科學生、犬養首相、床次鐵相暗殺擔當

星子毅（二五）熊本縣生れ、京大法科學生劍道二段、住友財閥暗殺擔當

森憲二（二九）兵庫縣生れ、京大法科學生、三土鐵相暗殺擔當

伊藤　博（二五）茨城、小沼等を庇護した、井上光人三男、血盟團の盟士

古内榮司（三三）栃木縣生れ茨城師範學校卒業、池田成彬暗殺擔當

池袋正釟郎（二八）宮崎縣生れ、東大文科學生、西園寺公暗殺擔當

四元義隆（二五）鹿兒島生れ、東大政治科學生、牧野内府暗殺擔當

須田太郎（二四）福島縣生れ、國學院學生、德川家達公暗殺擔當

久木田祐弘（二三）鹿兒島縣生れ東大文科學生、幣原前外相暗殺擔當

殺人は團員全體の意思の實現
共同正犯とした理由

【東京二十八日發電通】井上日召以下血盟團員十三名は全部殺人共同正犯として起訴されたがこの種團體的犯罪に於てその個人々々に就て共同正犯を構成するか教唆罪又は幇助罪となすかはデリケートな問題で之が裁斷は法律上從來も六ケしい問題の一とされてゐる、即ち殺人を實行したものの殺意を知つて之を助けたものは共同正犯とはならぬが檢事局がこの一味を共同正犯としたのは小沼、菱沼に依つてなされた殺人行爲を團員全體の意思の實現と見たもので此の點公判廷で如何に取扱はれるか注目されてゐる

強い結合に驚く政治家は反省せよ
樋口檢事の談

【東京二十八日發電通】血盟團員を取調べた樋口檢事は語る

本事件に就ては三百餘名の延人員を動員した譯であるが全く精神と精神の結合に依つて結合してゐたものでその結合の強固なるのには全く驚いた、井上日召は學識もあり豪放な性質で取調べに對し自分一身に罪を負ひ部下の責任を輕くしやうとしてゐた調べに依つて得た所は政治家の行動が如何に彼等に對し刺戟を與へてゐたかと言ふことである政治家たるものは之に鑑み深く反省しその行動は公正明大でなければならぬと痛感する

宮城檢事正談

【東京二十八日發電通】宮城檢事正談

我國の政治犯罪史上未曾有の大暗殺事件を處理し一安心した、昭和維新したのより一味の自供が存外早くすらすらといつたので取調も早く濟んだ譯だ、全部を殺人正犯罪と見たからで今回の一味の外にもまだかかりした關聯があるかも知れぬ、今後は特に白色テロの撲滅に全力を注ぐ方針である、起訴した十三名以外の事件關係者の犯人隱匿や銃砲火藥取締違反等は問題にせぬつもりである

松本刑事部長談

【東京二十八日發電通】松本刑事部長談

今回の事件は認れざる者から來たもので彼等青年は取調べに對しても恰も各自が國士の如き態度を執り斯かる事件を惹起したものであるが彼等がその結果に就て何も考へなかつたのは誠に遺憾である、青年は兎角純な思想に陷り易いものだから自分は青年指導者が一番注意せねばならん事を望む

川崎某を警視廳に召喚

【東京二十八日發電通】暗殺團員の一人としてロンドン會議[illegible]した川崎某は目下同人は今回の暗殺事件には直接關係はないが血盟團の一人として[illegible]以上一應之を[illegible]二十八日午後三時十一分[illegible]警視廳に召喚取調ぶる所あつた

兵隊遊び

劍劇ゴッコが下火になつたかと思ふ間もなく満洲、上海事變が勃發して、全國に軍國熱が漲し、アルミ鍋を鐵兜がはりに冠り、紙製の背嚢、竹製のサーベルに身を固めて、兵隊遊びが大はやり、敵陣に斬り込んで戰死した林少將や肉彈三勇士を名乘る可憐な子供が仲間うちで威張つてゐます

李の反日義勇軍農安襲擊の體形
我警官隊も急行

【新京二十八日發電通】長春北方[illegible]我が農安領事分館も危險に陷りしため新京警察より朴木警官隊二十三名が二十八日午前九時急行した

【新京二十八日發聯合】農安の形勢急の爲め午前八時警官隊〇〇名裝甲車、トラック等にて同地へ急行した

匪賊の主力に對し我飛行機が爆擊
蜘蛛の子を散らす如く潰走
農安から匪賊南下

【新京二十八日發電通】農安に集結した李海青の反日救國軍の匪賊は四千に達し本日農安を襲ふべく包圍態形を整へつつあり農安警備の吉林軍二千名は[illegible]。

【新京二十八日發電通】農安方面に集結した匪賊は二十八日[illegible]一時東支鐵道南部線破壞の[illegible]南下前進を開始したが、新京より出動した我飛行隊は午前十一時農安北方一里の地點を悠々南下中の匪賊の主力百五十名に對し爆擊を加へたため匪賊の主力は蜘蛛の子を散らす如く潰走した、尚午後二時新京に到着する新義州駐屯の飛行隊の來着を待つて我飛行隊は更に徹底的爆擊を爲す筈

一兩日中に猛攻擊
空陸呼應して

【奉天二十八日發電通】同附近の反吉林軍討伐のため天野〇〇隊は二十七日午前七時烏吉密河發北進し、長谷部〇〇隊も同時に雙城堡を前進しハルビンの我飛行隊も本日出發した、一兩日中に空陸相呼應して總攻擊を開始の筈

我が飛行機一臺不時著して大破
吉林から救援列車

【新京二十八日發電通】農安の匪賊討伐のため今朝敦化より出動した我飛行機一機は濃霧のため吉敦線拉法で午前九時不時著、機體を大破し搭乘者二名は負傷人事不省となつた、急報に依り吉林より救援列車急行した

農安の吉林軍敵を攻擊

【奉天二十八日發電通】扶餘より農安に向け遁竄中の李海青の反日救國軍四千は我飛行隊の猛烈な爆擊に遭ひ南進し得ず農安の吉林軍は之に勢を得て午後より敵を[illegible]

飛行機も出動

【新京二十八日發聯合】午前九時我飛行機〇機は農安を衝き當地發進[illegible]偵察中である

農安城は完全に確保
吉林軍の手で

【新京二十八日發電通】現在迄の[illegible]の報告に依れば農安城は本日午前十一時吉林軍の手に依り完全に確保され、我が匪賊討伐の歩兵部隊は農安南方に到着し、我警官隊は農安街を農安に向け前進中で一方農安を中心とした支那部落には多數の匪賊集結し、形勢險惡を加へつつあるものの如し

警備薄に乘じ新京を衝かん
事態重大化の兆

【新京二十八日發聯合】農安に迫れる匪賊團は農安が落れば兩部新京の警備薄に乘じ一擧に新京を衝かんとし事態重大化の兆あり

船火事「一の加久丸」を米艦が救助
マニラ本社通信員　磯海生
（上）

去る二月十七日ペンガル灣にて六千トンを突破して印度カルカッタ港を出帆し香港に向つた北海道小樽の増田合資會社所屬貨物船加久丸（七、二〇〇トン、當時山下汽船に傭船中）は出帆後二十日目の三月九日比律賓群島ミンドロ島西南百五十浬の海上に差掛かつた際第二番船艙中の積荷が突然自然發火を起し、船長谷田氏以下四十一名の必死の消火作業も其效なく、十日午前一時に[illegible]猛烈となり、[illegible]突々たる黑煙は一番船艙にも延燒し船橋に船體を包み、甲板より五十尺のマストの三分の二を燒き無慙にも船體を燒くに至つた。

萬一を顧慮されたので谷田船長はキャヴィテ軍港の米國海軍に對して救助方を依頼するべくマニラＲＣＡ局に[illegible]

至つたものである。右の依頼に接したフエンナー司令官は直ちに快諾を與へ、在泊中の驅逐艦トレーシー號及びマックリッシュ號、海軍救助船ピション號に航空母艦アヴオセット號を急遽出動させ、又オロンガポ軍港からマニラに航行中の航空母艦ジエスソン號及び海軍汽艇ジニクシー號も同加久丸の無線を受するや針路を轉じて遭難海上に急行した、是等の米國軍艦は午後十時に到着した、前記トレーシー號を先頭に續々現場に到着し今や船舶の前半を燒く[illegible]

無殘な

[illegible]

間島各地に共產黨蜂起
盛んに暴動を續く

【局子街二十八日發電通】昨夜間島各地に共產黨一齊に蜂起し目下鎭壓中である

共產黨員が殺到
開山屯の形勢不穩

【京城二十八日發電通】昨日午後一時頃咸鏡北道上三峯對岸和龍縣開山屯に在る三開汽船會社前に共產黨員約百五十名殺到し、食糧の分配を強要し、開山屯市内各戶に食糧飲食を齎し、形勢不穩である

高橋守雄氏に召喚狀
選擧違反で

【神戶二十八日發本社特電】兵庫縣から出て立候補した元熊本縣知事高橋守雄氏は選擧違反にて二十八日和田檢事正の命を受けた姬路檢事局支部の長能上席檢事によつて東京の高橋氏宅に召喚狀が發せられた。高橋派の違反者は百餘名の多數に達してゐると

北二中入學者氏名發表さる

臺北第二中學校の入學者氏名は左の通り二十八日發表された

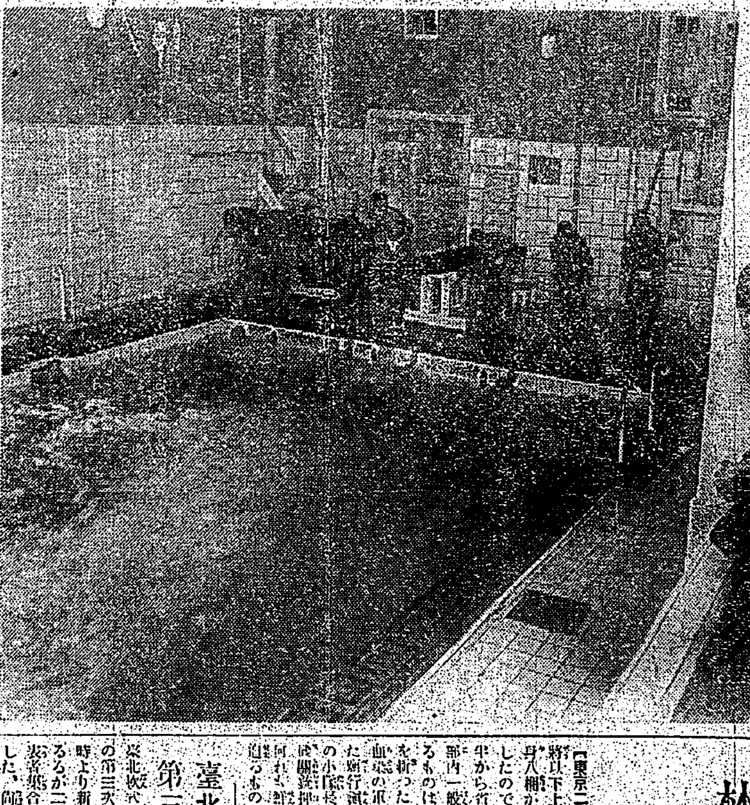
（臺北一師附屬小）蔡東盛、[illegible]

軍艦能登呂母港に凱旋
三月ぶりに佐世保へ

【佐世保二十八日發電通】[illegible]

鞍山製鐵所破壞のため學良の便衣隊潛入
我巡查賊二名を射殺

[illegible]



猛烈な水泳練習始まる

日本水上競技聯盟では第十回國際オリンピック水上競技準備の爲めいよいよ二十八日午前十時より向ふ二日間神田のＹ・Ｍ・Ｃ・Ａ室内プールで本格的に猛烈なる第一回合宿練習が開始された（寫眞はスタートの練習）

林少將以下の血染の形身
百餘點陸軍省に到著

【東京二十八日發本社特電】林少將以下上海方面派遣部隊勇士の形身八個が二十八日朝陸軍省に到著したので陸軍省では同日午後零時半から省内第一會議室に陳列して部内一般の觀覽に供したが、主なるものは林少將の軍刀、[illegible]の軍刀、血染の軍服、破壞三勇士が[illegible]の破片、三勇士部隊の小隊長[illegible]、支那軍の[illegible]百餘點で何れも鮮血に染まぬものなく見る者の[illegible]ものがある

南木熱米出張所長、佐藤永久保農務課長の祝辭、受賞者總代黃鏡堂氏の答辭があつて盛會裡に閉式した、閉會後は州農會は[illegible]多數の招待者があつた

岡出所長は
四月八日神戶出發

所報[illegible]試驗所[illegible]も既に辭令を見また所長の任命も豫定の如く行はれたので岡出所長は四月五日神戶出帆の[illegible]にて赴任の途につく事となつたが、[illegible]八日で氏は二人の家族を同伴して來るが夫人の來臺は後日となる模樣である、尚同試驗所[illegible]については岡出氏が二月に來臺した折試驗所豫定地其他につき諸般のお膳立をなしたもその後の[illegible]に於ても[illegible]

臺北軟式野球第三次戰

臺北軟式野球協會主催第二回大會の第三次戰は來る四月三日午前九時より新公園運動場に於て開催さるるが二十八日本社に於て各團代表者集合抽籤の結果左の如く決定した、尚其後の試合豫定期日は四月九日午後一時より準決勝戰、四月十日午後一時より決勝戰を行ふ豫定であると

九時より　警計―建國

十一時より　州―[illegible]

一時より　西市―殖產

三時より　鐵南―五月

平鎭庄に優勝旗を授與

【新竹電話】新竹州中壢郡街庄業組合聯合會主催第二回水稻競作會に[illegible]

信徒千餘の手で釣鐘を搬入
基隆市内を練り歩く

【基隆電話】既報基隆[illegible]から市内[illegible]寺に寄附した釣鐘の搬入式が二十七日擧行された、當朝午前八時に色とりどりの衣裝に花笠美しく飾り信徒約四百名が新店地に集合、鐘を前に僧侶の讀經があり終つてゆるゆると引綱にすがる男女數百名にひかれ[illegible]信徒千餘の長蛇の列が市中をねり歩き、公會堂前に[illegible]

踊り拔

[illegible]

張日圓、黃秀山、余鴻寅、[illegible]

中瀨知事歡迎會
顏氏庭園で

【基隆電話】基隆市有志發起で二十八日中瀨知事巡視を機會に同日正午顏氏庭園で知事歡迎會が開催された、出席者百五十餘名、吉富市尹の歡迎の辭に對し知事謝辭を述べて基隆市に對する所感を披瀝し和[illegible]同小異を捨てて大同につけと[illegible]閉宴、林要塞司令官によつて知事に[illegible]一同乾杯し知事亦之に報い歡談半時間で解散したが當日は小川直馬氏起つて市尹の人選を[illegible]市尹が更迭する事により市民の不幸を憂へて知事の考慮を促したのは時節柄會衆の耳目を惹いた

オリムピック馬術選手
監督遊佐大佐

【東京二十八日發電通】本年七月のオリムピック馬術競技參加選手並に監督左の如し

陸軍側

監督　遊佐騎兵大佐

選手　城戶騎兵少佐、今村同少佐、吉田大尉、奈良大尉、西中尉

民間側　山本盛重

花蓮港の警察招魂祭
四月一日擧行

【花蓮港電話】花蓮港廳では來る四月一日午前九時から花岡山招魂社前において警察招魂祭を擧行する

花蓮港廳下の新教員配置
九名に增加さる

花蓮港廳下の小公學校明年度配置の師範出身者は昨年四名の[illegible]であつたが[illegible]九名の[illegible]

原新高等課長前任地で病む

原新竹州高等課長は發令と同時に[illegible]

戰病死者の追悼會
來月二日西本願寺本堂で

[illegible]

參謀總長宮殿下御全快

【東京二十八日發電通】御病氣中の閑院參謀總長宮殿下には益々御全快、二十八日朝御床を離れ遊ばされた

九十四名に共學許可
臺北市で銓衡

[illegible]二名、合計百七十三名に達し出願者は去る八日桃山小學校において[illegible]第一學年[illegible]名、第二學年十七名、計九十四名に對し共學資格あるものと認定、二十七日夫通知を發した

全島兵事主任會議

全島兵事主任會議は二十八日九時より[illegible]に開かれたが小濱内務局長の訓示があり、引續き西村地方課長は指示事項に就て述べ第一日を終つた、出席者は全島から[illegible]四名で引續き三十日も左の如き議事によつて各部隊希望事項、[illegible]

清水川を大關に
角力協會が

【名古屋二十八日發本社特電】大日本角力協會では名古屋[illegible]二十七日千秋樂で全勝した[illegible]清水川を大關に推薦することに決した

女子高等學院で入學志願者受付

臺北女子高等學院では[illegible]第一學年生徒約百名募集中の所去る三月十九日申込を締切つたが尚若干の空席あるに付き當分入學志願者の申込を受付ける由

花蓮港中學會の卒業式

【花蓮港電話】第三回花蓮港中學會の卒業式は二十七日午後六時半から行はれ、淺野廳長の訓示あり七時半終了した、本年の卒業生は十三名である

内地行郵便物の締切時間變更

北迴線に於ける内地行郵便物の締切時間は左の通り變更される

一、市内郵便函は前日午後八時迄

二、本局郵便函は當日午前七時迄

三、[illegible]

特別廣告

最新治療 入院設備完備

耳鼻咽喉專門

鹿沼醫院

醫學博士 鹿沼政雄

臺南市大正橋際 電話八七四番

漢文臺灣日日新報

積極政策政友會內閣
新規公債五億萬
果有此發行能力否殊懷危懼

二十八日東京電。以積極政策產業六箇年計畫爲標榜之政友會內閣。明年度會行豫算編成。一掃前內閣新規要求不承認方針。高橋藏相。新規事業費決定計十四千萬圓。而提出二億圓之大新規要求。然各省對此自不能滿足。當然起猛烈復活要求。然只迄今所決定發行。公債額歲入缺陷補填一億二千萬圓。各種事業公債二千七百萬圓。滿洲事件費五千九百萬圓。各特別會計六千七百萬圓。計二億六千七百萬圓。今後更查定之失業救濟事業。當不下五千萬圓。更以爲替差損金四五千萬圓。今其他預想時。結局只新規公債。突破五億圓。然若考慮滿鐵英貸借六千萬圓。內國債借替等。能發行如此公債與否。早懷危懼。

海青反日義勇軍
作農安襲擊陣形

二十八日長春電。集中長春北方農安之李海青反日救國義勇軍。約達四千。本日欲襲擊農安。整頓包圍陣形。農安警備吉林軍一千名。嚴重警戒中。又我農安領事分館。亦陷于危險。爲是長春警察。派日本警官隊二十二名。于二十八日午前九時急行。

滿洲案決議若適用
日本之脫退報道
聯盟以爲不可解

二十七日壽府電。若聯盟必欲適用滿洲事變所關決議。則日本意欲脫退聯盟。此種報道。聯盟一般以爲不可解。而下左記觀測。理事會決議及總會決議。明白表示聯盟對滿洲情勢調査報告之意見。而當時德留蒙事務總長。答佐藤代表質問。該決議當以適用于滿洲者。固屬當然。

漢口形勢緩和
我驅逐隊一日歸還

二十八日東京電。海軍省接電。漢口方面人心。因上海避難民之往住。及藉活動宣傳。始悉上海之實狀。漸趨于平靜。租界周圍鐵條網。亦于二十六日撤收。而對中國一邊。要求租界附近之中國軍事施設撤去。又中國人間。希望日華經濟關係復舊者不少。一般形勢頗緩和。我二十四驅逐隊陸戰隊。于四月一日歸還。

閘北方面
人心安定

二十八日東京電。海軍省接電。二十三日以來。禁閘北方面華人之貨物搬出而避難反見減少。人心方見安定。而意在我軍管理下。復歸者益增加。巡迴治療班成績。每日達四十餘名。

關係美人
勸歸南京

二十七日南京電。美國總領事別區氏。于二十七日對南京關係美國人。勸告歸來南京。

聯盟調査員
一行抵京

二十七日南京電。聯盟調査員一行。二十七日午後七時半。驅自動車抵京。顧維鈞。羅文幹等氏出迎。合律致辭一行。擬于二十八日。訪問國民政府要人。

府局長會議

總督府各部局長。若滿臺北州知事代理。西澤臺北市尹等。明二十八日午後一時半。集在長官公室。就南新總督二十九日抵任後之行事。詳細協議云。

中瀨知事
巡視基隆市

中瀨臺北州知事。如所豫報。去二十八日午前九時半。偕西村懇務。富田勸業。那須教育。三上文書各課長。驅自動車。由臺北出發。初巡視基隆市。至薄暮歸北。

全島實業大會
各團提案
二日在嘉義

全島實業第十六回大會。定四月三日午前九時。開于嘉義公會堂。全島出場團體五十五。每團五名。大會後。參觀吳鳳廟。製材所。農事試驗場等。翌日分爲兩班。第一班視察阿里山。第二班赴烏山頭珊瑚潭。各團提出議案如左

一、由國防上見解。本島將設一箇師團以上軍隊。宜向當局陳情。(新竹商工會)

一、在臺北設全島實業聯合會。向保險會社建議獎勵島內貸付及其他等願。(基隆公益社)

一、本島鐵道運金降減請願。(臺北實業會)

一、臺灣拓殖株式會社創設促進要望。及建議臺灣競馬法施行。(臺南商工會)

一、本島海岸地方。就防風施設特要建議。及向當局請願製糖會社區域撤廢(二林實業協會)

一、請願漢法醫術試驗制度施行(十六商工會)

一、直營工事之包辦國營及營業稅法改正(臺灣土木建築協會)

一、縱貫道路完成後。濁水溪架橋工事緊急增進再向當局建議(北斗實業協會)

一、全島實業大會開催地決定在督府所在地。(埔里實業協會)

一、自動車運轉手免許證向當局建議全島共通。及歐美航路命令船願寄港於基隆高雄兩處(臺中商工會)

一、臺中州下漁港施設速進。向當局建議。(鹿港商工會)

一、中南線鐵道施設速進建議。(朴子商工會)

一、當地開發速進。(大湊商工會)

一、市區計畫及市區計畫實施。市主要都市代表官民。組成諮問機關設置建議。(高雄商工會)

南湖頭附近不穩
鞍山守備隊討伐

二十七日新京電。南湖頭一帶。匪賊蟠居。天野旅團出動後。同地人心。非常搖動。鞍山守備隊。爲此等匪賊。期于徹底的討伐。

新政府對歸順馬賊
使歸農從事鑛山

二十七日奉天電。滿洲國政府。對聲明歸順馬賊。迄今已達二三萬名以上。新政府對之極優遇護照。使爲歸農。對無家者。充用于黑龍江北方金鑛採掘及道路修理。最近送往金鑛者一千餘名。

農安官兵萬五千連絡匪賊
城內告危日僑避難
迫近三十華里閉城防備

二十七日新京聯合電。據農安來電。城內官兵一萬五千。有與匪賊合流之氣勢。及々告危。爲是領事館分館員。婦女子全部。于是日午後三時二十分。發當地避難。

同別電 形勢不安之農安方面。目下領事館員以外〇〇班附隨。特科隊〇〇名。安危殊可慮。

同別電。同地領事館。接到由農安來電。有力匪賊約一日之部下三千。向農安進擊中。目下已迫近隔同地三十華里之地點。頗瀕于危險。乃閉鎖城內防備。

双山子匪賊橫行
吉林軍討伐追擊
農安方面亦出動

二十八日新京電。東華南部綫附近吉林軍。以德惠縣双山子方面匪賊。自廿四日以來放火掠奪。逃亡西北方面。吉林軍鐵道守備隊。爲之追擊。又吉林軍第二衛以李海青爲指揮。對扶餘方面匪賊團。將爲徹底的討滅。主力昨日于農安方面。以全力開始出動討伐。

馬軍政總長對反徒
各採嚴罰方針

二十七日奉天電。黑龍江省內治安。尚未充分保持。因鑑于各地兵變相繼而起。軍政總長馬占山氏。努力討伐。先前頃于黑河耙兵變三百名中二百名已處罰。而在海林耙兵多肯懸銃殺。其他亦各處罰。

中等校其他
退官決定
按本月中發令

關於全島學校教員之行政整理。二月二十九日。在文教局磋商。銓衡頗廣於其方針。大體爲自勤續年限長久之人。中等學校及專門學校部。皆已決定豫定本月中發令。又不依行政整理之退官者。亦有數名。此中校長級。爲新竹學校長大木俊九郎。宜蘭農林校長柳川鑑藏二氏。後任者。現物色中。其他臺南一中。臺南一女。臺北一中。各一名。非本官之教員囑託。亦擬欲整理數名云。

南總督上扶桑丸
接見內地觀光兒童
安武文教局長亦同船來任

大湘崎二十七日發。本社著 南總督一行。搭二十六日神戶解纜之扶桑丸。就新任之途。航海平穩。一行爲能澤。池田兩秘書官。小川專屬。安武文教局長。亦同船來任。其他有島田臺銀頭取。荒木同理事。松木電力社長。厚東遞信部囑託等。船中熱鬧。南總督服黑色背廣服。在社交室。應接談笑。或上甲板。愉快散策。又此次因總督自發的辭退。別無所謂民間代表者出迎。二十七日早。總督一行。當由下關上陸在春帆樓。嘗鰒之料理。因是船內之午餐缺席。午後一時。在甲板上。接見內地觀光歸來之臺北市小公學校兒童等百六十餘名。由安武文教局長紹介總督。謂是奉天皇陛下之命。向臺灣赴任之南總督。會見之時。兒童殊形喜悅。而引率教員等亦大感激。午後。社交室有能澤。池田兩秘書官。圍棋。入夜島田。松木。能澤諸君之間。再決勝負。南總督。則眺望海上夜景。時而散策甲欄。詩興勃々欲動。同船自離門司後。一路平穩。一同元氣。食堂分二列。一爲總督一行及島田。荒木。松木。厚東諸氏。白井船長。一爲松島事務長等。笑談之聲時起。博學之總督。話題豐富。一同愉快云。

時評

○鈴木新內相。欲大興土木以救濟失業。遂抵前內閣所立行政整理案。全部中止。

○川村新法相。聲明欲使訴訟事件。不至久延。是深得民隱。爲判檢事增員之前提歟。臺灣判官檢察官爲數亦少。服務之劇。殊堪同情。

○聯盟惡化。則我國外交硬化。所謂石鐘山崩。而景陽宮鳴者也。

○平塚長官初巡視。言百聞不如一見。此後甚望對於蕃界地方。及細民生活方面一見。亦當勝於百聞。而設法有以蘇之。

○臺灣農業校。豫想發達。是島人勤勉。及本於從來孝弟力田之美風。指導者固有其力。若盡居爲己功。則大謬也。

○官有地。多荒蕪。一面地不得盡其利。一面人不得盡其力。措置之法。以無償貸下與附近篤農。俾開墾成物。爲第一合理的辦法。

○蓬萊圓糯。及在來米。各種獎勵。其如島內存米無多。徒呼負々何。

○谷口德治氏[illegible]之盛況。同一死也。人都輕於鴻毛。此則重於泰山矣。魂如有知。當再於冥々中。守護國之雄鬼。

竹南郡農組聯合會
各種競作競技會
第一次計畫告終

新竹州竹南郡農會組合聯合會主開第五回水稻競作會。堆肥製造競技會。深耕競技會褒賞授與式。去二十六日午前十時半。在竹南小學校舉式。有出品者八十餘名。及來賓等著席。高松庶務課長。述開會辭。次前回優勝庄造橋竹南返還優勝旗。輪湖技師。報告入賞者。次授與褒賞及對優勝庄造橋、頭分。授與優勝旗。矢野會長述式辭。李勸業課長。及陳竹南庄長述祝。授賞者總代鄭樹氏答辭。同十一時半。盛況裡閉式。正午開祝宴。右據審查所報告如左。

水稻競技會。欲使稻作增收及產米品質向上。一般農家。對稻作之改善。尚有餘地。以是自昭和二年以來實施之本競技會計畫。以本年第一次豫定告終。今回出品點數。蓬萊種及九糯。計三百八十四點。豫備審查。僅選半數。更就耕種巧拙。稻稻株數及三百株收量。每甲乾燥粟收量等審查。每甲粟收量。第一期作。最多八十九石五斗二升。最少三十五石八斗七升一合。第二期最多七十七石七斗六升八合。平均四十二石六斗二升四合。然因病蟲害。及其他天候關係。致有成績不良之處。然比第一回平均收量。則增長十三石七斗六升二合。即三成九分六厘。甚望此後更加邁進。

堆肥競技會。今回堆肥製造競技會。皆州或農會有補助獎勵堆肥豚舍所有者四百六十點。對此豫選二回。審查原料良否。數量多少。製造方法巧拙。堆肥舍利用程度等。一農家半年間製造之最多數量。有七萬三千餘斤。最少一萬四千餘斤。在平均數量增加有七千五百餘斤。更比四年前。約增一萬八百餘斤。製造技術。頗呈進步。

深耕競技會。由各庄選優秀者三名。每人以四十坪行深耕競技。互全般審查姿勢。深度。耕盤。技術時間五項。最深六十九分之厘。最淺五寸七分。平均六寸三分三厘。較最初深有八分三厘。頭分庄劉添盛。黃西牛。竹南庄曾春木諸氏。雖爲全島的選手。然尚有研究之餘地也。

淡水農組
畜產創立總會

淡水街農事組合。訂來三[illegible]

南市中等校
志願數
減例年二成

臺南市內各中等學校入學試驗。去二十七日一齊舉行。各校志願者數。臺南一中。一百六十二名。內地人一百十九名。同二中四百八十一名內。內地人二名。同一高女。百五十三名內。內地人百四十三名。同二高女。百九十四名。內地人三十九名。外皆係本島人。志願者數。較例年。平均減二成。係不景氣所使然云。

俄軍民委員機關報
論日美戰爭不可避

二十七日莫斯科電。中央軍事人民委員會機關紙。報道於太平洋覇權之日美兩國間。戰爭之勃發。爲不可避之事實。而論如左。

日美間之論爭。迄今只爲外交上文書戰。新聞論調亦僅在軍事演習之示威運動。然日本之帝國主義者發生武力的衝突。究將還之情勢。

又同報對隔太平洋相對之兩國葛藤。問蘇俄聯邦影響及意義[illegible]無何等批評。而同報猛襲對日本。有勢告若日本對蘇俄聯邦[illegible]。與對美國戰爭時。日本帝國[illegible]。爲同日本帝國主義者[illegible]陸[illegible]。爲效果的。且有可能性。

臺北移出米商
組合總會
改選組合長

臺灣米穀移出商同業組合。來月八日將開定期總會。聞從改正負擔金及賦金。來負擔金。一人每年五十圓。欲增爲百圓。賦金移出米一袋一厘。增爲一厘五毛。又組合長杉原氏。任期滿了。已萌退志。縱被再選。亦有辭退之決心。此組長一席。向來互相推讓。三井物產。不許其臺北支店長出膺此任。昨年小寺支店長被推選時。曾爲辭退。而三菱支店長市岡氏。不久亦將更迭歸京。結局後任者或推加藤商會谷根氏。近時本島人移出商。移出稀微。大宗商權。指歸邦商之手。故組長不由島人選任云。

東海乘合故障修繕中
運轉手恐車行傷客
肩乘車輪肩骨轢折
一同深感其義俠行爲

去二十七日午後四時。蘇澳發南澳行。東海自動車會社之乘合車。由運轉手謝蓉操縱。載十三名乘客至蘇澳起。約三里地點。東澳附近之烏岩橋頭。武力器忽然有些故障。運轉手遂停車。入車下修繕。乘客或降車或上車。或相帮挽車。因下嶺路斜。乘客起落。車體搖動。武力器脫齒。車徹欲行。運轉手見勢危。恐車中乘客受傷。遂不顧自身。以肩投往車輪。按將車輪。緊向山壁。使不得行。爲是肩骨被轢。折一支。其他面部亦受擦過傷。乘客皆[illegible]事。車亦不墜落深谷。[illegible]於該運轉手。[illegible]皆感激莫措。九時頃。蘇澳東海出張所。再發乘合一臺。往載該車之乘客至南澳。並派某運轉手。往修理。六時三十分。該運轉手現車駛歸蘇澳。在自宅治療。蘇澳警察課接報。有出水警部補。急赴現場檢證云。

岡山醫師會
發會式

岡山郡下開業醫。爲圖地方保健。創立醫師會。于去念五日下午一時過。齊集岡山公會堂。磋商一切並舉創立發會式。是日出席會員三十六名。來賓有安達衛生課長。廣瀨州技手。豐澤郡守。警察課長藤川警部其他係官等。席定首由警察課長代理郡守說明醫師會創立趣旨。揚錦氏被選爲議長。於是逐條審議會則。結局刪加數項。其餘悉照原案採決。次役員選舉。一庄如有三名以上開業醫。各置評議員一名。七名以上者。各置二名。任期一箇年。投票當選者如左。

岡山庄楊縛(會長)高再視、楠梓庄洪瑞西。林錦生、左營庄黃朝欽。阿蓮庄陳泰。路竹庄蘇榮昌。湖內庄謝麒麟。彌陀庄高昌。

既而監督官注意數件。後由安達衛生課長訓示。至七時頃告終。即赴當地福月樓階上饗宴。其會員乃以郡下開業中之醫師、齒科醫師、醫生等而組織之。

臺南贋造紙幣
僞造者尚未就捕
講第二段搜査方法

既報臺銀臺南支店。發見一枚五十圓贋造紙幣事件。該犯人係高雄州岡山郡某是晚被臺南署搜查隊捕住。秘密裡嚴究結局。同人似爲使用者。外尙有僞造者。酒井司法主任。去二十七日々曜日。召集刑事。秘密裡講第二段搜查方法。

榮座漏電
燒失覆布二間
觀客狼狽逃竄

臺北市榮座戲館舞臺下之電燈泡。去二十七日午後十時四十分。突起故障。漏電發火。燒失覆布二間。時值同座。開演[illegible]。[illegible]。然不至於大事。[illegible]南署原野刑事主任。調查結果。爲電頭纖線。屬通常鉛。故障之時。立見切斷。然同所電頭。以大銅線爲纖線。故致漏電。現更詳査中云。

幼女觸自動車
顚仆負重傷

臺南市木町二丁目吳林氏幫。有養子吳允成。年五。去二十五晚。將近七時。方欲走過其店前道路。適港町二丁目。矢田部良成駕其所有自動車。疾馳而至。吳因年幼。驚欲迴避竟顚仆。頭身觸及車之前輪。遂負重傷。血流如注。急昇往臺南醫院治療。幸無性命之憂。然全愈須二十日間。而運轉手矢田雖被召訊。旋釋放云。

豐原
農事講話

豐原郡庶務課。去三月二十六日午前九時。召集郡下五街庄。篤農家二十餘名。及各街庄役場農業技術員。在豐原街上南坑農會蕃薯田事務所。開農事講話會。州農會有村上畜產[illegible]。及高井農政。兩技手[illegible]數名參會。至午後一時。講話終了。乃一同就午餐而散。

畜市開設

豐原街。自去年計畫之家畜市場。已於月前。擇定豐原座附近之敷地。建築事務所及豚舍。開該工事至三月末。可全部完竣。故由四月上旬。便得開辦事務。現街當局。因諸事準備之關係。特派會計役員。赴臺中州下。視察有宋其意氏。及該市場從業經驗家畜市場之街庄役場。參考其實際狀況云。

鹿港

陳列採點　鹿港街當局。者番爲獎勵消費市場內店舖美觀。去二十六日。由警察當局立會。偕商工會幹部。到消費市場店舖。行陳列採點後。對入賞者。給與賞狀並現金一封。

汚物入札　當街昭和七年度各學校並消費市場公共便所。並其他一切汚物入札。定來三十日。在街會議室舉行。現由街當局公告示衆。

開矢場式　當街內臺人所組織之弓友會。會員已達三十餘名。近更於小學校々庭。新築矢場。現已竣工。去二十七日午前八時起。在該所舉開場式。並行比試。

臺南

迎新知事　臺南州知事今川淵氏。去二十五日攜眷蒞南。二十六朔九時。即至州廳履新。受石井內務部長。坂口警務部長。以下各課長。市尹。郡守。中等學校長之迎接。入知事公室。引見各職員再於會議室。集全體吏員訓示。既竟。石井內務部長述答辭。於是巡視州廳內。後赴市內各要所。敘新任之禮。

少年慣盜　嘉義市朝日町一丁目七番地許羅氏閑之長男許金條年十七。每竊其母之現款費消。被嘉義署數回注意不但不自悔悛。更自一月中。竊市內各官舍之現金及貴重品。今已發覺。二十六日同署刑事。拘入司法室取調。被害者凡二十餘處云。

彰化

媽祖進香　彰化實業協會主催。欲請南瑤宮媽祖。往南北港進香。定月終先行磋商會。並求各爐下爲之後援。若磋議適當。便欲當定期日及諸往復日程云。

乘車不便　彰化市內自動車經營方法及發車回數。有些若農是之感。常使乘客於途間久待。最急亦要三十分。否必一時間。希望發回數以應出入者之便。

國講修業　臺南明治公學附設之明治國語講習所。其第一回國語講習。自開課後。成績極佳。現講習期滿。定來二十九日午後二時。在明治公學講堂。舉修業式。

嘉義

舉慰靈祭　嘉義肥前會主催。三勇士慰靈祭。去二十六日午前八時。開於公會堂。神官僧侶。婦人會幹部。鄉軍分會長。其他各官衙團體各學校生徒等。八百餘名參列。祭文朗讀後。僧侶誦經。九時半閉式散去云。

考入醫大　嘉義張鼎駿氏之長男嘉英君爲島內最初共學生。前年由同中學選拔。入臺北高等學校。目前及第長崎醫科大學。次男義雄君。即由內地。轉入嘉義中學云。

厭世服毒　嘉義市山子頂嘉義社後附近山林中。去二十五日午前十一時頃。有呻吟聲。被通行人側耳而聽。至現場視之。乃一青年內地人橫臥地上。作旅行狀。[illegible]收容。入慈惠院治療。醫師檢斷。知有服毒。其人則爲斗六郡古坑庄奧平助役之長男奧平春雄。年二十三。懷中有美人寫眞。而生活困難。家庭不和。此番厭世服毒自殺。又聞與所懷寫眞美人戀愛。不能自由婚事。故爲自殺云。

高雄

燒失重新　高雄市鹽埕町小賣市場。本年正月間。爲漏電。燒失一棟十二間貸店。自是以來。市當局。立即整頓燒跡。重新建築。迨至近日。照市役所設計一部份業見竣功。大約近日中。能得照常開辦。

宵露可畏　高雄市三塊厝人林某之長女某。年十八。去二十五日午後八時頃。以事訪其親族。途至暗處。突由背後。追來一漢子。將身抱住。欲強制加以無禮。女見勢不妙。高聲呼救。其人始悔怯逃去。女以事歸告其父。立向附近之派出所報出。現查究中。

詩壇

書竹繫以小詩寄雪漁先生即希哂政

小室翠雲

偏宴南方氣似秋。日潭玉嶺遍三州。客窓今夜月如晝。吟步先登臺府樓。

翠雲先生作竹賦詩見贈 惠喩深情 尼感 謹次瑤韻

好壯征鞍直到秋。煙雲[illegible]給炎州。海南香錯有新味。同醉江山古酒樓。

支那時事感賦

不爲牛羊他與羯。牧人心事太糊塗。逆飛圖信知機否。[illegible]刺客[illegible]。流民鄭俠繪長圖。伍員未必忘宗國。伐楚何因說吳。

全島聯吟大會
春寒

詞宗 [illegible] 選

左十二右四五　郭仙舟

春陽令轉海天東。刺骨霜嚴氣正融。臥炭添溫猶喚冷。羊裘穿貼又呼童。花翻旋外紛々雪。柳舞窓前剪剪風。一夜醉餘香夢快。王孫敲斷唾壺紅。

右十一　[illegible]

錦帳銷寒酒有功。餘威昨夜透簾櫳。江頭冷殺鴛鴦侶。劃上驕驄旬便工。一剪風吹楊柳碧。半闌震粉海棠紅。欲持濃厚長安道。日送天邊雪裡鴻。

左十二　[illegible]

遙望屯山雪未融。重裘猶是冷侵肌。路[illegible]。欲閉門謝賓客。合應煮酒論英雄。梅花最愛晴陰好。無奈濃雲黑澹空。

右十二　魏潤菴

淡々濃陰剪々風。重金猶戀服朦朧。衣單[illegible]。聽家山梅已落。愁余驟雨喚。香怯蘼蕪步未工。[illegible]雪難融。劇憐范叔[illegible]。安得綈袍與來同。

右十三　林欽賢

寄雲羅瀚落靑旛冷。杏雨方塘淡月中。酒客同春齊稱賀。梅花與我共霞蓬。翠樓殘照鴈頭水。紫陌閑懷羊角風。[illegible]情味減。醉看徐庚指江東。

右十四左十五　鄭幼香

彈指春光九十中。寒威料峭雨和風。庭前花信遲々報。檻外泉聲脈々通。香蕊沈檀灰未燼。爐添榾柮火初融。欲遊無擬何台怯。底事天心也欠公。

三月六日臺北市太平町三陳英芳蓄音器唱片廣告中ノ誤植ニ付訂正

漢文臺日案內
藥種商
雜貨
園服地と麻布
學生服・カバン・島屋
洋標　羊標